

2017年度

「学生による授業評価アンケート」結果

日本社会事業大学

目次

1. はじめに

2. 授業評価結果

2-1. 専任・兼任教員

2-2. 非常勤講師等

3. 参考資料

1. はじめに

1.はじめに

本学部での授業評価は、長年にわたるアクションペーパーの活用を経て、2004年度からは社会福祉士国家試験該当科目を対象とした新たなアンケート書式による授業評価を導入しました。翌年度からは対象科目を社会福祉士国家試験該当科目以外へ、2006年度からは兼担・非常勤の教員を含む全教員の担当科目へと拡充し、時宜によっては「実習」関連科目を対象とした授業評価の試行なども展開して参りました。2013年度からは、2つの評価様式(参考資料)を教員が選択して使用する形式となり、FD(ファカルティ・ディベロプメント)の一環として今年度に引き継がれてきています。

学生による授業評価は、ともすれば一方向的なものと解釈される可能性もあり、場合によっては学生と教員との意識にずれ違いが生じることもあります。こうしたことを最小限とするため、各教員には集計結果を公布した上で、「担当者のコメント」の記述を依頼し、学生も含めて閲覧できるようにしております。学生による授業評価を真の教育の質の向上につながるには、教員が集計結果の背景にある学生の学ぶ姿を思い描くことが必要であると考えております。

本報告書は、このような経緯を踏まえて実施された、2017年度の授業評価アンケートの結果、および担当者のコメントをまとめたものです。

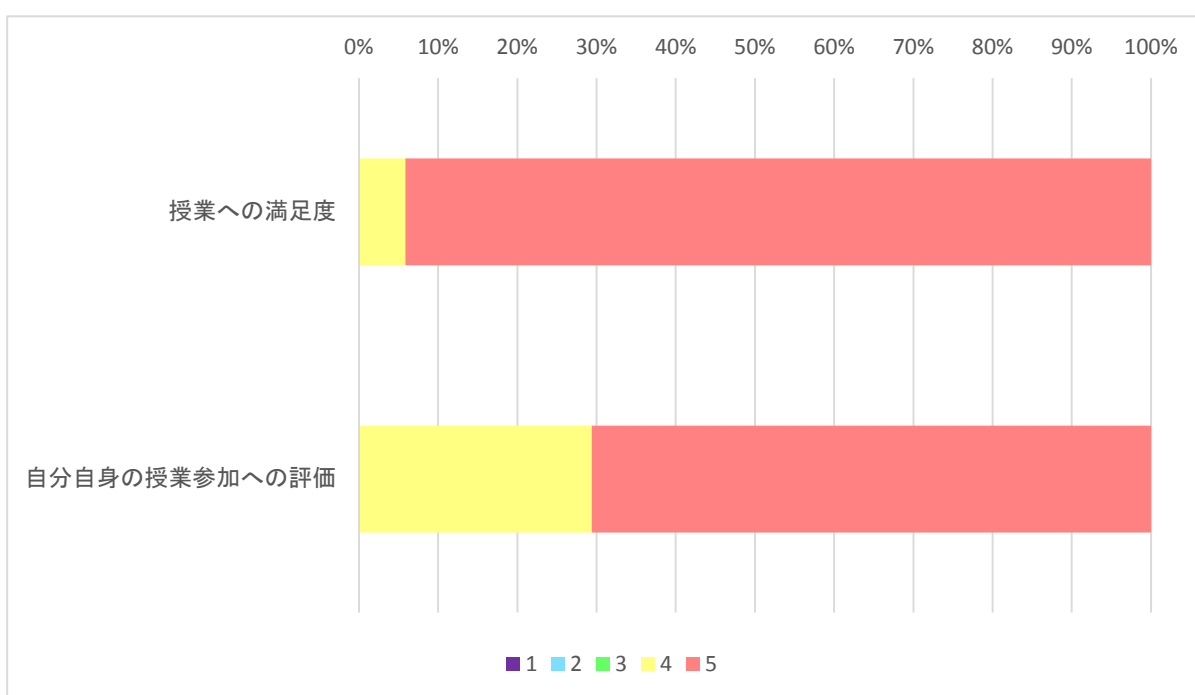
日本社会事業大学 社会福祉学部
FD委員長 蒲生俊宏

2. 授業評価結果

2-1. 専任・兼任教員

氏名	相原 朋枝		
科目名	保育表現技術 I D1(保)		
実施日	2017/7/26	配当年次	2
履修者数	18	回答者数	17

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	1	16	17
自分自身の授業参加への評価	0	0	0	5	12	17

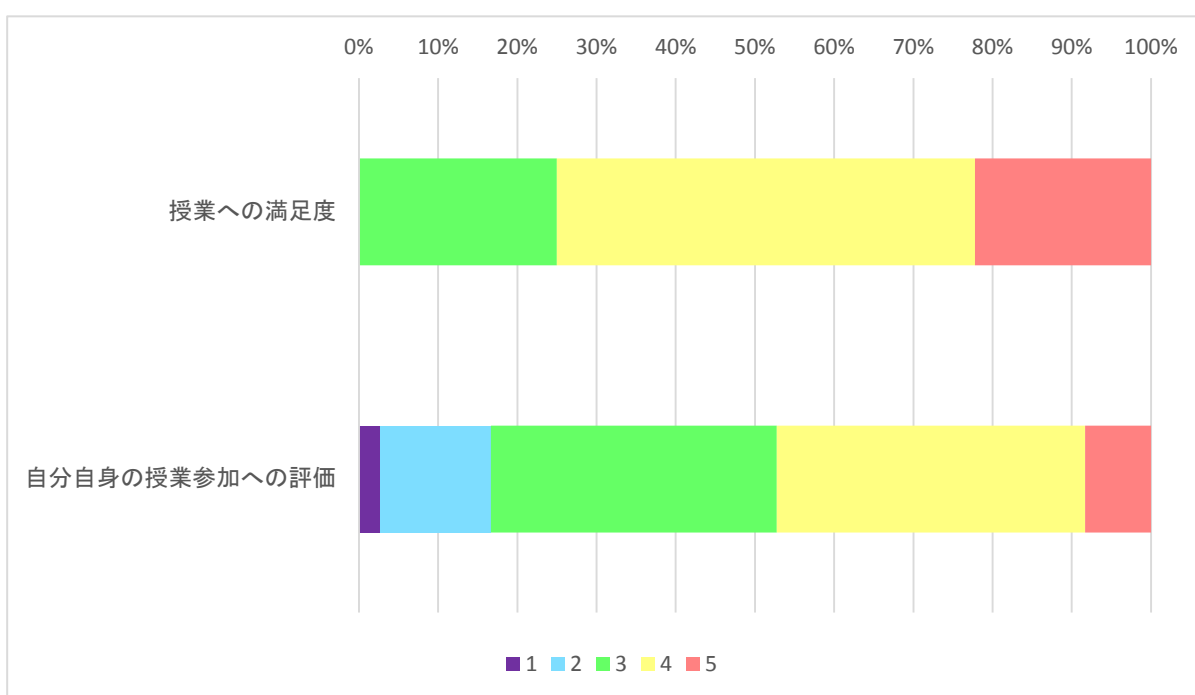


■ 担当者のコメント

学生の満足度が高く、自由記述にも「楽しかった」というコメントが複数見られ、嬉しく思います。将来、身体表現活動を提供する側となるかもしれない学生自身が、まずは体験を通してその楽しさを実感することが重要であると考えています。来年度以降も、身体表現活動の喜びや可能性を実感できるような内容を展開する所存です。

氏名	有村 大士		
科目名	児童福祉論Ⅱ		
実施日	2018/1/12	配当年次	1
履修者数	46	回答者数	36

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	9	19	8	36
自分自身の授業参加への評価	1	5	13	14	3	36

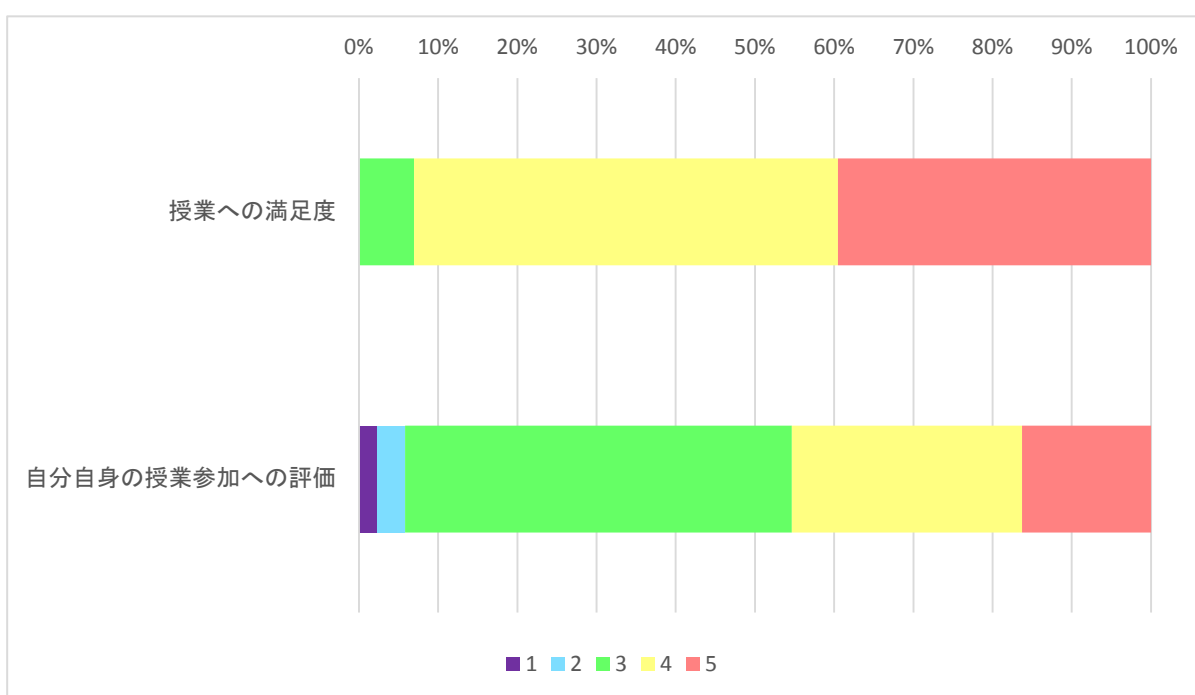


■ 担当者のコメント

学生の授業への満足度は比較的高かったが、学生自身が考え他授業参加への評価は低かった。本年度、全体でディスカッションをする時間を1コマ設けたが、学生自身はより授業への参加を望んでいたとも考えられる。予習復習、そして全体で意見をシェアしたり検討し合うための時間をさらに増やしていきたい。

氏名	上村 勇夫		
科目名	就労支援サービス		
実施日	2018/1/12	配当年次	3
履修者数	154	回答者数	86

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	6	46	34	86
自分自身の授業参加への評価	2	3	42	25	14	86

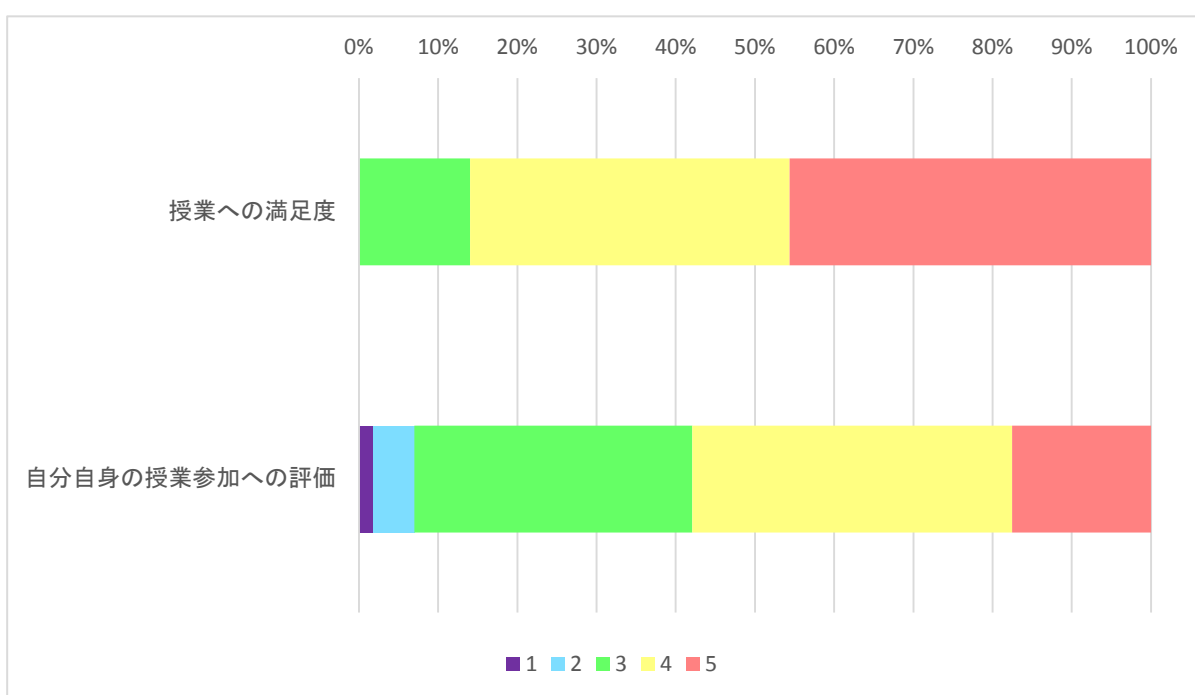


■ 担当者のコメント

就労経験がない学生が多い状況が想定されたため、いかにリアリティのある授業を展開できるかが私自身の課題でした。具体的な工夫として、映像資料を利用したり、現場で活躍されているゲストスピーカーをお呼びしたりしましたが、概ねその点は評価してもらえたようです。今後の課題としては、端的に言えばよりわかりやすく授業を展開することだと、アンケート結果を見て認識しました。また金曜日の5限ということもあり、学生の疲労を念頭に入れたうえで、よりメリハリのある授業にしたいと考えました。具体的には、レジュメをわかりやすくする、メリハリのある話し方を心掛ける、全体の流れを踏まえたうえで今の話がどういう位置づけになるのかということを明確化するということを次の課題にしたいと思います。

氏名	内田 宏明		
科目名	教育相談(教)/スクールソーシャルワーク		
実施日	2017/11/23	配当年次	2
履修者数	77	回答者数	57

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	8	23	26	57
自分自身の授業参加への評価	1	3	20	23	10	57

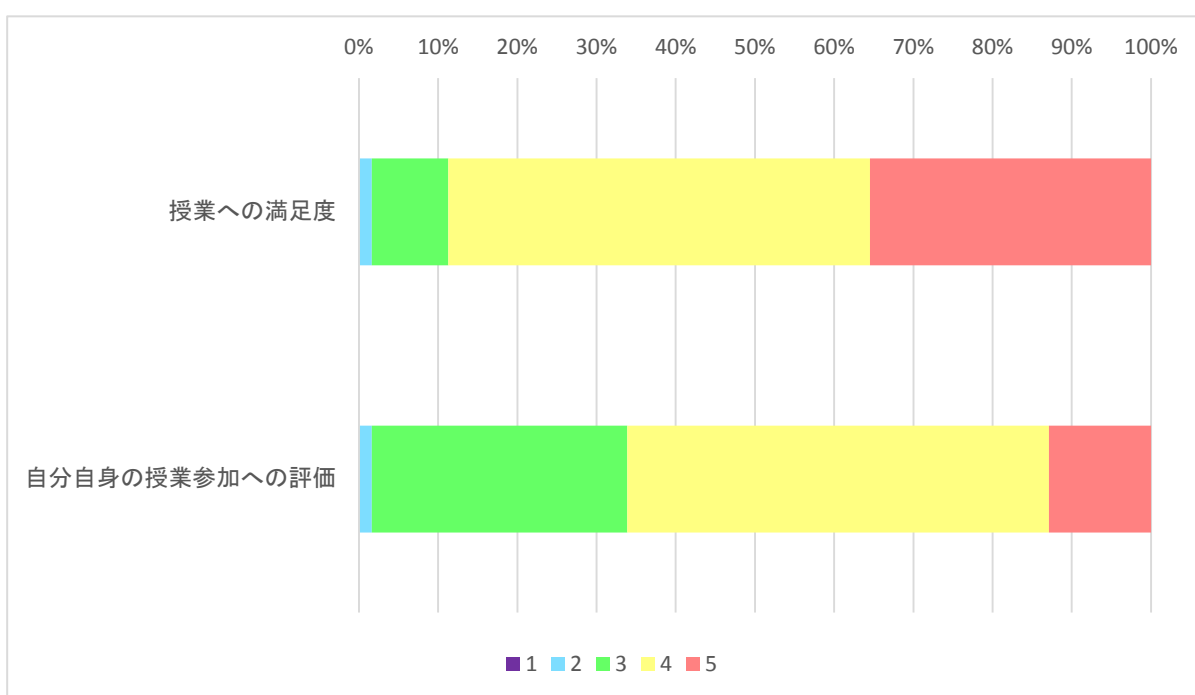


■ 担当者のコメント

授業への満足度は、平均すると4.5ほどであり、概ね満足を得られたと考えられる。なかでも、「いじめ、不登校などの社会的背景についての説明が良かった」「現場実践の話が中心になっていて、興味が持てた」などの意見を頂いている。今後のこの方向性で内容を深めていきたい。学生の取り組みが十分ではない部分があり、課題設定の工夫が必要である。

氏名	大島 巖		
科目名	精神保健福祉援助技術総論		
実施日	2017/12/9	配当年次	2
履修者数	80	回答者数	62

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	6	33	22	62
自分自身の授業参加への評価	0	1	20	33	8	62

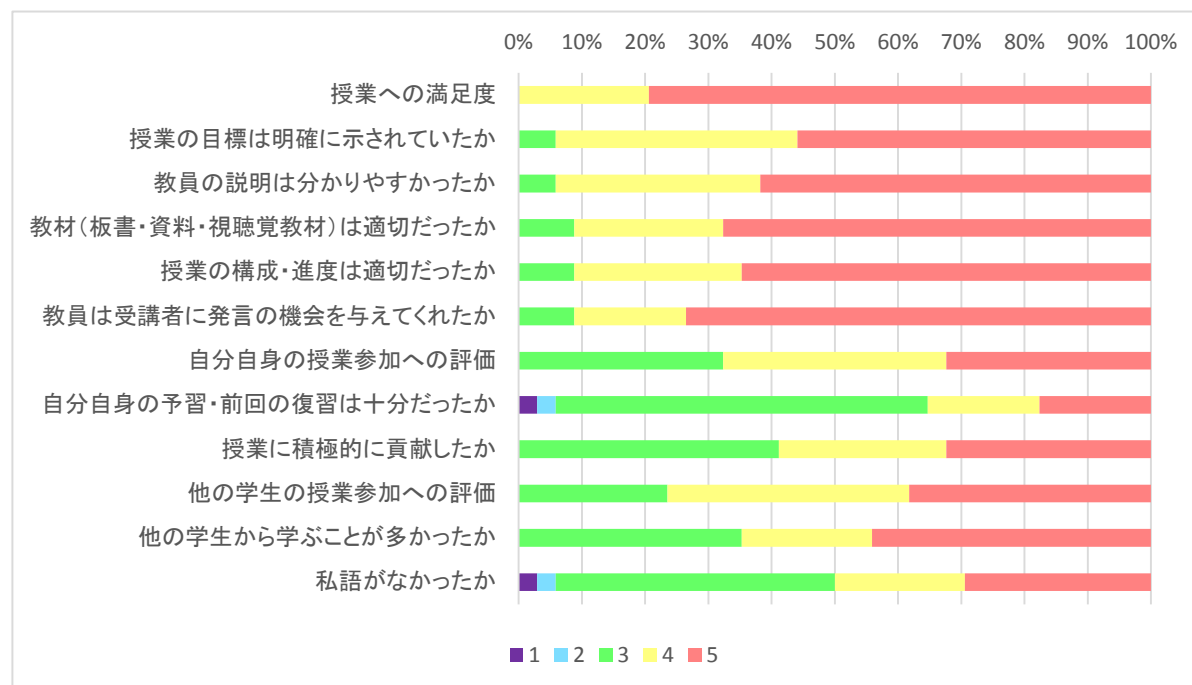


■ 担当者のコメント

精神保健福祉に関する1年次最初の授業で、可能な限り精神保健福祉の魅力をお伝え出来るように、授業の設定をしました。皆さま方の授業への満足度も高く、授業参加も比較的高い評価を頂き、目的がある程度達成されたと思ひ、良かったと考えています。総論のため、どうしても座学でこちらからの話を中心になってしまいますが、可能な限り主体的に授業参加ができるように配慮する工夫をして行きたいと考えています。土曜日の随時開講で、昼休みをはさむ点について改善を求めめるご意見が複数あったことについては、新年度以降、1・2限開講に改めました。

氏名	大野 ロベルト		
科目名	英語A3		
実施日	2017/5/30	配当年次	1
履修者数	47	回答者数	34

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	7	27	34
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	13	19	34
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	11	21	34
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	8	23	34
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	9	22	34
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	3	6	25	34
自分自身の授業参加への評価	0	0	11	12	11	34
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	1	20	6	6	34
授業に積極的に貢献したか	0	0	14	9	11	34
他の学生の授業参加への評価	0	0	8	13	13	34
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	12	7	15	34
私語がなかったか	1	1	15	7	10	34

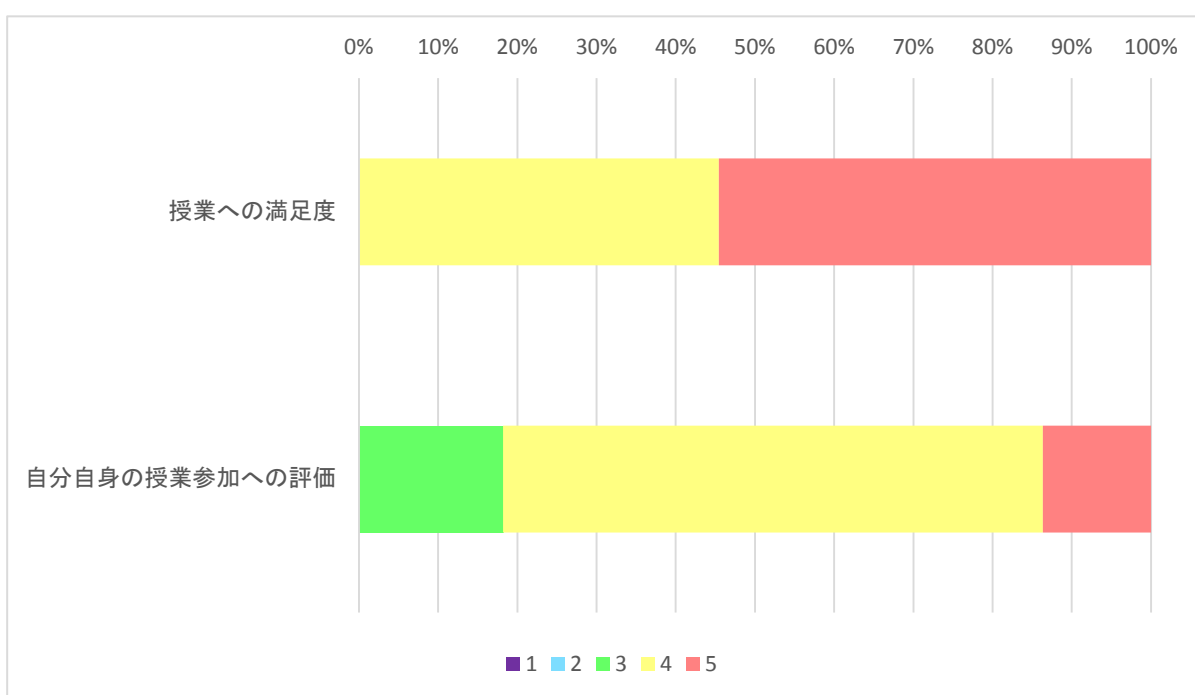


■ 担当者のコメント

学生とのコミュニケーションが必須となる英語Aの授業では、履修者の人数が増えるほど学生ひとりあたりの対話の時間が削られることになる。本学の現在の体制はその点で不十分であると言わざるを得ないが、学生同士のコミュニケーションを促進することにより学びの機会を創出しつつ、英語を通して学生それぞれが異文化へのまなざしを洗練させてゆく後押しをしたい。

氏名	小田 美季		
科目名	障害構造論		
実施日	2018/1/19	配当年次	2
履修者数	25	回答者数	22

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	10	12	22
自分自身の授業参加への評価	0	0	4	15	3	22



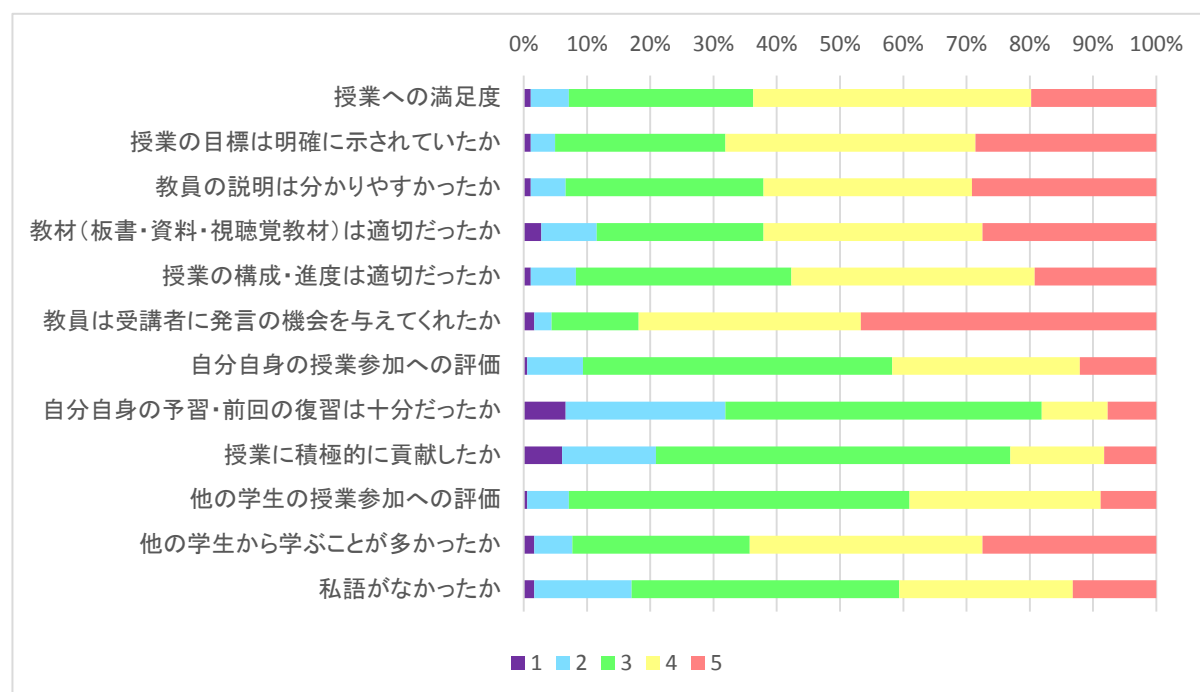
■ 担当者のコメント

グループワークを行う中で、メンバー相互の学び合いや積極性を発揮する必要性、他のメンバーの優れた点など多くのことを経験を通して、学んでいたことがとても印象的でした。受講生の皆さんは、来年度、相談援助実習に行かれます。ぜひ、今回の体験を、実習の事前学習、実習中の現場でのミーティング、実習の事後学習、実習発表会で活かしてみましょ。それと、実習先でチャンスがあれば、今度は一人で個別支援計画作成にもトライしてください。その際は、現場の実習指導者の助言もありますが、きっと今回の受講生同士で高めあった、当事者を中心に置いた支援の視点が役に立つと思います。

それと、何よりも「障がいとは何か」を押さえつつ、当事者の支援を組み立て、連携やネットワークについても考えた体験とその時の思いを大事にしてください。

氏名	小原 眞知子		
科目名	社会福祉援助技術論Ⅲ		
実施日	2017/11/20	配当年次	2
履修者数	232	回答者数	182

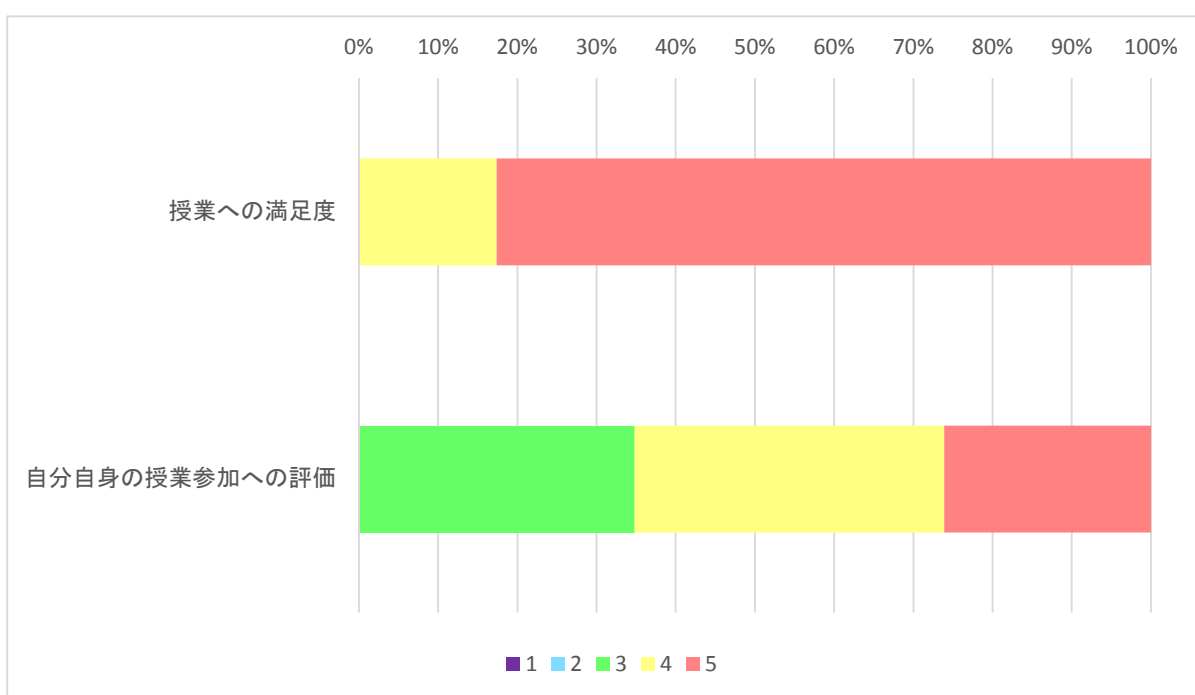
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	2	11	53	80	36	182
授業の目標は明確に示されていたか	2	7	49	72	52	182
教員の説明は分かりやすかったか	2	10	57	60	53	182
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	5	16	48	63	50	182
授業の構成・進度は適切だったか	2	13	62	70	35	182
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	3	5	25	64	85	182
自分自身の授業参加への評価	1	16	89	54	22	182
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	12	46	91	19	14	182
授業に積極的に貢献したか	11	27	102	27	15	182
他の学生の授業参加への評価	1	12	98	55	16	182
他の学生から学ぶことが多かったか	3	11	51	67	50	182
私語がなかったか	3	28	77	50	24	182



■ 担当者のコメント

氏名	梶原 洋生		
科目名	子ども法制論		
実施日	2018/1/12	配当年次	2
履修者数	31	回答者数	23

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	4	19	23
自分自身の授業参加への評価	0	0	8	9	6	23

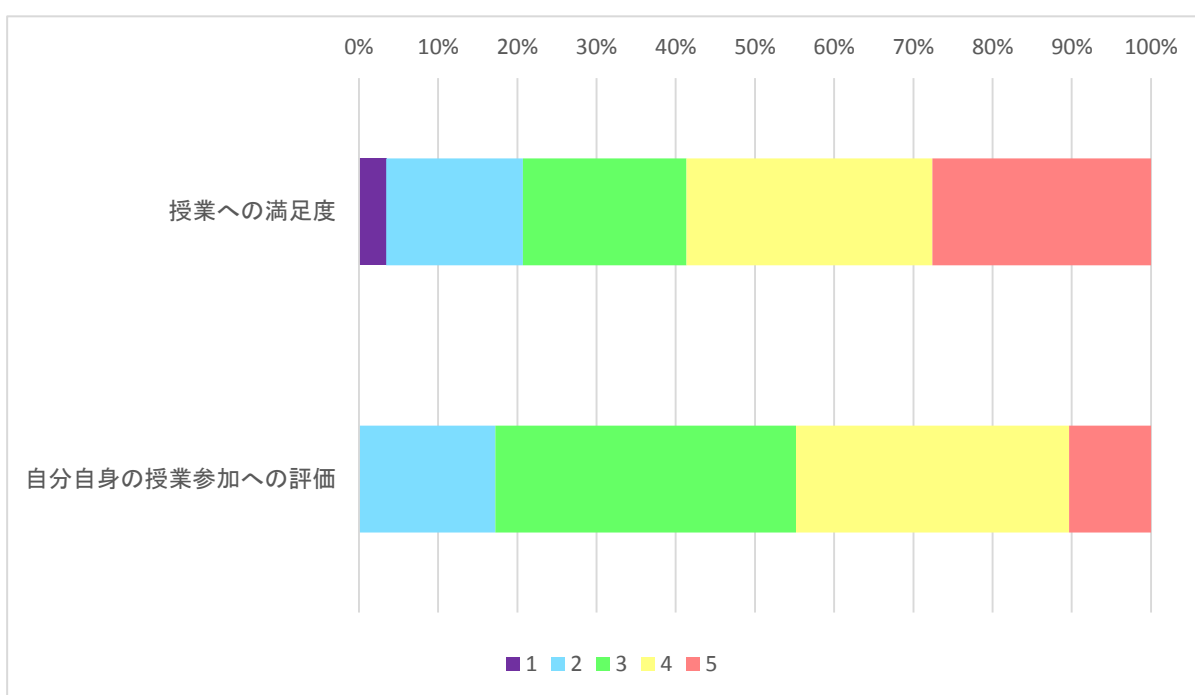


■ 担当者のコメント

今年度は特に学習の意義を話すとともに、講義概要の全体を説明し、授業計画の周知を徹底した。それらに則って授業を展開した上で、適宜の振り返りを随時に行った。特に法の条文に苦勞している様子もあったので、講学上で配慮した。事例研究(ケーススタディ)に基づき指導した。教科書の記述内容や講じた授業内容について質問に来る受講生たちには真摯な姿が見受けられた。

氏名	金子 恵美		
科目名	保育相談支援		
実施日	2017/6/12	配当年次	3
履修者数	34	回答者数	29

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	5	6	9	8	29
自分自身の授業参加への評価	0	5	11	10	3	29

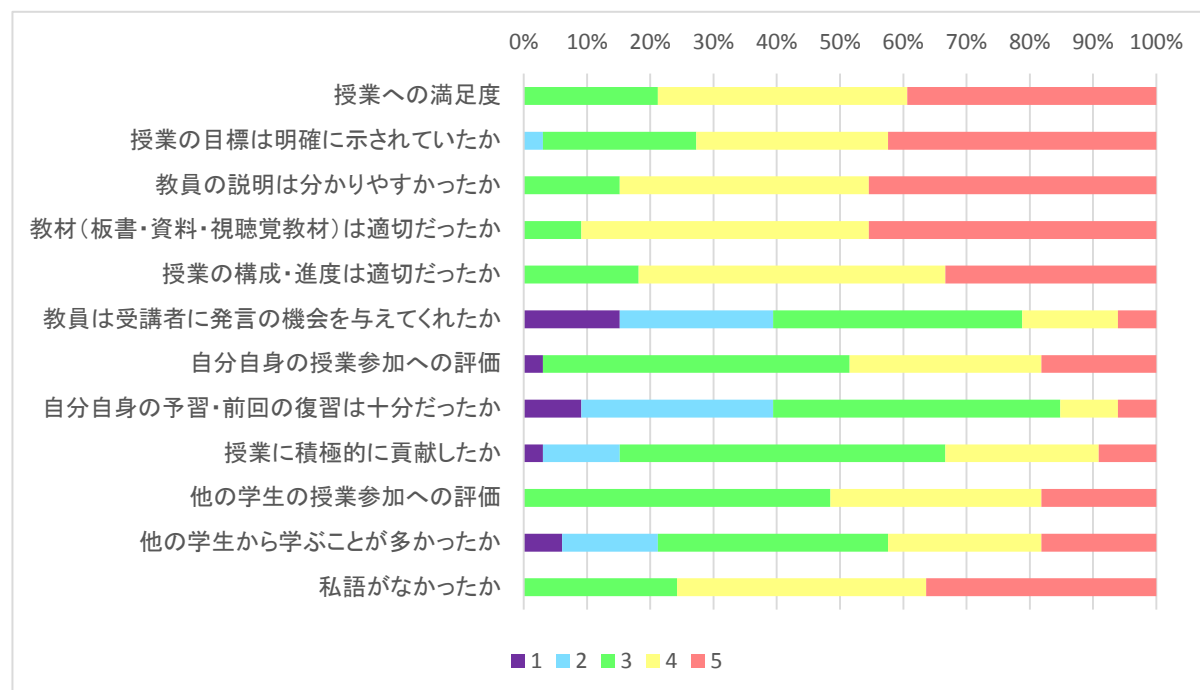


■ 担当者のコメント

学生の関心・習熟度に格差があること、本講義は演習であるが、このことや意義が十分理解されていないことがわかった。それは、就職先としてどこを考えているかにもよろう。
目的と方法の明確化、学生のグルーピングの工夫を心掛けたい。

氏名	蒲生 俊宏		
科目名	障害者福祉論Ⅱ/障害児教育総論		
実施日	2017/12/15	配当年次	2
履修者数	46	回答者数	33

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	7	13	13	33
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	8	10	14	33
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	5	13	15	33
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	15	15	33
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	6	16	11	33
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	5	8	13	5	2	33
自分自身の授業参加への評価	1	0	16	10	6	33
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	10	15	3	2	33
授業に積極的に貢献したか	1	4	17	8	3	33
他の学生の授業参加への評価	0	0	16	11	6	33
他の学生から学ぶことが多かったか	2	5	12	8	6	33
私語がなかったか	0	0	8	13	12	33

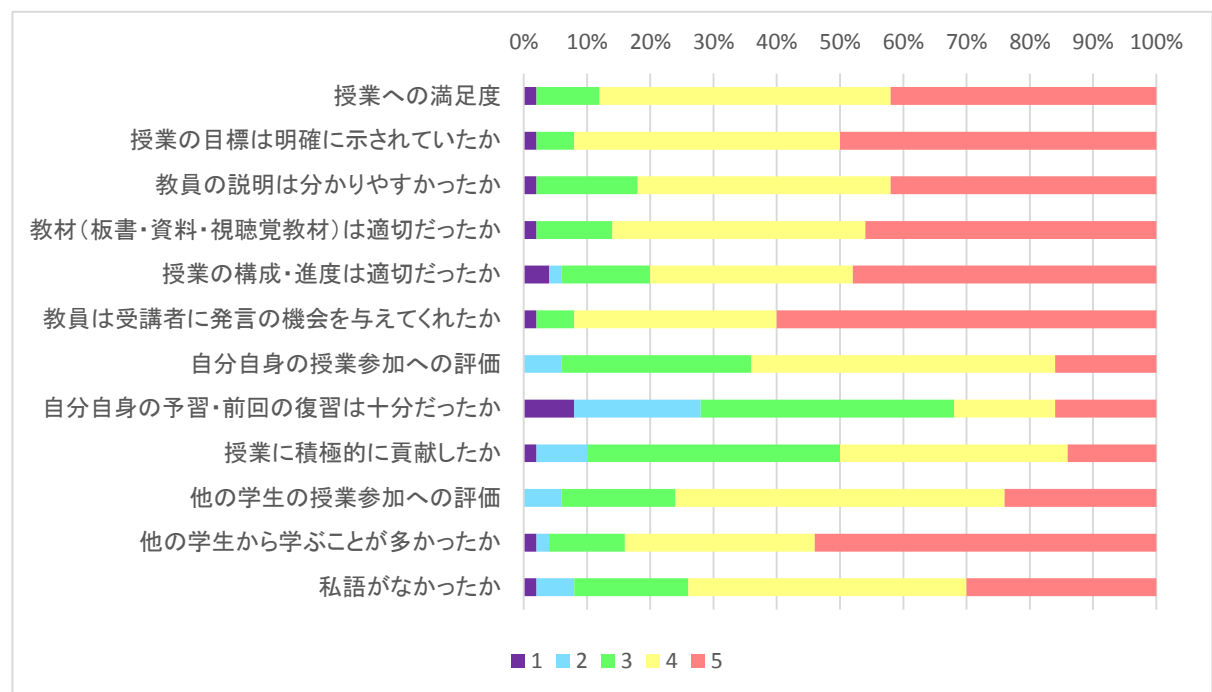


■ 担当者のコメント

教材についての評価が相対的に高かったのは、ほぼ毎時提示した映像の配列が受講者の学習意欲を高めたと理解していると思う。毎年度、若干の変更や組み替えを検討しているが、来年度に向けても精査に努めたい。この評価書式からは解釈しにくい、上記が文献へのアクセスに繋がってくれたいことを期待したい。毎回の記述になるが、「授業は学習のきっかけ」に過ぎない。毎回紹介している文献は、当該テーマについての先人の努力の蓄積であり、さらに学習を深めていく手引でもある。発言の機会については、授業スタイルから限定的になったことは否めない。来年度に向けて検討したい。

氏名	菊池 いづみ		
科目名	介護保険制度論		
実施日	2017/7/7	配当年次	3
履修者数	65	回答者数	50

	← 評価 →					合計
	no	1	2	3	4	
授業への満足度	1	0	5	23	21	50
授業の目標は明確に示されていたか	1	0	3	21	25	50
教員の説明は分かりやすかったか	1	0	8	20	21	50
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	0	6	20	23	50
授業の構成・進度は適切だったか	2	1	7	16	24	50
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	0	3	16	30	50
自分自身の授業参加への評価	0	3	15	24	8	50
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	4	10	20	8	8	50
授業に積極的に貢献したか	1	4	20	18	7	50
他の学生の授業参加への評価	0	3	9	26	12	50
他の学生から学ぶことが多かったか	1	1	6	15	27	50
私語がなかったか	1	3	9	22	15	50



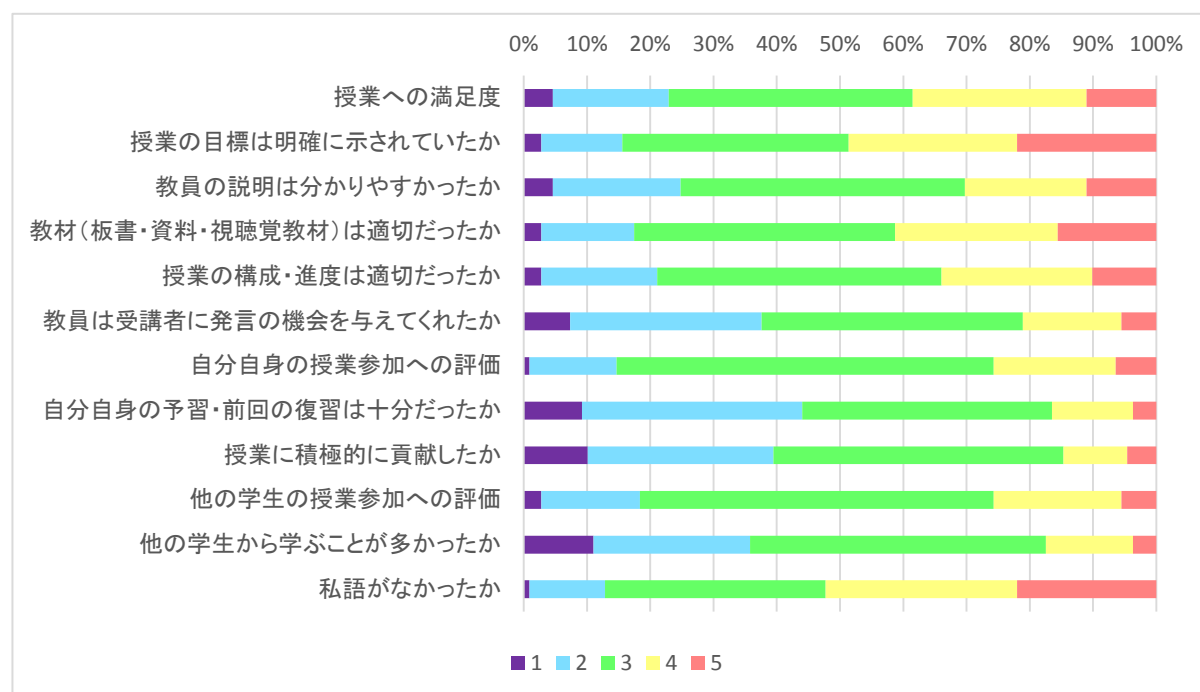
■担当者のコメント

この授業は、介護保険制度のしくみや高齢者介護の政策動向を学び、ミクロの実践と結びつけながら制度政策のあり方について自らの考えを養うことを目的のひとつとしている。その効果をあげるために、グループワークを取り入れるなどして、毎回、発表の機会を設けている。「発言の機会を与えてくれたか」と、「他の学生から学ぶことが多かったか」が一定の評価を得ているのは、その表れといえそうである。

また、今年度も昨年度と同様に、授業の目標を明確に示すことに注力した。その結果、4と5の合計をみると9割を超えていることから当初の目的は概ね果たせたといえる。昨年度と比較すると低下しており、工夫の余地も残されている。毎回のテーマを理解することは、本講義において特に重要と考えており、引き続き来年度以降も改善に向けた課題としたい。

氏名	北島 英治		
科目名	社会福祉原論Ⅱ		
実施日	2017/7/10	配当年次	4
履修者数	204	回答者数	109

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	5	20	42	30	12	109
授業の目標は明確に示されていたか	3	14	39	29	24	109
教員の説明は分かりやすかったか	5	22	49	21	12	109
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	3	16	45	28	17	109
授業の構成・進度は適切だったか	3	20	49	26	11	109
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	8	33	45	17	6	109
自分自身の授業参加への評価	1	15	65	21	7	109
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	10	38	43	14	4	109
授業に積極的に貢献したか	11	32	50	11	5	109
他の学生の授業参加への評価	3	17	61	22	6	109
他の学生から学ぶことが多かったか	12	27	51	15	4	109
私語がなかったか	1	13	38	33	24	109

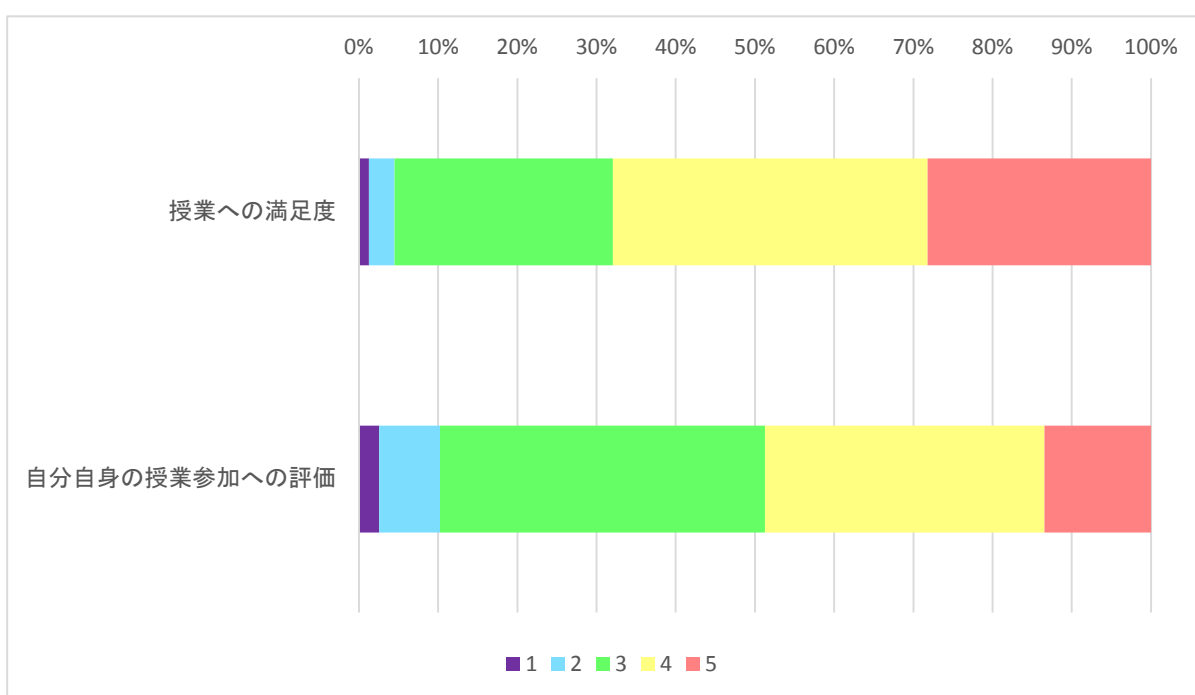


■ 担当者のコメント

四年生、最終学年の「社会福祉原論」の授業であり、卒業して社会に出ていく前に、いままでに学んできたことのひとつのまとめができればという思いで、授業に臨みました。授業の内容は、「社会福祉とは何か」「社会保障とは何か」「ソーシャルワークとは何か」を、自らが考えまとめることができようものにしていただけという思いがありました。授業の仕方に関しては、不十分なもの、反省すべきものがあります。「知識」だけでなく、「価値」や「使命」についても伝えていけるよう、多くのビデオを提供しました。英語の過剰な多用や、板書の不明確な書字等には、いつも自ら反省させられます。200人以上のクラスにもかかわらず、評価にもあるように「私語」はなく、クラス全体が授業に対する真剣さを感じました。

氏名	衣笠 秀一		
科目名	公的扶助論		
実施日	2017/6/16	配当年次	3
履修者数	208	回答者数	156

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	2	5	43	62	44	156
自分自身の授業参加への評価	4	12	64	55	21	156

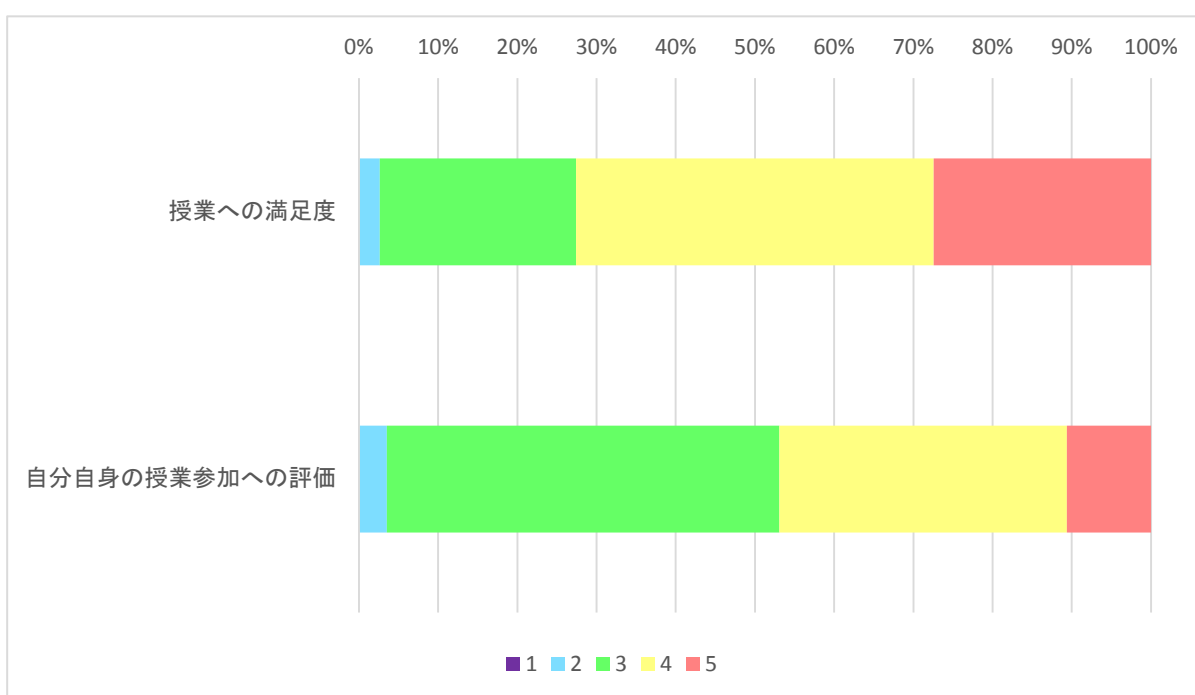


■ 担当者のコメント

記述式の授業評価アンケートを見ると、レジュメが豊富であることを評価する意見があった一方で、レジュメの量が多すぎるとの意見があった。また、講義内容の情報量が多く、説明でもポイントがわかりにくいとの意見や、学生の様子を踏まえつつ授業を進めるべきとの指摘もあった。このため、今後の講義では、レジュメ、講義の情報量を適度に絞り込むとともに、説明上も特に重要なポイントがどこにあるのかわかりやすく伝えること、学生の様子への配慮に工夫していくこととしたい。

氏名	木村 容子		
科目名	社会福祉援助技術論IV		
実施日	2017/7/24	配当年次	4
履修者数	206	回答者数	113

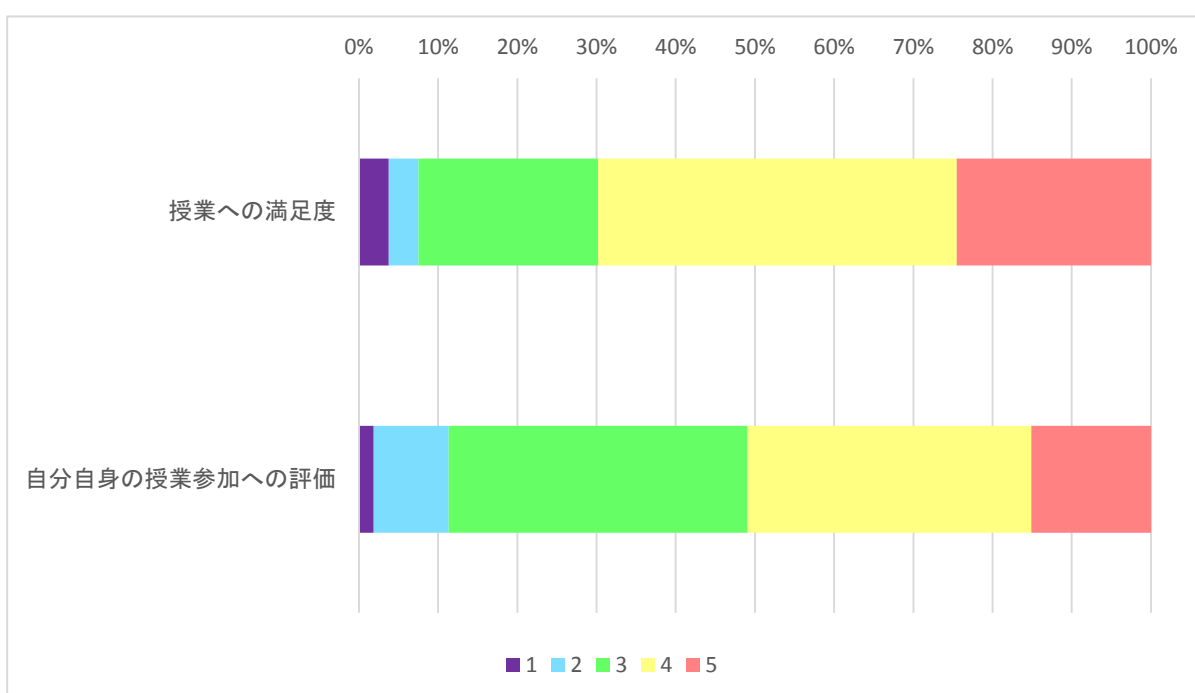
	no	← 評価 →			yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	3	28	51	31	113
自分自身の授業参加への評価	0	4	56	41	12	113



■ 担当者のコメント

氏名	倉持 香苗		
科目名	地域福祉計画論		
実施日	2017/1/12	配当年次	3
履修者数	82	回答者数	53

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	2	2	12	24	13	53
自分自身の授業参加への評価	1	5	20	19	8	53



■担当者のコメント

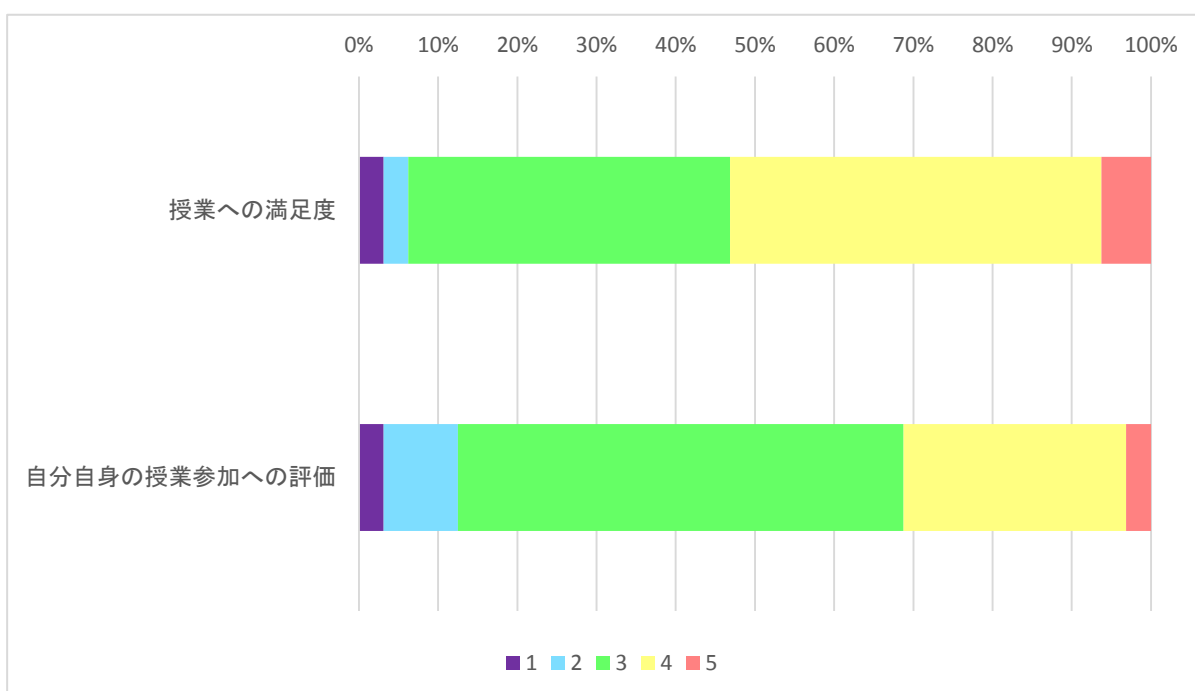
授業では、前回のリアクションペーパーから、全体で共有したい事項あるいは補足すべき事項を紹介しました。リアクションペーパーや、授業アンケートの自由記述に、他の受講生の意見を知る機会になって良かったという旨の感想をいただきました。受講生の中には、実習で計画策定の会議に同席したり、地域で計画策定の委員を務めているという方もおり、深い学びになったようです。また、地域における住民の主体的な活動に関するDVDを活用し、授業の内容をイメージできるよう心掛けました。これらの工夫については受講生からも好評価をいただきました。

本科目は、他の科目と重なる部分が多く、復習になってしまいがちです。そこで今年度初めての試みとして、授業の後半にグループワークを取り入れ、データを読み解き、計画を策定するという時間を設けました。データを読み解くこと、さらに取り組むべき課題をいくつか挙げることの難しさを実感したようです。この取り組みに関しては、参加型の授業で学びが深まったという旨の感想をいただきました。受講生が多い中でのグループワークは容易ではありませんでしたが、次年度の課題にしていきたいと思っています。

本科目の受講を通じて、受講生自らの地域に関心を寄せ、地域課題および地域実践について、他人ごとではなく自分のこととして考えられるよう、授業を進めたいと考えています。

氏名	斉藤 くるみ		
科目名	英語B2		
実施日	2017/6/19	配当年次	1
履修者数	43	回答者数	32

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	1	13	15	2	32
自分自身の授業参加への評価	1	3	18	9	1	32

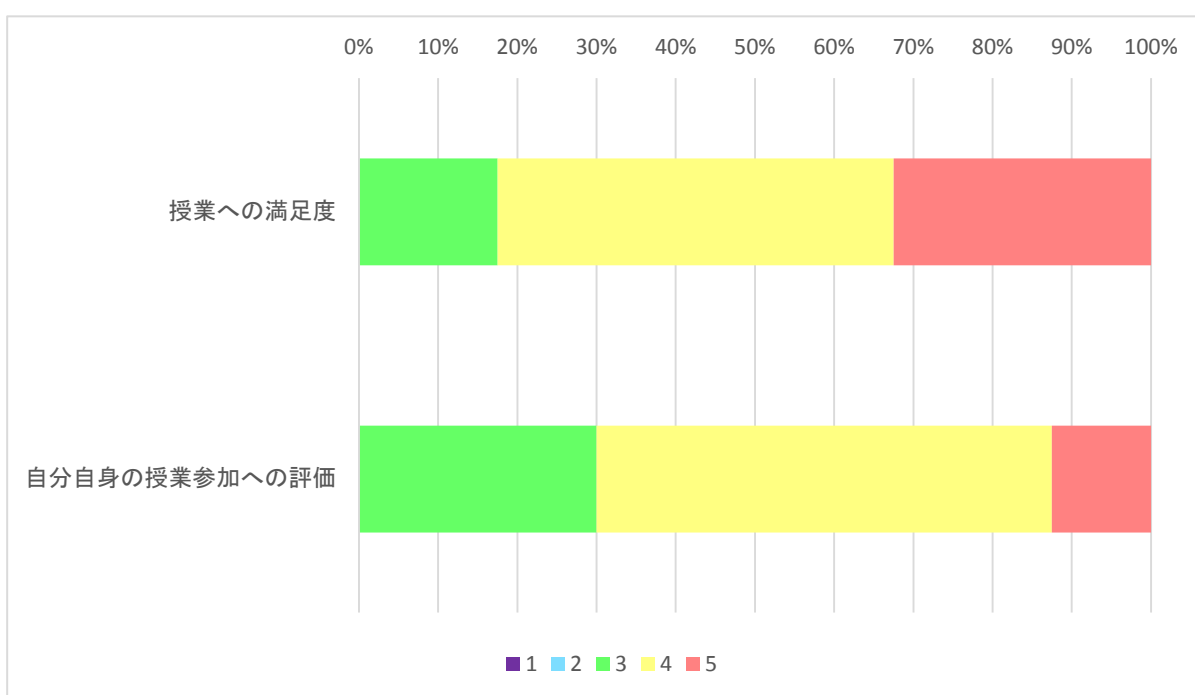


■ 担当者のコメント

英語の授業評価は、講義科目に比べて急に苦情が増える。「小テストが難しい」というのもあったが、毎回のテストはレベル的には低く、合計点が100点を越える学生もいる。「範囲がわからない」というのもあったが、前回の授業の範囲、ということを確認してあり、ノートをきちんと取ってれば100%できるはずの問題である。私は遅刻、延長はしていないが、映画を見たい人はもう少しつけておく、と言うことが1回か2回あった。(ほとんどの学生が退室した。)楽しかった、勉強になった、という学生もかなりいて、個々の学生の英語への感情が露わになっている。成績のばらつきも極端で、本学の英語教育には長年苦勞している。レベル別クラス編成ができることが理想であるが現実的ではない。画面が見にくいことは気になっていたが、毎回見えない人はいないか確認している。「正解がわからなかった」という苦情も含めて、発言を求めても、その場で言えないことが一番問題で、コミュニケーション教育の点で、早速この点の指導を強化したい。

氏名	酒本 知美		
科目名	精神保健福祉援助技術各論 I		
実施日	2017/11/28	配当年次	2
履修者数	58	回答者数	40

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	7	20	13	40
自分自身の授業参加への評価	0	0	12	23	5	40



■ 担当者のコメント

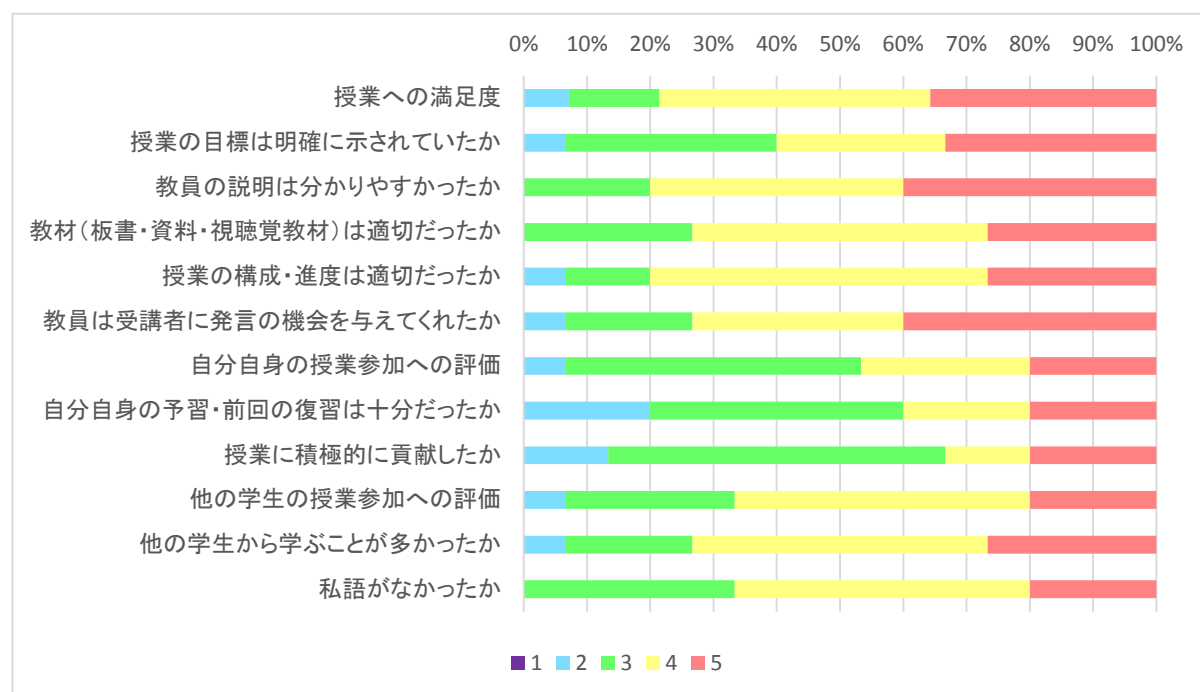
初めて行う授業と言うこともあり、学生の求めているものなどが十分にわからないなかでの授業であった。その中で、学生の関心などをききながら授業をすすめていった。グループワークを行い、一方通行の授業にならない工夫をした。

リアクションペーパーへのコメントは、枚数も多いこともあり、次年度は辞めようと思っていたが、学生からのニーズも多いことから、継続していくこと、また、その方法を検討していきたいと考えている。

また、マイクをまわす学生が偏っているとの指摘があったので、名簿を使うなどして、効率的に回答を求めていきたい。また、一人の学生から目的がわからないことがあったとの指摘もあったので、次年度以降は目的を明確にしたい。さらには、事例を深める工夫もしていきたい。

氏名	佐々木 由恵		
科目名	ケアマネジメント論(介)		
実施日	2017/6/30	配当年次	3
履修者数	15	回答者数	15

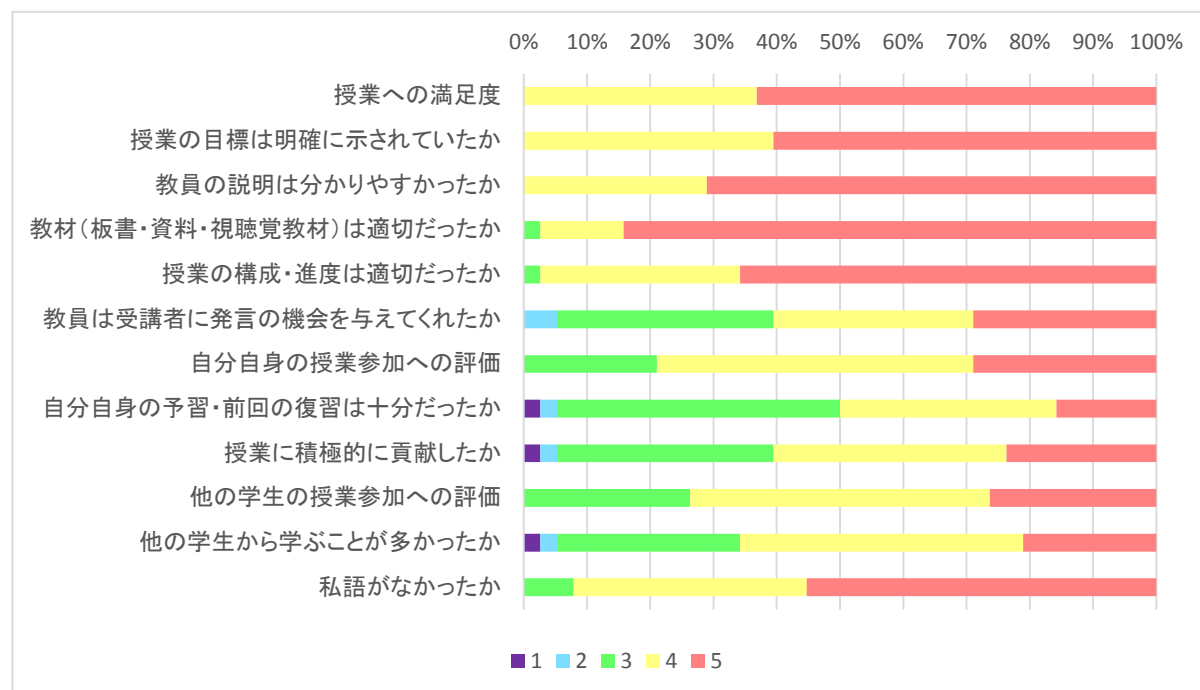
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	2	6	5	14
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	5	4	5	15
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	3	6	6	15
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	7	4	15
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	2	8	4	15
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	3	5	6	15
自分自身の授業参加への評価	0	1	7	4	3	15
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	3	6	3	3	15
授業に積極的に貢献したか	0	2	8	2	3	15
他の学生の授業参加への評価	0	1	4	7	3	15
他の学生から学ぶことが多かったか	0	1	3	7	4	15
私語がなかったか	0	0	5	7	3	15



■ 担当者のコメント

氏名	佐竹 要平		
科目名	社会的養護内容B		
実施日	2017/12/19	配当年次	2
履修者数	45	回答者数	38

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	14	24	38
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	15	23	38
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	11	27	38
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	5	32	38
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	12	25	38
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	13	12	11	38
自分自身の授業参加への評価	0	0	8	19	11	38
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	1	17	13	6	38
授業に積極的に貢献したか	1	1	13	14	9	38
他の学生の授業参加への評価	0	0	10	18	10	38
他の学生から学ぶことが多かったか	1	1	11	17	8	38
私語がなかったか	0	0	3	14	21	38

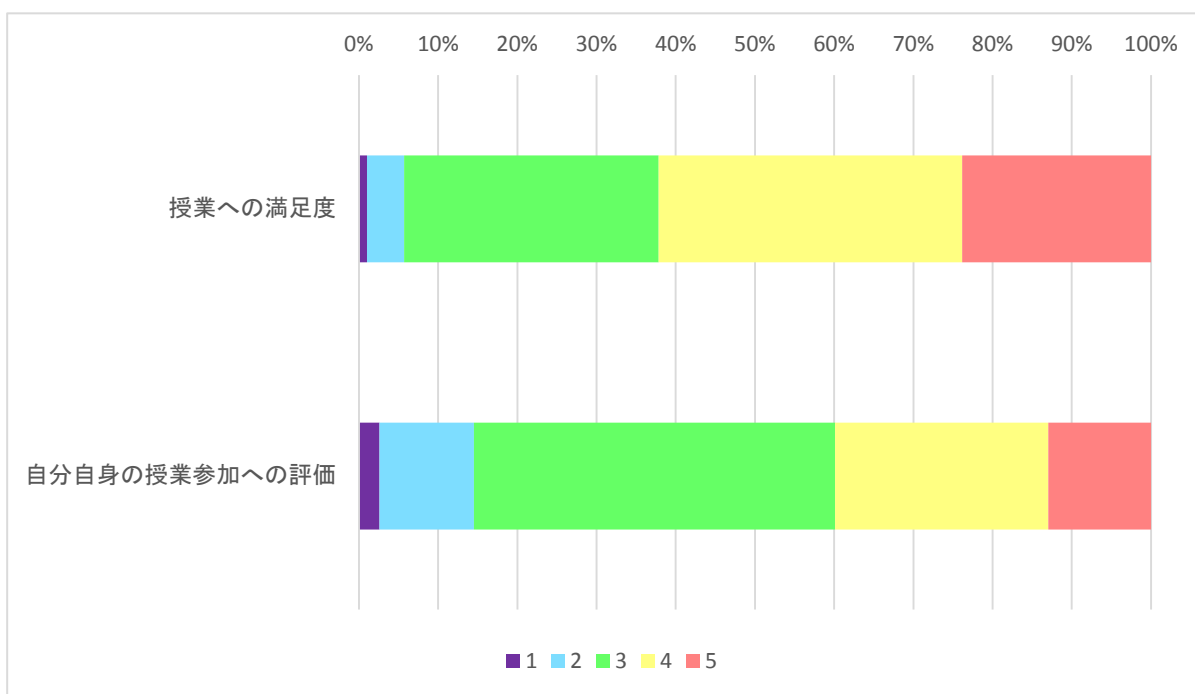


■ 担当者のコメント

「授業への満足度」「授業の目標は明確に示されていたか」「教員の説明は分かりやすかったか」「授業の構成・進度は適切だったか」の項目では、高い評価であったと思うが、「教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか」「自分自身の授業参加への評価」「自分自身の予習・前回の復習は十分だったか」「授業に積極的に貢献したか」の項目では、中程度の評価となっている。今後は、授業の度に復習事項・予習事項を明確に説明し、授業内で発表する機会を設ける等能動的な授業展開を心掛けたい。

氏名	下垣 光		
科目名	心理学		
実施日	2017/5/26	配当年次	1
履修者数	219	回答者数	194

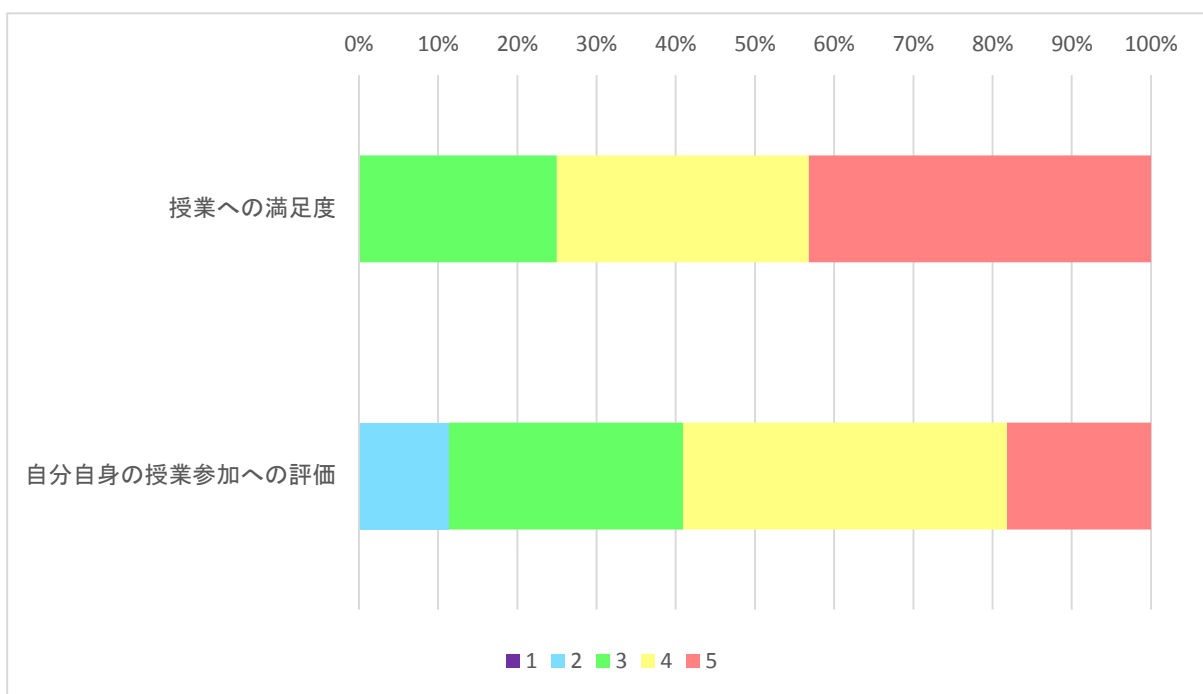
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	2	9	62	74	46	193
自分自身の授業参加への評価	5	23	88	52	25	193



■ 担当者のコメント

氏名	竹内 幸子		
科目名	科学的思考IV		
実施日	2017/6/8	配当年次	1
履修者数	63	回答者数	44

	← 評価 →					合計
	no	1	2	3	4	
授業への満足度	0	0	11	14	19	44
自分自身の授業参加への評価	0	5	13	18	8	44

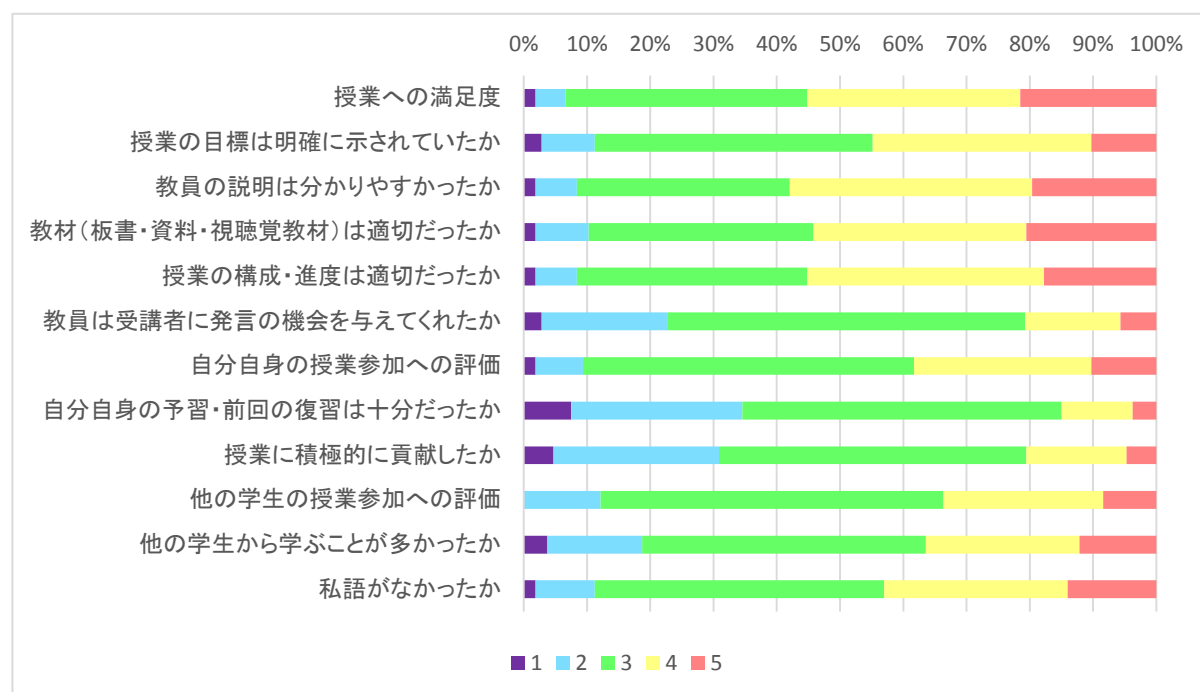


■ 担当者のコメント

内容は統計学の基礎であり、どちらかと言えば学生さん達の苦手とする科目であろうことを思えば、満足度についてネガティブな評価がなかったのは、担当者としてほっとするところです。この科目の特徴として、前回までにやったことの上に、次の項目が積み重ねられるため、休んだり、理解をしていないことをそのままにしていたりすると、授業についていきにくくなると思われます。それが授業参加への否定的な評価に繋がっているのではないかと思います。授業の中で、重ね塗りのように繰り返し前の項目を振り返るようにはしているのですが、今後もそれに留意し、学生さんの理解度を確かめながら進めていきたいと思っています。

氏名	田村 真広		
科目名	人間の知性VI教育原 I		
実施日	2017/6/13	配当年次	1
履修者数	125	回答者数	107

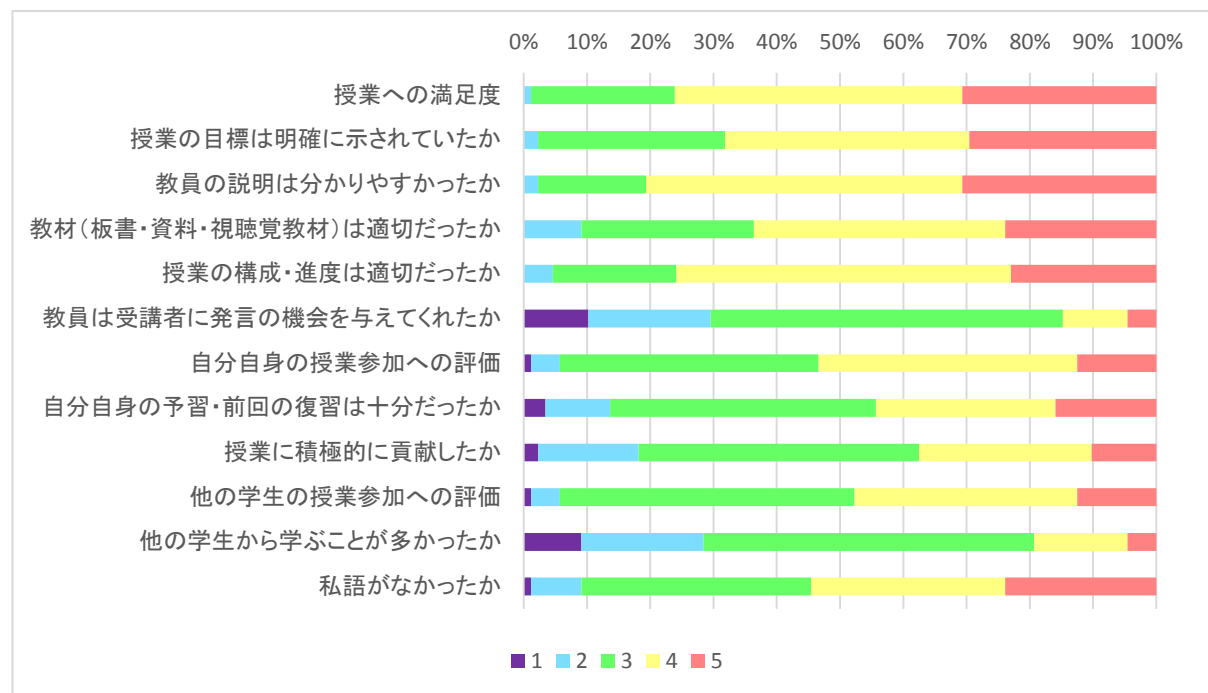
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	2	5	41	36	23	107
授業の目標は明確に示されていたか	3	9	47	37	11	107
教員の説明は分かりやすかったか	2	7	36	41	21	107
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	2	9	38	36	22	107
授業の構成・進度は適切だったか	2	7	39	40	19	107
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	3	21	60	16	6	106
自分自身の授業参加への評価	2	8	56	30	11	107
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	8	29	54	12	4	107
授業に積極的に貢献したか	5	28	52	17	5	107
他の学生の授業参加への評価	0	13	58	27	9	107
他の学生から学ぶことが多かったか	4	16	48	26	13	107
私語がなかったか	2	10	49	31	15	107



■ 担当者のコメント

氏名	辻 浩		
科目名	社会の認識 X I / 教育原理 II		
実施日	2017/11/22	配当年次	1
履修者数	119	回答者数	88

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	20	40	27	88
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	26	34	26	88
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	15	44	27	88
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	8	24	35	21	88
授業の構成・進度は適切だったか	0	4	17	46	20	87
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	9	17	49	9	4	88
自分自身の授業参加への評価	1	4	36	36	11	88
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	9	37	25	14	88
授業に積極的に貢献したか	2	14	39	24	9	88
他の学生の授業参加への評価	1	4	41	31	11	88
他の学生から学ぶことが多かったか	8	17	46	13	4	88
私語がなかったか	1	7	32	27	21	88

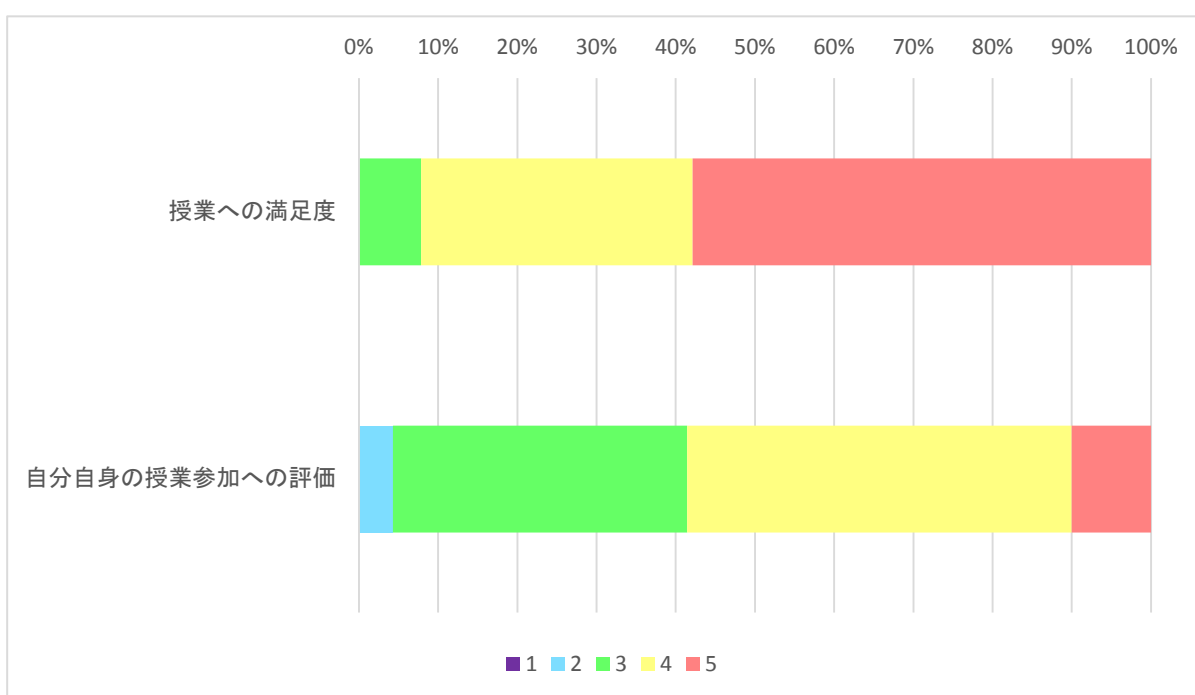


■ 担当者のコメント

授業への満足度、授業目標の提示、構成や進度の項目で評価5・4が70～80%なので、全体的には授業が良かったと受け止めている。今年度はじめてのテキストを使ったが、教材の適切性の項目で、評価5・4が64%だったので、まずまずだったと考える。評価の低い項目として、受講者の発言機会と他の学生から学ぶの項目がある。確かに、授業中に質問や発言を求める機会を設けず、一斉教授のみの授業だったので、このような評価になったものと思っている。大講義室での講義科目で学生に発言させてそれで時間を消費していくことがいいことかどうか迷いがあるが、一度は取り組んでみなければならぬのかもしれないと受け止めたい。

氏名	鶴岡 浩樹		
科目名	医学一般		
実施日	2017/7/6	配当年次	1
履修者数	205	回答者数	140

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	11	48	81	140
自分自身の授業参加への評価	0	6	52	68	14	140

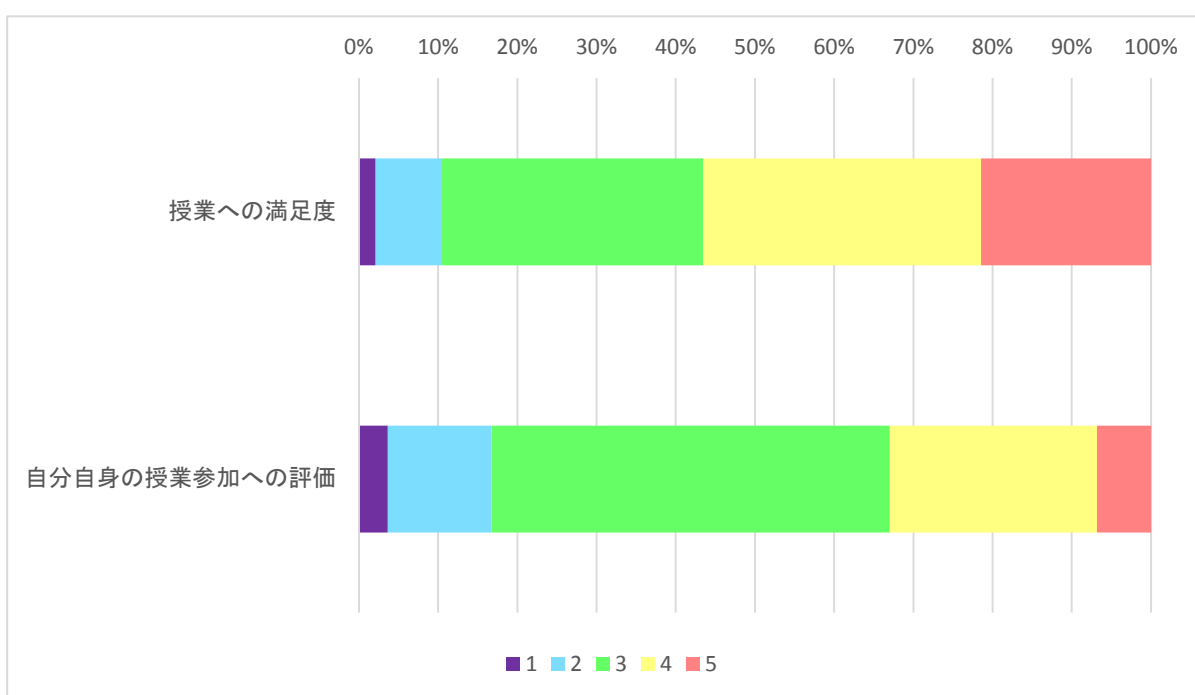


■ 担当者のコメント

4と5が全体の92%を占めており、概ね学生の満足度は高かったと自己評価する。臨床医としての現場体験を織りまぜたことが学びの理解を深めたようだ。膨大な医学知識をわずか15回の授業で伝えなければならず、どうしても広く浅くなってしまう。もう少し深掘りしてほしいというコメントがあったことはうなづける。知識供給型の一方的な授業となってしまうがちなので、今年度は毎回アクションペーパーを提出してもらい次の授業でフィードバックを行った。よかったという意見が多かったが、フィードバックの時間が長いと批判的な意見もあった。来年度は時間配分を工夫し、より質の高いものとしたい。今年度一番変わったことはテストをやめレポートで評価したこと。レポートにしたことで学生ひとり一人の意見が把握でき手ごたえを感じた。来年度もテストは実施せずレポートで評価したい。

氏名	贅川 信幸		
科目名	社会福祉調査法 I		
実施日	2017/7/17	配当年次	2
履修者数	228	回答者数	191

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	4	16	63	67	41	191
自分自身の授業参加への評価	7	25	96	50	13	191



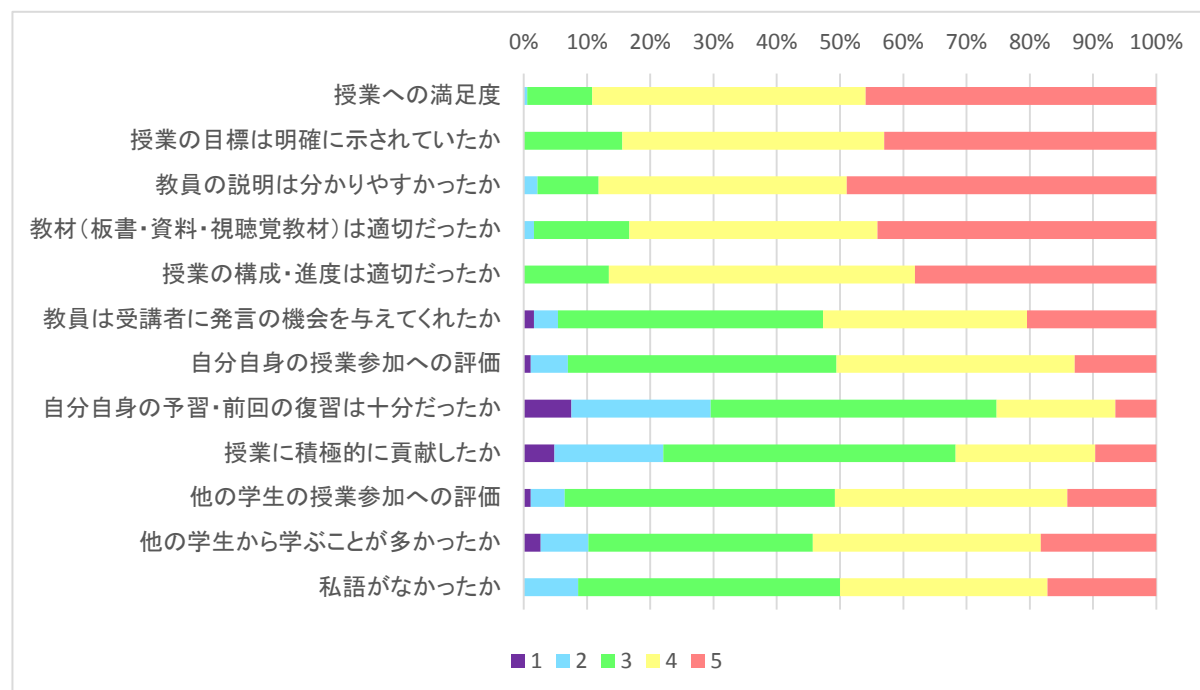
■ 担当者のコメント

社会福祉調査は社会福祉士になぜ必要なのか、数学的なことが必要なのか、調査の方法等を理解してもらえよう、例え話を交えながら噛み砕いて説明する工夫を試みました。授業評価では、その説明が「分かりやすかった」とのコメントがある一方で、特に「授業への満足度」で1点や2点の評価の学生さんからは「分かりにくかった」とのコメントもありました。

その他のコメントも踏まえ、今後は説明の仕方の工夫、穴埋め(書き込み)式の資料、具体例を豊富にすること、毎回のリアクションペーパーにより理解度を確認しながら進める等の工夫を検討していきたいと思えます。

氏名	菱沼 幹男		
科目名	地域福祉論Ⅱ		
実施日	2017/7/18	配当年次	2
履修者数	225	回答者数	186

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	19	80	85	185
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	29	77	80	186
教員の説明は分かりやすかったか	0	4	18	73	91	186
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	3	28	73	82	186
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	25	90	71	186
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	3	7	78	60	38	186
自分自身の授業参加への評価	2	11	79	70	24	186
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	14	41	84	35	12	186
授業に積極的に貢献したか	9	32	86	41	18	186
他の学生の授業参加への評価	2	10	79	68	26	185
他の学生から学ぶことが多かったか	5	14	66	67	34	186
私語がなかったか	0	16	77	61	32	186

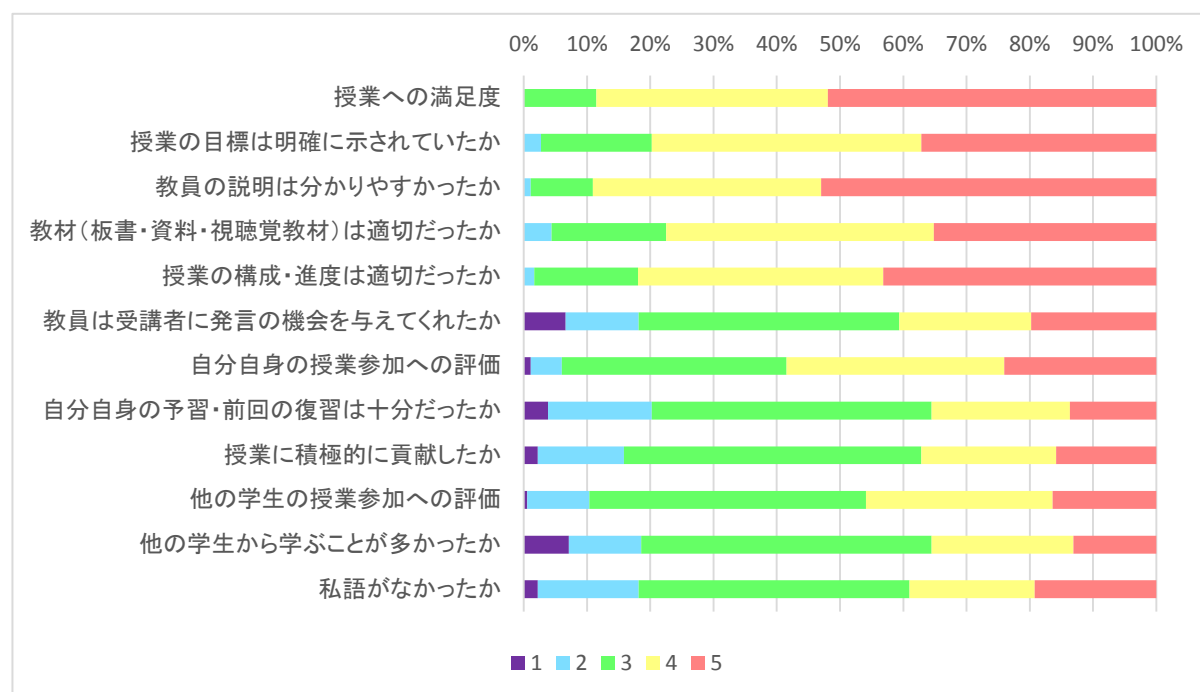


■ 担当者のコメント

私語については、授業冒頭に学習権の侵害であることを伝えていますが、今後、全ての私語がなくなるように学生達への説明を改めて意識的に行いつつ、学生自身が積極的に授業参加していけるように、発言の機会を設けていくように改善に努めたいと思います。

氏名	藤岡 孝志		
科目名	社会福祉援助技術論Ⅱ		
実施日	2017/7/28	配当年次	2
履修者数	221	回答者数	183

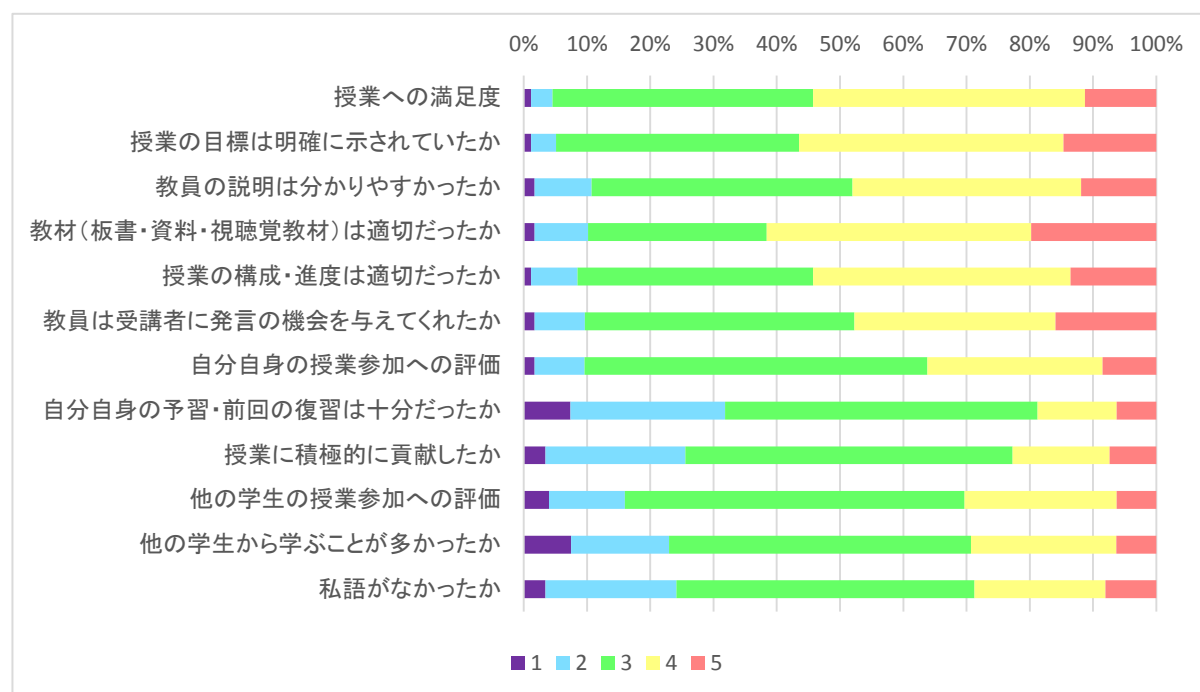
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	21	67	95	183
授業の目標は明確に示されていたか	0	5	32	78	68	183
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	18	66	97	183
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	8	33	77	64	182
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	30	71	79	183
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	12	21	75	38	36	182
自分自身の授業参加への評価	2	9	65	63	44	183
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	7	30	81	40	25	183
授業に積極的に貢献したか	4	25	86	39	29	183
他の学生の授業参加への評価	1	18	80	54	30	183
他の学生から学ぶことが多かったか	13	21	84	41	24	183
私語がなかったか	4	29	78	36	35	182



■ 担当者のコメント

氏名	壬生 尚美		
科目名	介護概論 I		
実施日	2018/1/12	配当年次	1
履修者数	214	回答者数	177

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	2	6	73	76	20	177
授業の目標は明確に示されていたか	2	7	68	74	26	177
教員の説明は分かりやすかったか	3	16	73	64	21	177
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	3	15	50	74	35	177
授業の構成・進度は適切だったか	2	13	66	72	24	177
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	3	14	75	56	28	176
自分自身の授業参加への評価	3	14	96	49	15	177
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	13	43	87	22	11	176
授業に積極的に貢献したか	6	39	91	27	13	176
他の学生の授業参加への評価	7	21	94	42	11	175
他の学生から学ぶことが多かったか	13	27	83	40	11	174
私語がなかったか	6	36	82	36	14	174

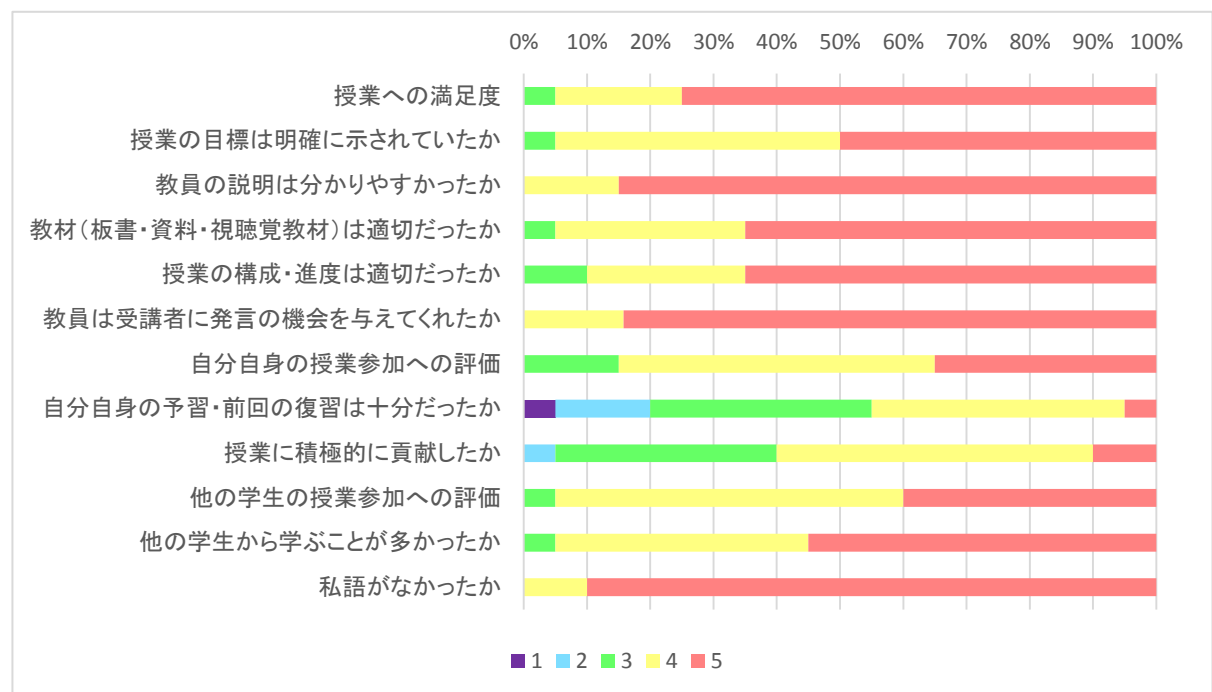


■ 担当者のコメント

今年度初めて介護福祉コース履修者以外の福祉を目指す1年生、編入生等約200名を対象に、「介護概論」の講義を行った。授業への満足度に関しては90%以上の学生が普通以上の評価をしており、今年度に準じた教授内容を来年度も伝えていきたいと考える。「介護」の講義を一般化すべきという感想もあり、更に、介護福祉実践課題を深化できるよう具体的な内容を取り上げ、教授方法を工夫していきたいと考える。今回、後半の単元の時間が足りなくなってしまったため、来年度は全体を見据えた授業構成をもう少し検討していきたい。そして、福祉領域を専攻する学生とともに介護福祉実践課題を検討することによって、介護のイメージを変革し、今後のあり方を追究していきたいと考える。

氏名	宮島 清		
科目名	子どものケースマネジメント		
実施日	2017/11/24	配当年次	3
履修者数	31	回答者数	20

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	4	15	20
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	9	10	20
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	3	17	20
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	6	13	20
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	5	13	20
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	3	16	19
自分自身の授業参加への評価	0	0	3	10	7	20
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	3	7	8	1	20
授業に積極的に貢献したか	0	1	7	10	2	20
他の学生の授業参加への評価	0	0	1	11	8	20
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	8	11	20
私語がなかったか	0	0	0	2	18	20

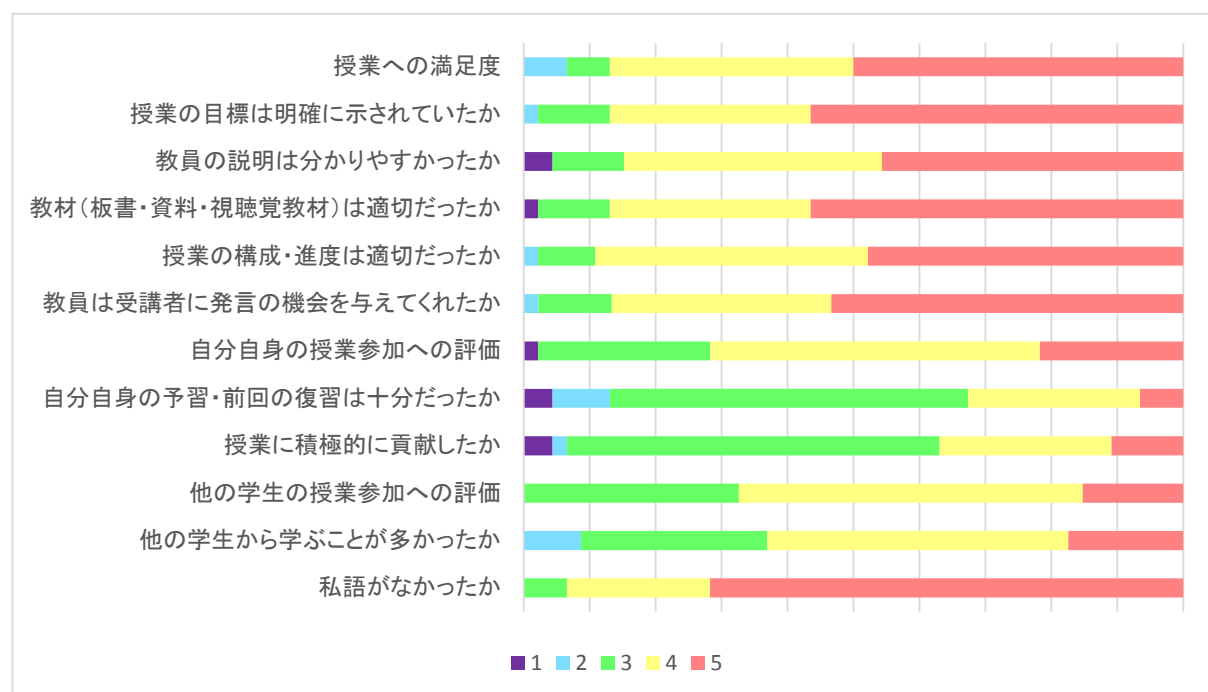


■ 担当者のコメント

2コマ連続の授業を8回、しかも、金曜日の1・2時限目ですので、受講することは、易いわけではありませ
 ん。また、この講義では、毎回のように課題を示し、個人で考えてもらい、話し合い、その内容を述べ合っ
 てもらいました。これも容易いことではありません。この講義が、社会福祉士受験資格取得の相談援助実習を
 行って間もない秋から冬に置かれていることもあって、取り上げた事例や提示した課題に対して、受講者の
 皆さんは、そこで経験したことなどに照らして、真剣に考え、また論じ合ってくれました。みなさんの気づきや
 「問いかけ」は、とても深いので、専門職大学院での講義が主であり、児童相談所や市区町村の現場の方
 への研修などに携わることが多い私にとっても、とても興味深く、有意義な時間を過ごさせて頂いたと思っ
 ております。

氏名	村田 文世		
科目名	地方自治論		
実施日	2017/7/25	配当年次	3
履修者数	78	回答者数	46

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	3	3	17	23	46
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	5	14	26	46
教員の説明は分かりやすかったか	2	0	5	18	21	46
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	0	5	14	26	46
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	4	19	22	46
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	5	15	24	45
自分自身の授業参加への評価	1	0	12	23	10	46
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	4	25	12	3	46
授業に積極的に貢献したか	2	1	26	12	5	46
他の学生の授業参加への評価	0	0	15	24	7	46
他の学生から学ぶことが多かったか	0	4	13	21	8	46
私語がなかったか	0	0	3	10	33	46

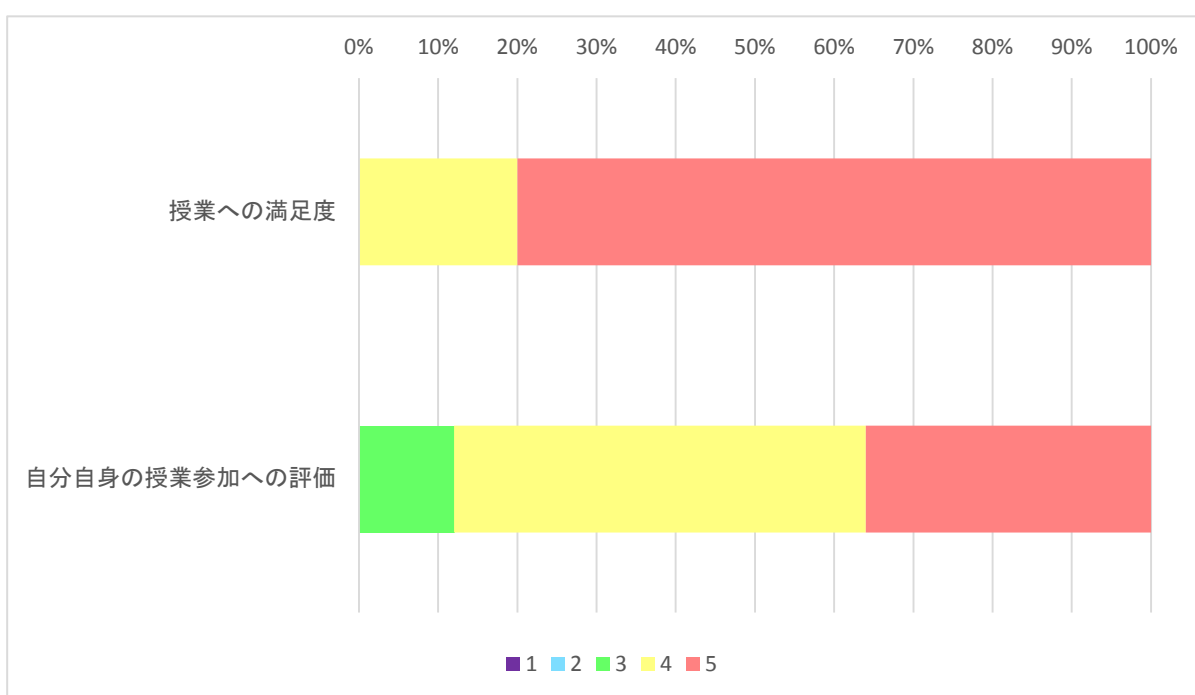


■ 担当者のコメント

授業内容、教育方法については、毎回のレジュメの使用、関連する行政資料やDVD視聴、新聞資料等の利用を通して、学生の理解度と興味関心の向上を図ることができ、概ね高い満足度を得ることができた。また、参加の仕掛けとして、演習形式による財政データ分析、DVD視聴後のディスカッションやリアクションペーパーの共有化を通して、発言や学生間の議論の場を付与する工夫を行った。授業への誘引や一定の教育的効果に繋がったと考える。一方で、予習・復習、授業への積極的な貢献などでは課題も残った。レポートや具体的課題などを通して更なる自習、探求の機会を意図的に設けていきたい。

氏名	森 千佐子		
科目名	介護技術演習Ⅱ(介)		
実施日	2017/6/12	配当年次	1
履修者数	22	回答者数	25

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	5	20	25
自分自身の授業参加への評価	0	0	3	13	9	25



■ 担当者のコメント

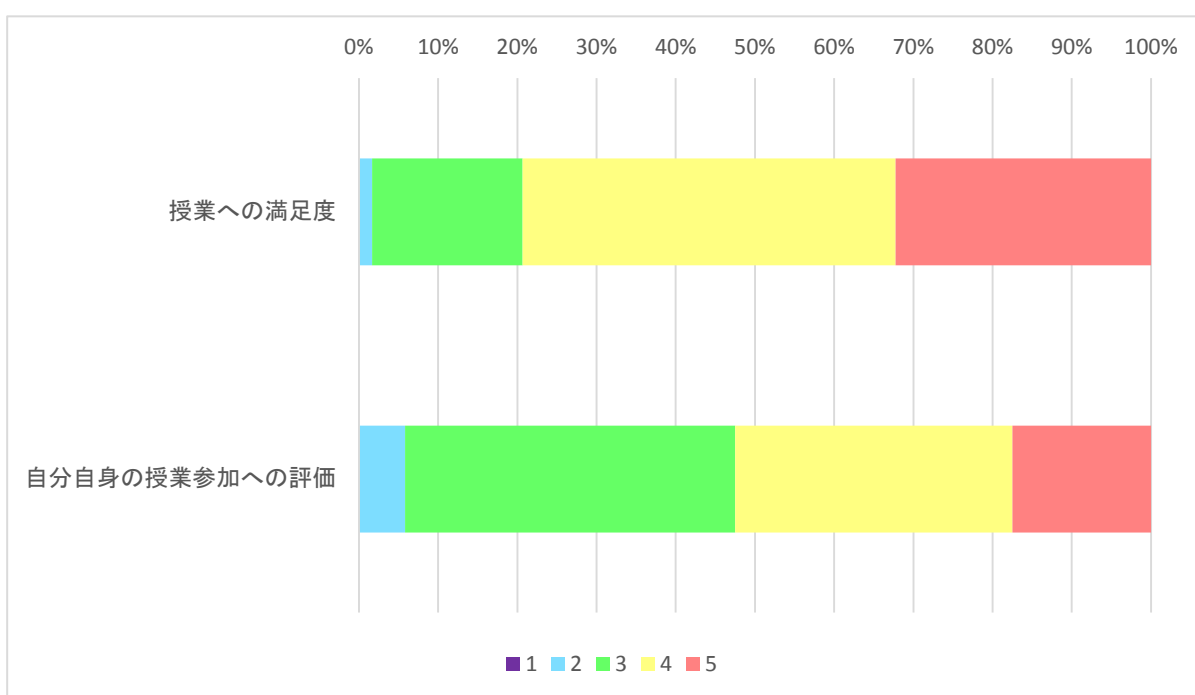
・授業への満足度は5の学生が多く、コメントから介護実践に直接つながる技術習得ができたためと考える。単なる手順を覚えるのではなく、根拠を明確にすることを重要視しており、学生もそのことを理解できたようである。

・入浴演習は、機械浴の操作と利用者体験を行ったが、時間と人数の関係で実際に湯を入れて行うことはできなかった。また、リフトを使った移乗は、他の演習と組み合わせてローテーションする方法にしたが、待ち時間が多くなってしまった。限られた時間での演習であるため、改善策としては、小グループとして空き時間を使うこと、複数の教員で対応することが考えられる。学生の空き時間に自己練習をすることを促し、一部の学生ではあるが練習に励んでいた。自己練習の際に、技術の確認ができるようにチェックリストの作成を考えたい。

・学生は演習やグループでの事例検討に、積極的に取り組んでいたと思う。

氏名	山田 憲児		
科目名	更生保護制度		
実施日	2017/7/17	配当年次	3
履修者数	189	回答者数	121

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	23	57	39	121
自分自身の授業参加への評価	0	7	50	42	21	120



■ 担当者のコメント

更生保護制度を単に教科書的に教えるのではなく、生きた更生保護、実際の更生保護、施策の社会的背景などを伝えることに努め、パワーポイント、ビデオなどの教材の充実に努めた(ビデオ上映本数6本、補講3回)。

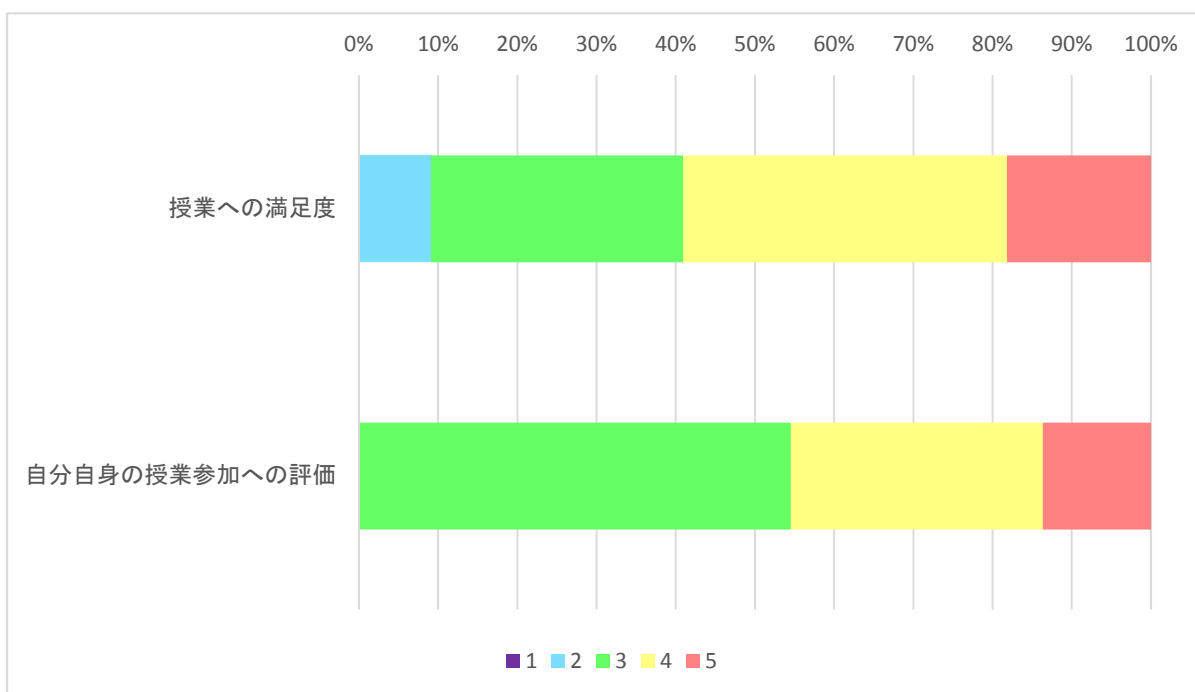
授業で良かった点として、「分かりやすかった」、「リアクションペーパーに応じてくれた」「国試の過去問を取り上げた」「ビデオが観れた」などであり、改善した方がよかった点として、「講義数が少ない」、などであった。

伝えたい内容に比して、時間数が足りない感がある。

2-2. 非常勤講師等

氏名	相原 勝		
科目名	初級ドイツ語A		
実施日	2017/6/12	配当年次	1
履修者数	30	回答者数	22

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	7	9	4	22
自分自身の授業参加への評価	0	0	12	7	3	22

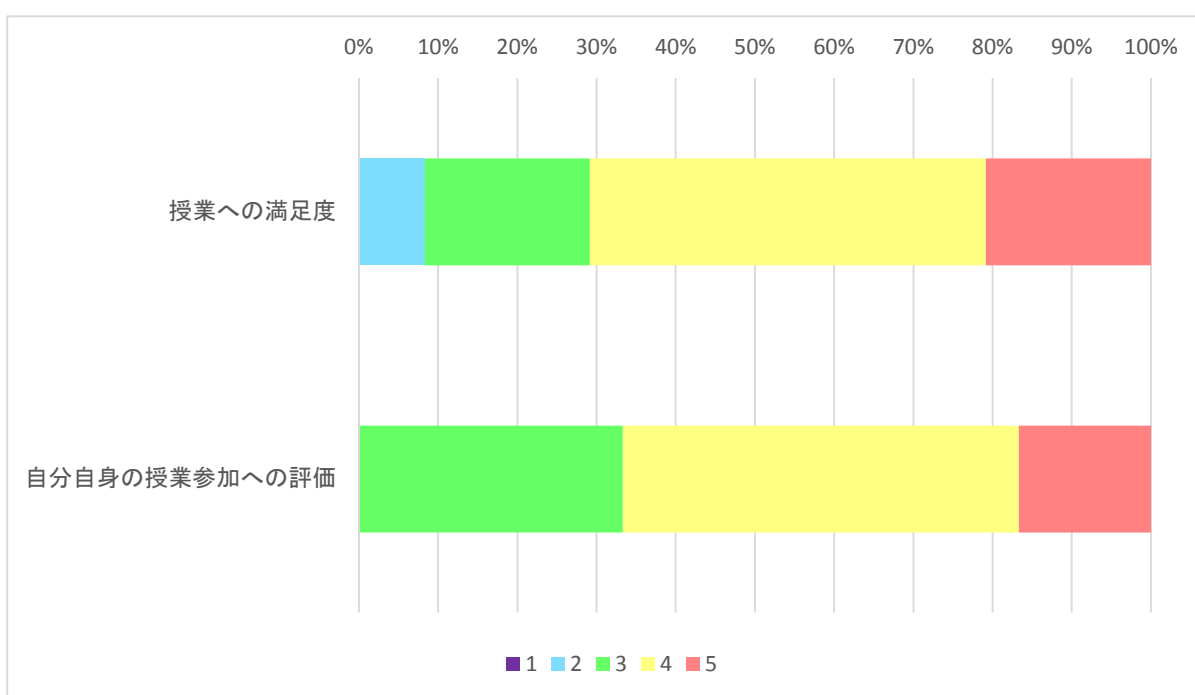


■ 担当者のコメント

初めて触れるドイツ語を、大部分の学生は、週一回、15回の授業で終わってしまうので、どの程度の進度で教えればよいのか大変難しい。

氏名	秋島 恵子		
科目名	家政学概論Ⅱ(介)		
実施日	2017/7/28	配当年次	2
履修者数	28	回答者数	24

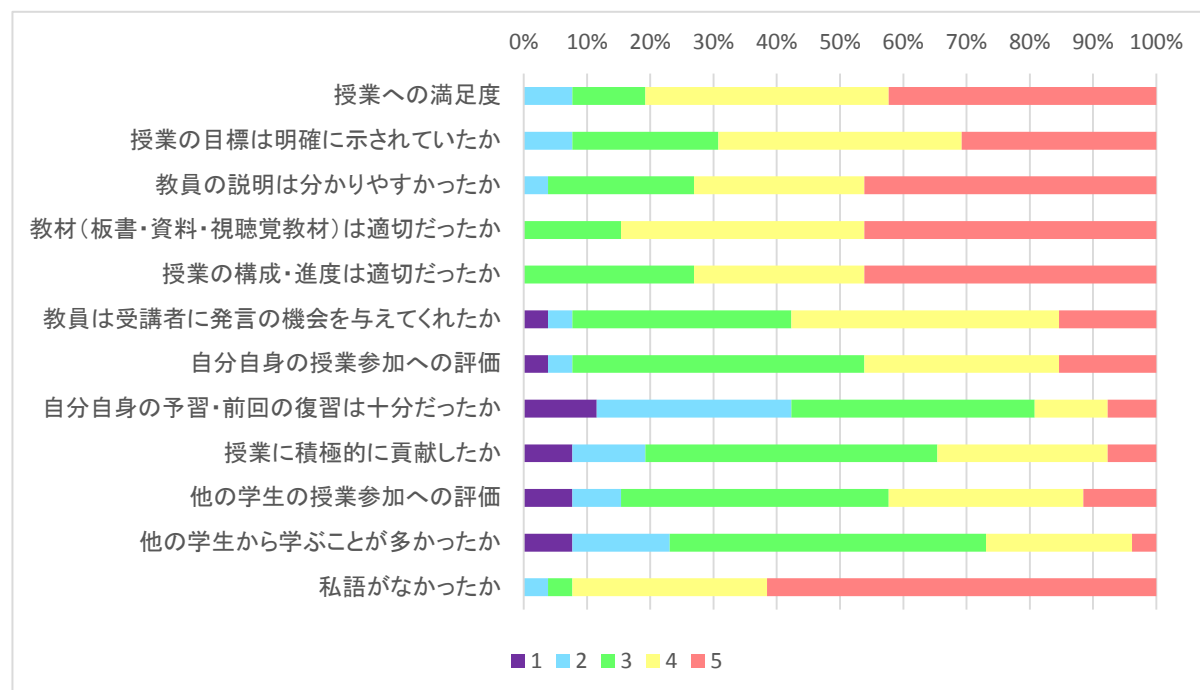
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	5	12	5	24
自分自身の授業参加への評価	0	0	8	12	4	24



■ 担当者のコメント

氏名	阿部 美樹雄		
科目名	福祉と経営/施設処遇法		
実施日	2017/12/21	配当年次	3
履修者数	46	回答者数	26

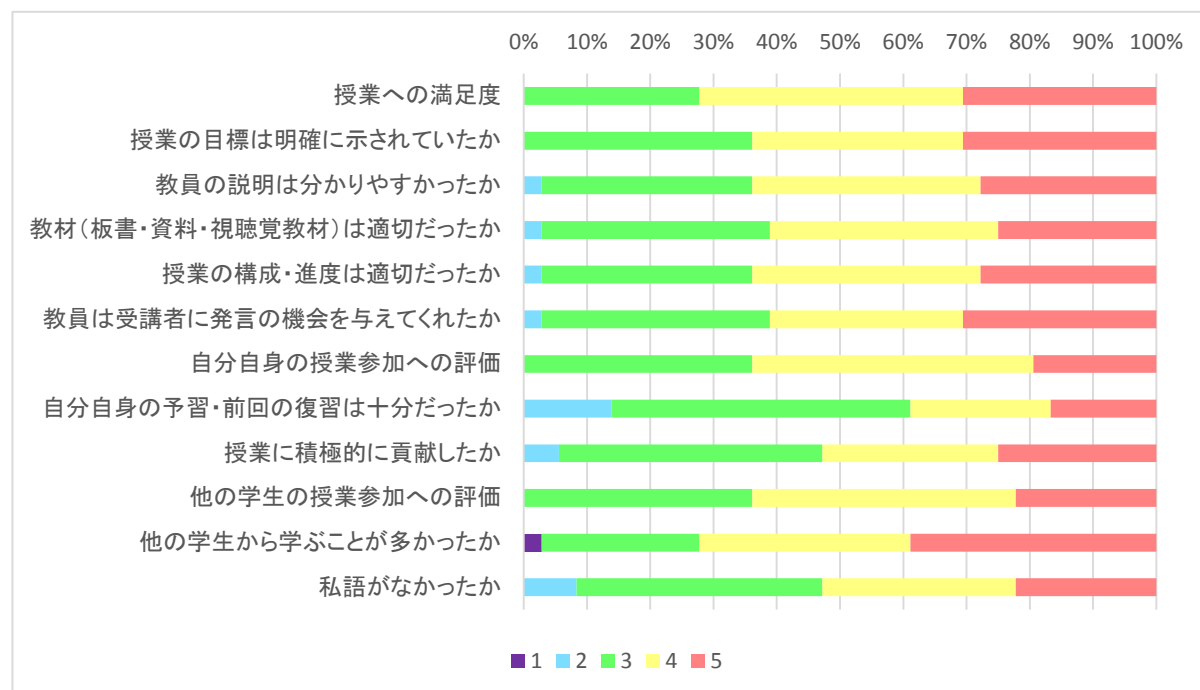
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	3	10	11	26
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	6	10	8	26
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	6	7	12	26
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	10	12	26
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	7	7	12	26
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	1	9	11	4	26
自分自身の授業参加への評価	1	1	12	8	4	26
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	8	10	3	2	26
授業に積極的に貢献したか	2	3	12	7	2	26
他の学生の授業参加への評価	2	2	11	8	3	26
他の学生から学ぶことが多かったか	2	4	13	6	1	26
私語がなかったか	0	1	1	8	16	26



■ 担当者のコメント

氏名	荒木紫乃・馬場千晶		
科目名	保育内容演習V(表現)		
実施日	2018/1/20	配当年次	2
履修者数	36	回答者数	36

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	10	15	11	36
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	13	12	11	36
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	12	13	10	36
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	13	13	9	36
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	12	13	10	36
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	13	11	11	36
自分自身の授業参加への評価	0	0	13	16	7	36
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	5	17	8	6	36
授業に積極的に貢献したか	0	2	15	10	9	36
他の学生の授業参加への評価	0	0	13	15	8	36
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	9	12	14	36
私語がなかったか	0	3	14	11	8	36

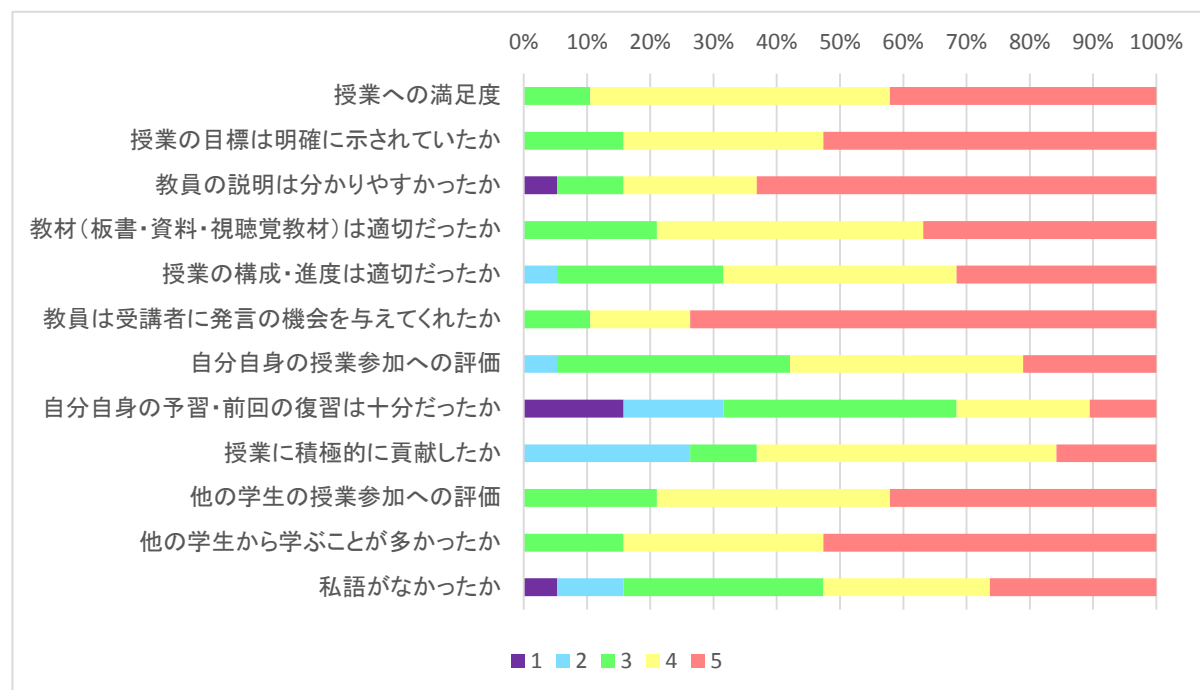


■ 担当者のコメント

こどもを中心に据えた表現の考え方について、ほとんどの方は理解できたと考える。
少数ではあるが、よく理解できていない方もいるので、今後の課題である。

氏名	池田 幸也		
科目名	特別活動研究(教)		
実施日	2017/7/10	配当年次	2
履修者数	22	回答者数	19

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	9	8	19
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	6	10	19
教員の説明は分かりやすかったか	1	0	2	4	12	19
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	8	7	19
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	5	7	6	19
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	3	14	19
自分自身の授業参加への評価	0	1	7	7	4	19
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	3	7	4	2	19
授業に積極的に貢献したか	0	5	2	9	3	19
他の学生の授業参加への評価	0	0	4	7	8	19
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	3	6	10	19
私語がなかったか	1	2	6	5	5	19

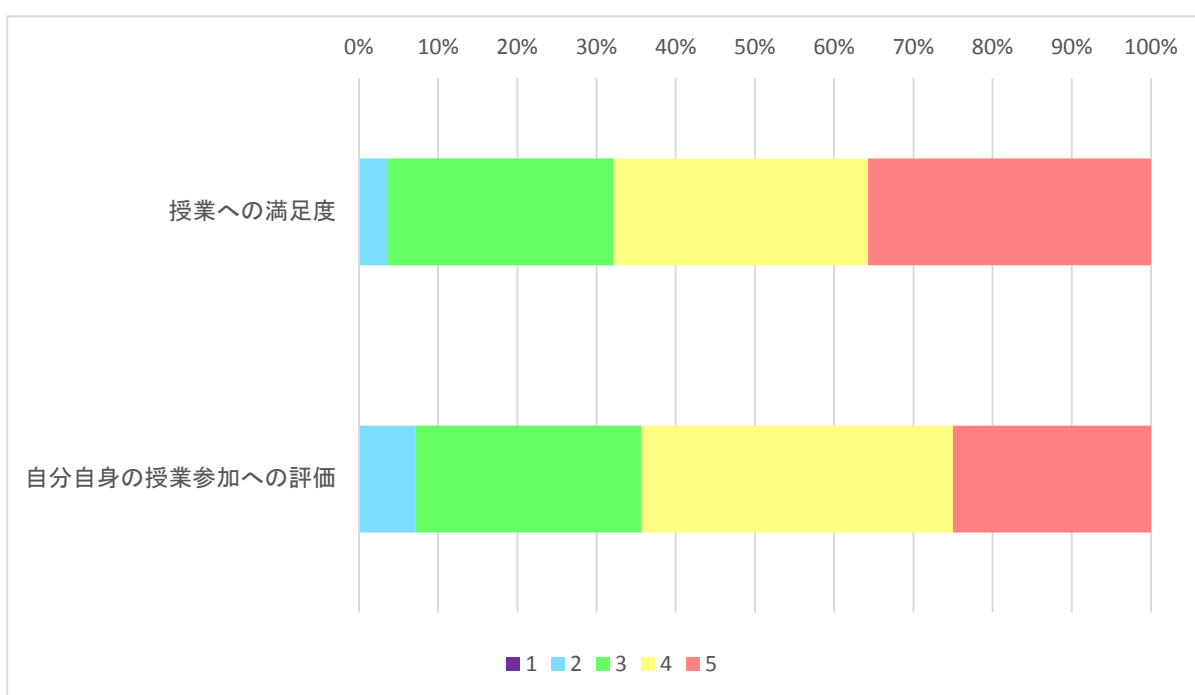


■ 担当者のコメント

全体として学生が積極的に取り組んだ結果だと考える。あえて言えば、この授業は講義とグループワークを組み合わせて行っているので、授業の展開と連続性から、できる限り欠席せずに取り組むことが望まれる。「教員の説明はわかりやすかったか」の項目でNoの回答者が1名いたが、講義の後には毎時間リアクションカードに意見質問を記載してもらっているので、来年度以降はこれを活用して講義期間中に課題を解決するよう、改善に努めたい。

氏名	石井 三智子		
科目名	医療ソーシャルワーク		
実施日	2017/7/17	配当年次	3
履修者数	39	回答者数	28

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	8	9	10	28
自分自身の授業参加への評価	0	2	8	11	7	28

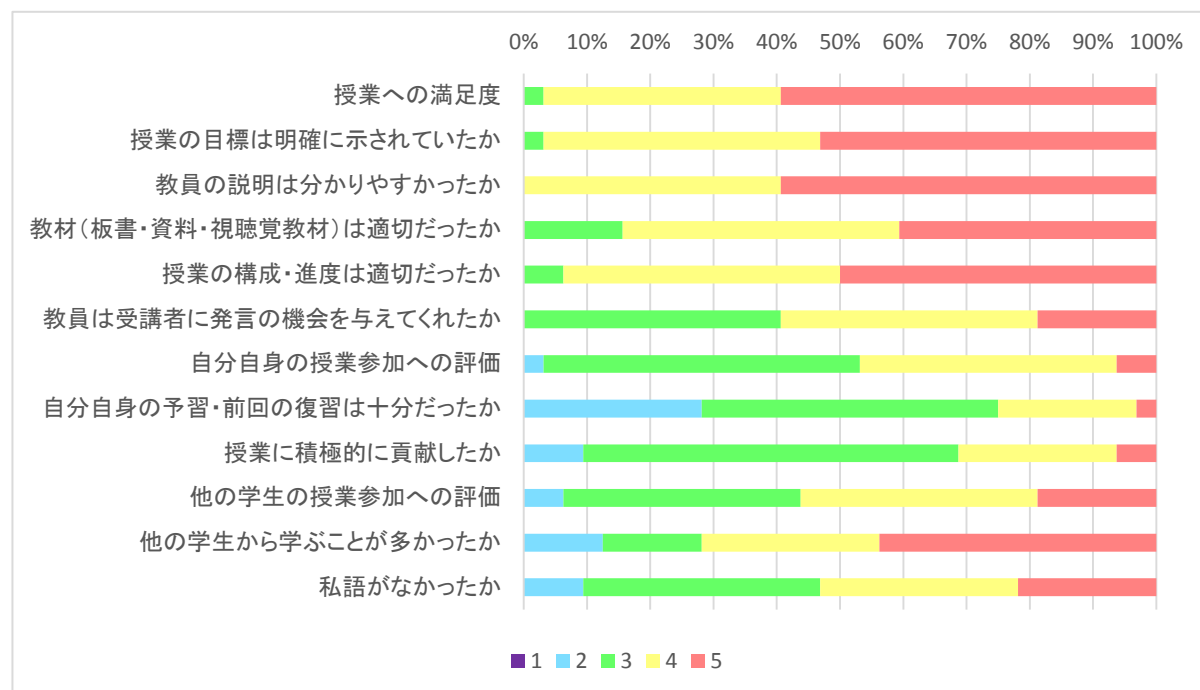


■ 担当者のコメント

今後の改善点について、2点記します。(1) 医療福祉現場の最新情報など、資料・文献を多く準備したが、授業時間・学生の関心やレベルを考慮して、絞り込む。配布の方法を工夫する。(2) 出欠については、カードリーダーを利用、マイクの利用を工夫する。貴大学での出講は、初回であったため、学生の気質・人数規模・学力など予想がつきにくい部分もありました。今期の経験・受講者の意見も参考に、上記の改善を工夫・検討したいと思います。

氏名	石川 輝吉		
科目名	人間の知性IX		
実施日	2018/1/19	配当年次	1
履修者数	46	回答者数	32

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	12	19	32
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	14	17	32
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	13	19	32
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	5	14	13	32
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	14	16	32
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	13	13	6	32
自分自身の授業参加への評価	0	1	16	13	2	32
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	9	15	7	1	32
授業に積極的に貢献したか	0	3	19	8	2	32
他の学生の授業参加への評価	0	2	12	12	6	32
他の学生から学ぶことが多かったか	0	4	5	9	14	32
私語がなかったか	0	3	12	10	7	32

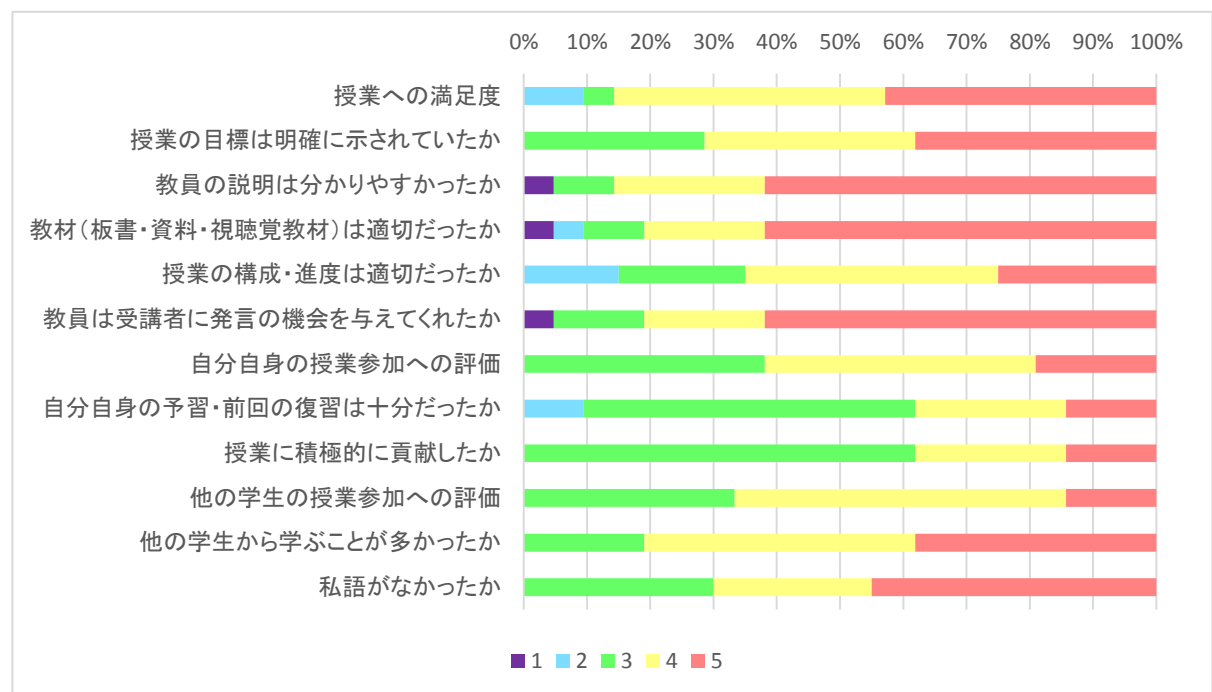


■ 担当者のコメント

教員側の授業の構成についてはおおむね肯定的な評価を得られたと考えられるが、逆に、学生側の自己評価についてはまだそれほど高いとは思われない。基礎科目であるため、とくに厳密な予習・復習を求めるような授業形態ではないが、今後は、学生自身の達成感を強めるように、こちらも前回学んだ部分はなんであり、次回学ぶ部分はなんであるか、そこを強調しながら、受講者がなにができるようになったかを自覚できるような授業をつくっていきたい。

氏名	井堂 有子		
科目名	国際社会福祉論		
実施日	2017/7/28	配当年次	1
履修者数	36	回答者数	21

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	1	9	9	21
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	6	7	8	21
教員の説明は分かりやすかったか	1	0	2	5	13	21
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	1	2	4	13	21
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	4	8	5	20
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	0	3	4	13	21
自分自身の授業参加への評価	0	0	8	9	4	21
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	2	11	5	3	21
授業に積極的に貢献したか	0	0	13	5	3	21
他の学生の授業参加への評価	0	0	7	11	3	21
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	4	9	8	21
私語がなかったか	0	0	6	5	9	20

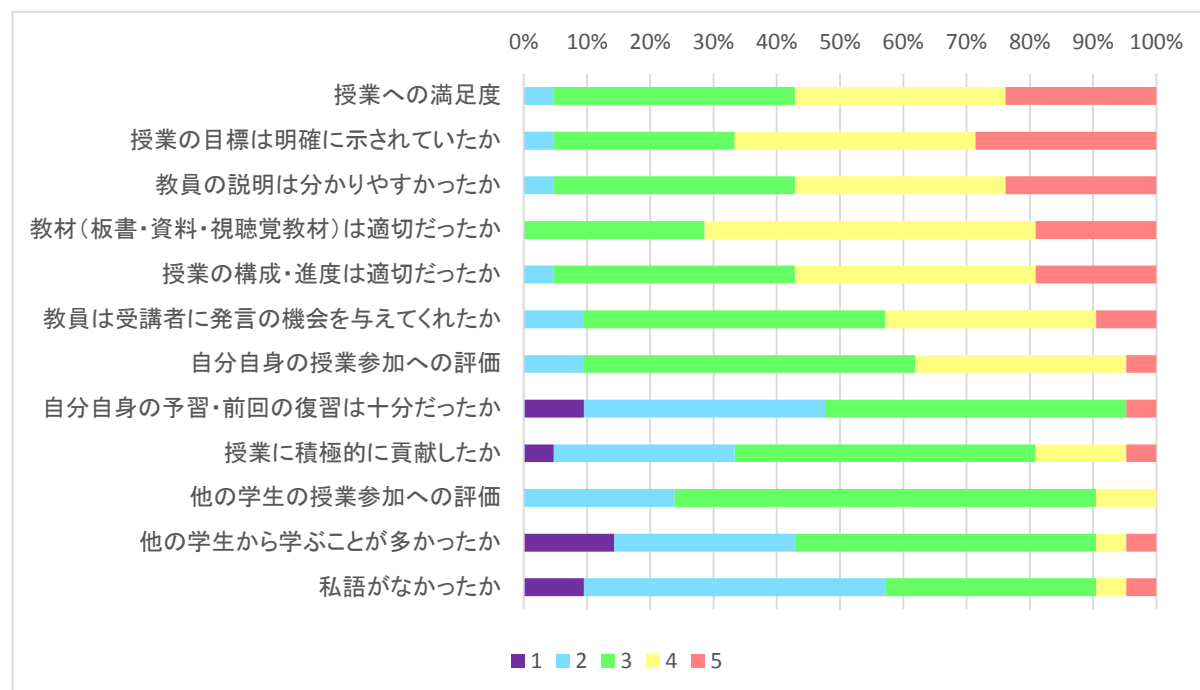


■担当者のコメント

本講義では、「社会的包摂」を一つのキーワードとして、国際社会福祉に関連する幅広いトピックを取り上げました。貧困と格差、難民問題と平和構築、労働・賃金問題、ベーシック・インカム、少数者の権利等、現在進行形の複雑な内容を含んでおり、15回の授業としては若干内容の濃い授業であったかと思われます。特に世界史を履修しなかった一部の履修者の皆さんにはときに難しく感じられたかもしれません。必修科目ではないにもかかわらず、ワークショップやディベートといったグループ活動、映画鑑賞批評の課題等、かなり「注文の多い授業」でした。限られた時間の中で、メンバーと協力して頑張って発表やディベートの準備をして下さった履修者の皆さん、本当にお疲れ様でした。これからも身近なところから国際問題への関心を持ち続けていていただければと願っております。

氏名	稲垣 佑典		
科目名	教養基礎演習E		
実施日	2017/12/21	配当年次	1
履修者数	27	回答者数	21

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	8	7	5	21
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	6	8	6	21
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	8	7	5	21
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	6	11	4	21
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	8	8	4	21
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	10	7	2	21
自分自身の授業参加への評価	0	2	11	7	1	21
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	8	10	0	1	21
授業に積極的に貢献したか	1	6	10	3	1	21
他の学生の授業参加への評価	0	5	14	2	0	21
他の学生から学ぶことが多かったか	3	6	10	1	1	21
私語がなかったか	2	10	7	1	1	21

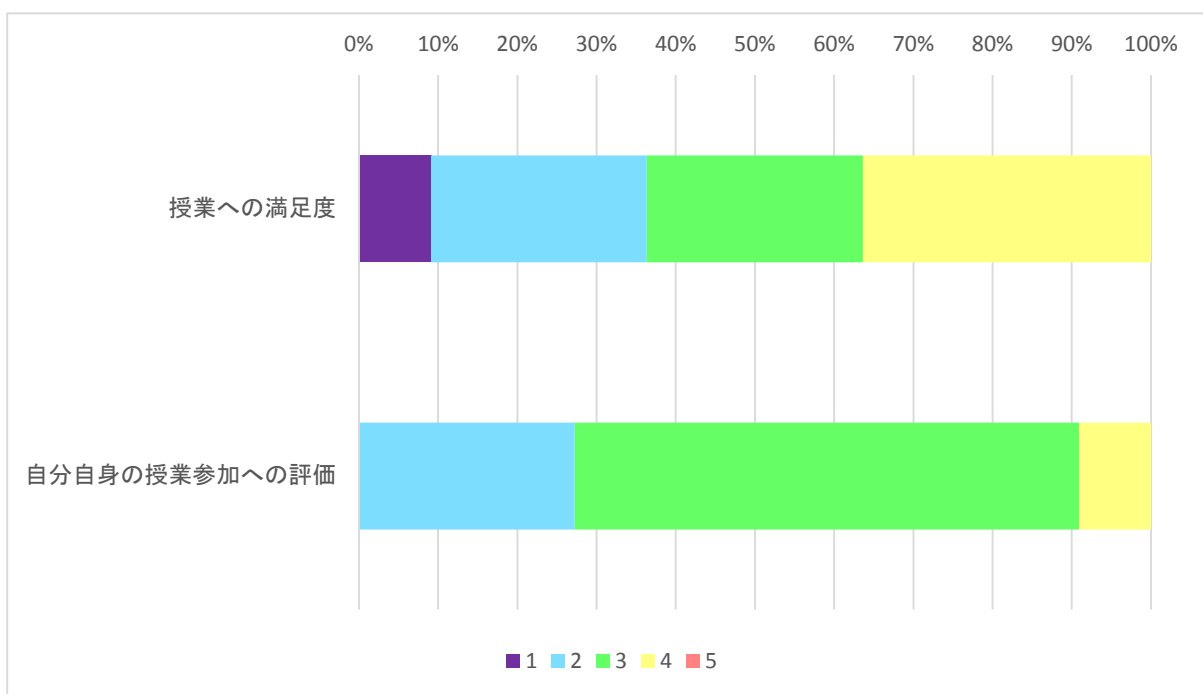


■ 担当者のコメント

半期という短い期間でプログラミングやエージェントベース・シミュレーションといった、普段馴染みのない内容を学習するのは、受講者にとって負担が大きかったのかもしれない。そのことが「自分自身の予習・前回の復習は十分だったか」、「授業に積極的に貢献したか」、「私語がなかったか」という項目における低評価につながったものと推察される。プログラミングは積み重ねの部分が多く予習復習が欠かせないため、これに関しては内発的動機づけを促進するために何らかの対策を講じるべきだったと反省している。また、教材への評価は比較的高かったが、教員の説明が分かりやすかったかという点においては低評価をつけた学生もおり、自身の未熟さを痛感している。もし今後機会があれば、より丁寧な解説をするように心がけた。

氏名	内山 勉		
科目名	聴覚障害児生理・病理		
実施日	2017/7/18	配当年次	3
履修者数	14	回答者数	11

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	3	3	4	0	11
自分自身の授業参加への評価	0	3	7	1	0	11

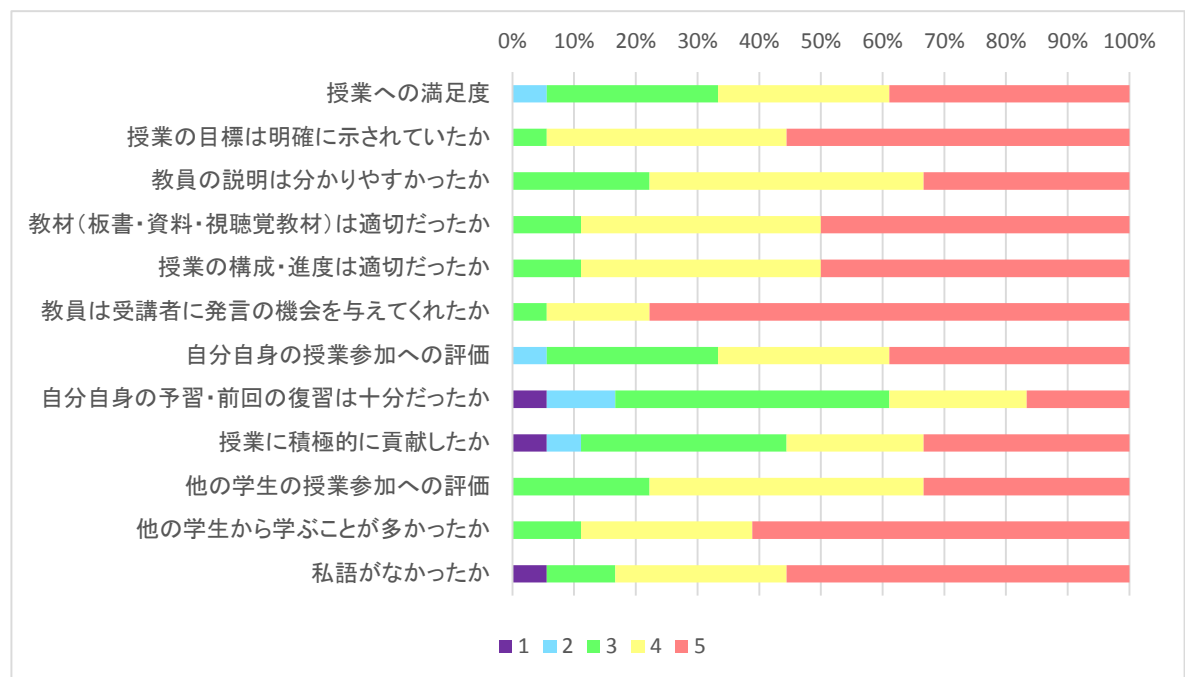


■ 担当者のコメント

福祉系の方には講義の内容が分かりにくいところも確かにあります。しかし、医学・心理学・工学など多方面にわたる講義内容は難聴児者に適切な援助を行うために不可欠な基本的知識です。今後は、教材を工夫して受講生に理解しやすい授業を心掛けたいと思います。

氏名	宇野 耕司		
科目名	家族ケースワーク・家族療法		
実施日	2018/1/9	配当年次	3
履修者数	35	回答者数	18

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	5	5	7	18
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	7	10	18
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	4	8	6	18
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	7	9	18
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	7	9	18
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	3	14	18
自分自身の授業参加への評価	0	1	5	5	7	18
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	2	8	4	3	18
授業に積極的に貢献したか	1	1	6	4	6	18
他の学生の授業参加への評価	0	0	4	8	6	18
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	2	5	11	18
私語がなかったか	1	0	2	5	10	18

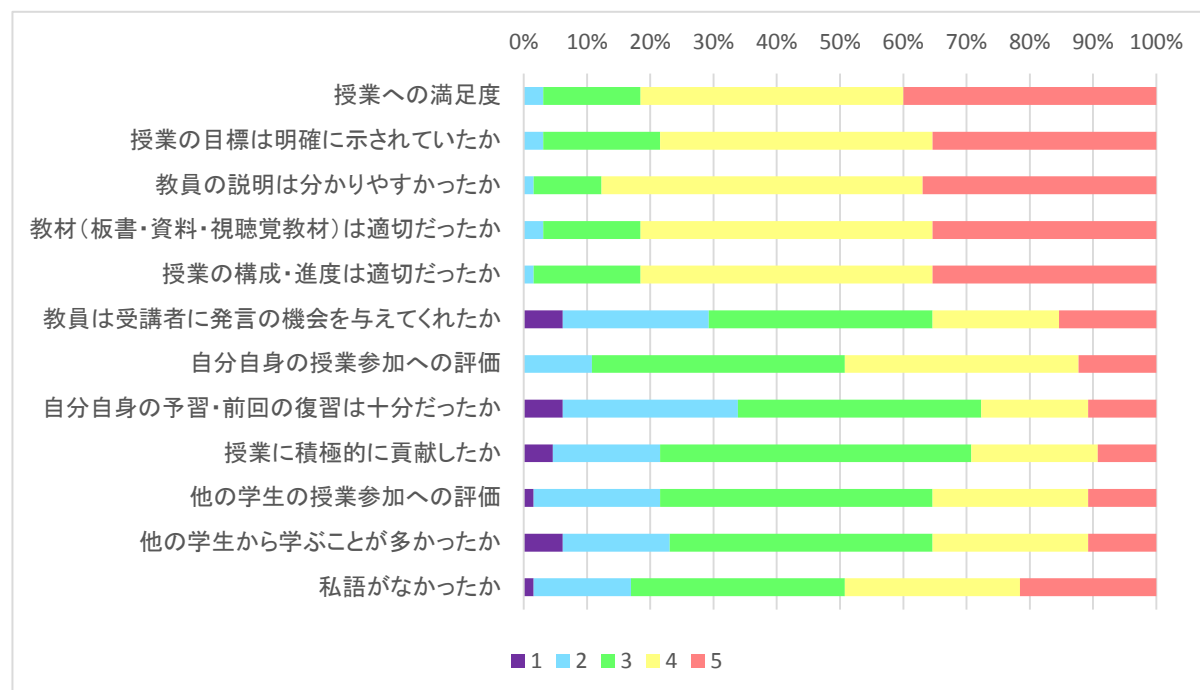


■担当者のコメント

授業への満足度、授業の目標、予習・復習、私語はほぼ同じレベルをキープした。教員の説明はやや下がった。教材、構成、発言の機会、授業参加、授業貢献、他の学生からの学びについては高くなった。昨年と今年の授業の違いはPBLを止め、講義と演習の組み合わせに戻したことである。学生がより主体的に授業に参加できるように、ディスカッションを取り上げた。ロールプレイや事例検討に時間をかけ、考えさせる授業を行った。これらの改善によって授業への積極的な貢献、他の学生の授業参加、他の学生から学ぶことなど、学ぶ機会を提供できた。これらの改善によって学生からの評価がこれまでで最も高かったと考える。改善点は科目全体の目標と各回の目標を毎回意識化し、事前学習を課し、事前学習内容を授業で取り上げ、教員の説明する力を高めることである。今年度で講師の役目を終える。最後に学生と学び合う教室を運営できたことを感謝したい。

氏名	大島 千帆		
科目名	福祉環境論		
実施日	2017/6/22	配当年次	2
履修者数	89	回答者数	65

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	10	27	26	65
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	12	28	23	65
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	7	33	24	65
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	10	30	23	65
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	11	30	23	65
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	4	15	23	13	10	65
自分自身の授業参加への評価	0	7	26	24	8	65
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	4	18	25	11	7	65
授業に積極的に貢献したか	3	11	32	13	6	65
他の学生の授業参加への評価	1	13	28	16	7	65
他の学生から学ぶことが多かったか	4	11	27	16	7	65
私語がなかったか	1	10	22	18	14	65

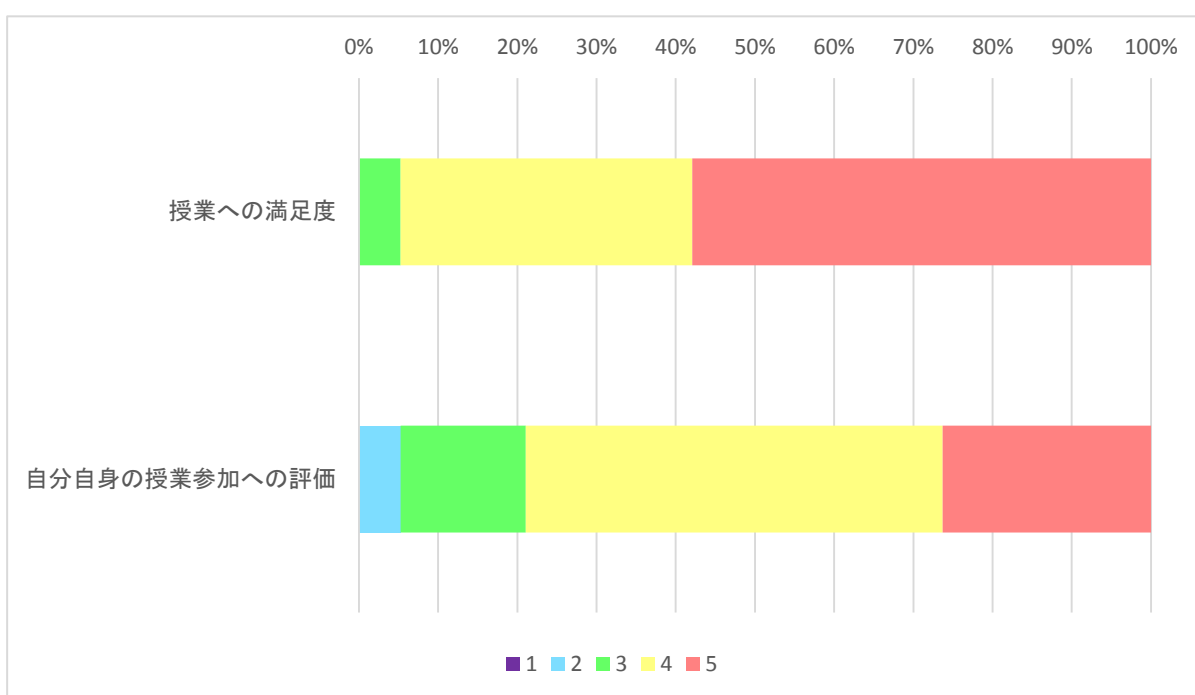


■ 担当者のコメント

大教室の講義であり、グループ討議などの機会を設けることができなかった。そのため、「教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか」「授業に積極的に貢献したか」といった項目についてそう思わないと回答した受講者の割合が高い結果になった。次年度以降、改善を試みたい。また、昨年度の反省点(講義に含まれる内容が多く、進度が早いと感じる受講者がいた)を受け、今年度は受講者からのコメントに関するフィードバックを毎回丁寧に行った。これにより、多少改善された手応えがあったため、次年度以降はさらに改善できるよう工夫したい。

氏名	大塚 順子		
科目名	家政学演習Ⅱ(介)		
実施日	2017/6/19	配当年次	2
履修者数	26	回答者数	19

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	7	11	19
自分自身の授業参加への評価	0	1	3	10	5	19

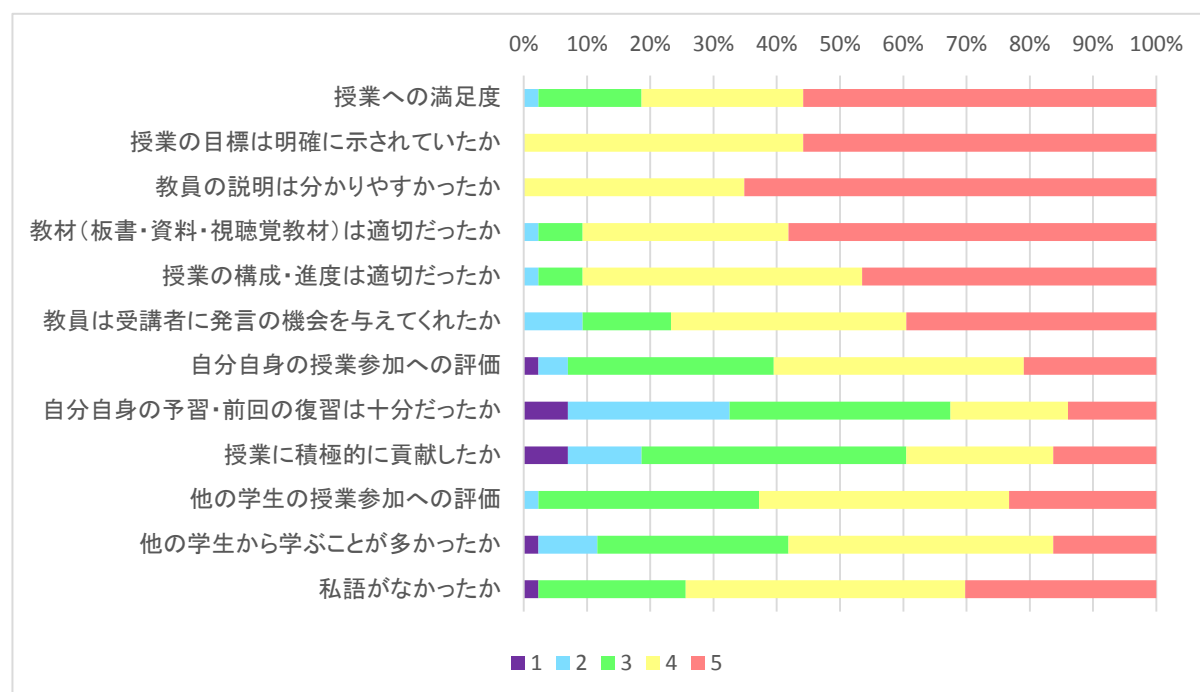


■ 担当者のコメント

月曜日の1時限目ということで、遅刻する学生もいたが、各自が意識的に気を付け、授業には積極的に取り組む姿勢が見られた。授業中の作業や学生同士の意見交換、構内を歩いて観察するなどのフィールドワークを計画的に取り入れるようにしたことで、学生自身が問題意識を持って課題に取り組み、他のグループの発表を聞いて比較する姿勢も見られた。授業中に学んだ知識をもとに、自分自身の生活に置き換えて考え、さらに興味関心を広げることが意識的にできていたと思われる。授業中の配布資料やパワーポイントでの解説はおおむね分かりやすく、学生が理解を深める一助となっていたようだが、情報が多くなりすぎた点が、今後の改善点としてあげられる。資料自体が多くなり、混乱する学生もいたようだった。また、限られた時間内で、説明する情報が後半は特に多くなり、進度が早くなってしまったことが反省点としてあげられる。

氏名	岡田 早苗		
科目名	保育者論		
実施日	2017/7/21	配当年次	2
履修者数	46	回答者数	43

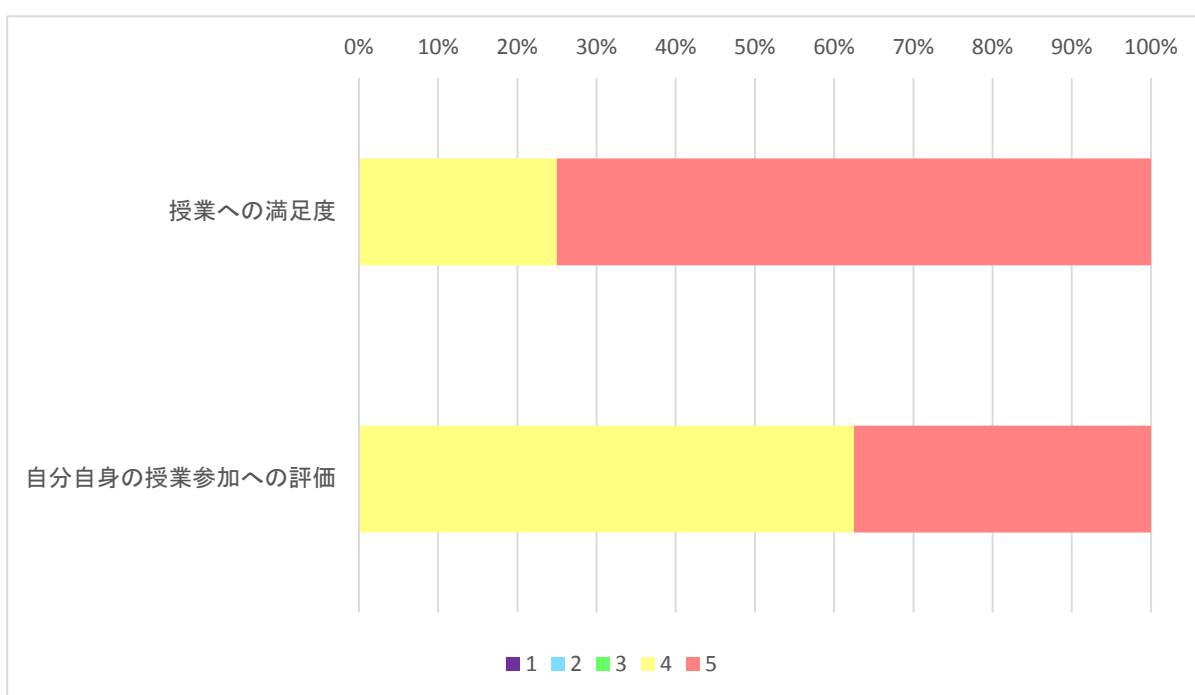
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	7	11	24	43
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	19	24	43
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	15	28	43
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	3	14	25	43
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	3	19	20	43
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	4	6	16	17	43
自分自身の授業参加への評価	1	2	14	17	9	43
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	11	15	8	6	43
授業に積極的に貢献したか	3	5	18	10	7	43
他の学生の授業参加への評価	0	1	15	17	10	43
他の学生から学ぶことが多かったか	1	4	13	18	7	43
私語がなかったか	1	0	10	19	13	43



■ 担当者のコメント

氏名	奥山 けい子		
科目名	人間の知性 X I		
実施日	2017/6/2	配当年次	1
履修者数	10	回答者数	8

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	2	6	8
自分自身の授業参加への評価	0	0	0	5	3	8

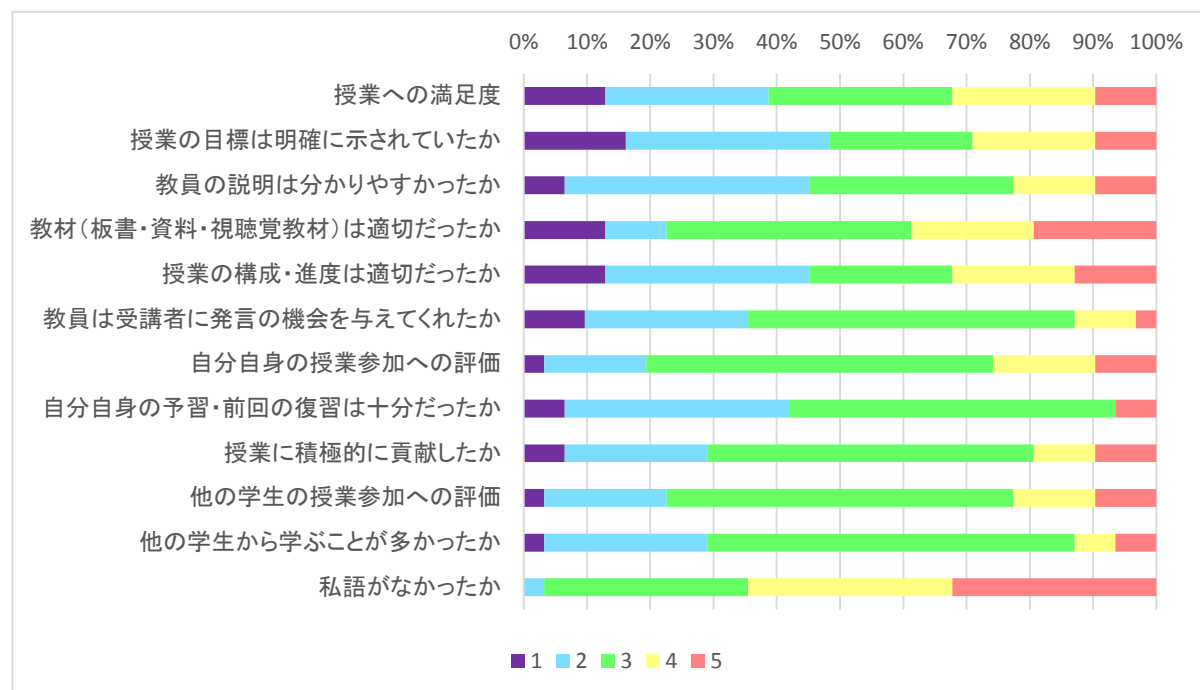


■ 担当者のコメント

毎回の授業最後に学生が出すコメントを読むと、自らの音楽体験と授業の内容を結び付ける学生が多く、音楽の世界の豊かさを感じさせてくれました。講義はまだ説明不足のところがあ、改善の余地があると思いますが、熱心に聞いて意見を寄せてくれた学生たちに感謝しています。

氏名	織田 正昭		
科目名	子どもの保健 I (保)		
実施日	2017/7/7	配当年次	3
履修者数	34	回答者数	31

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	4	8	9	7	3	31
授業の目標は明確に示されていたか	5	10	7	6	3	31
教員の説明は分かりやすかったか	2	12	10	4	3	31
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	4	3	12	6	6	31
授業の構成・進度は適切だったか	4	10	7	6	4	31
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	3	8	16	3	1	31
自分自身の授業参加への評価	1	5	17	5	3	31
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	11	16	0	2	31
授業に積極的に貢献したか	2	7	16	3	3	31
他の学生の授業参加への評価	1	6	17	4	3	31
他の学生から学ぶことが多かったか	1	8	18	2	2	31
私語がなかったか	0	1	10	10	10	31

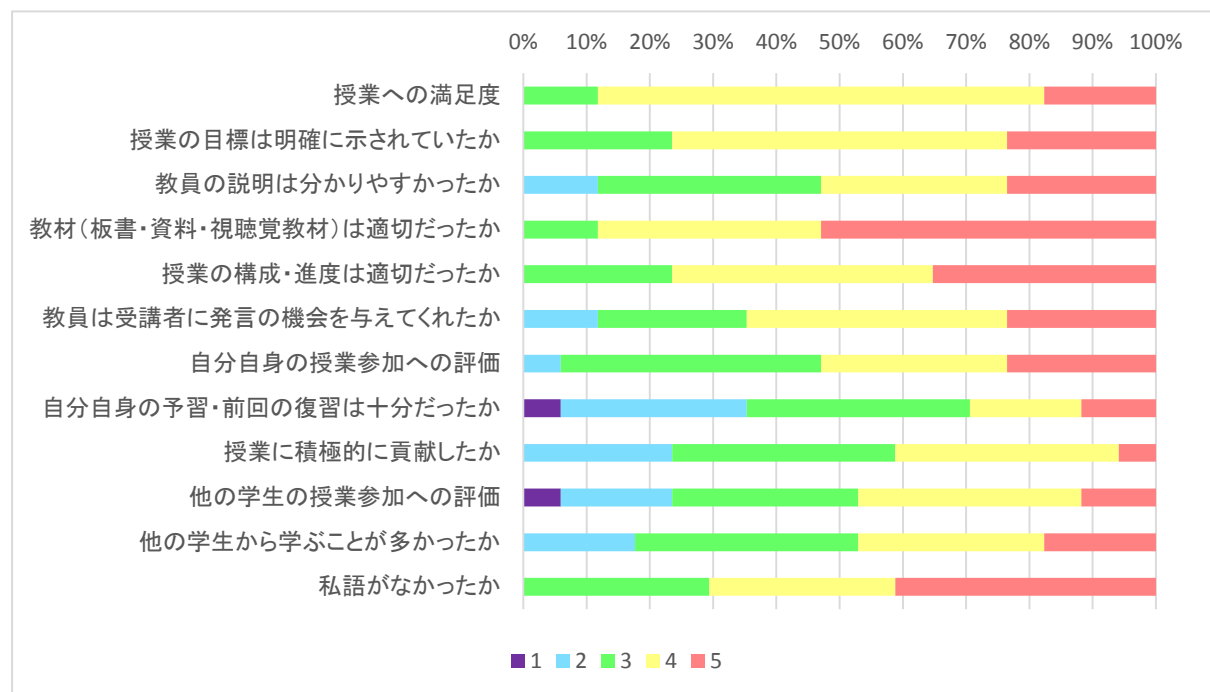


■ 担当者のコメント

アンケート内容は概ね理解できる範囲である。ただし講義中の飲食やスマホ操作が散見され、特に私語による講義の中断を余儀なくされ、講義進度や方法を変更せざるをえない場面が多々あった事は残念である。例年と比べ、緊張感にやや欠けていた感があるが、受講態度については積極性がある学生とない学生が乖離しており、個人差が大きい。次年度の講義に向けて、アクティブラーニングを含め教育方法のさらなる検討を行なっていきたい、

氏名	風間 みどり		
科目名	発達心理学Ⅱ(教)		
実施日	2017/7/19	配当年次	2
履修者数	25	回答者数	17

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	12	3	17
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	4	9	4	17
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	6	5	4	17
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	6	9	17
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	4	7	6	17
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	4	7	4	17
自分自身の授業参加への評価	0	1	7	5	4	17
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	5	6	3	2	17
授業に積極的に貢献したか	0	4	6	6	1	17
他の学生の授業参加への評価	1	3	5	6	2	17
他の学生から学ぶことが多かったか	0	3	6	5	3	17
私語がなかったか	0	0	5	5	7	17

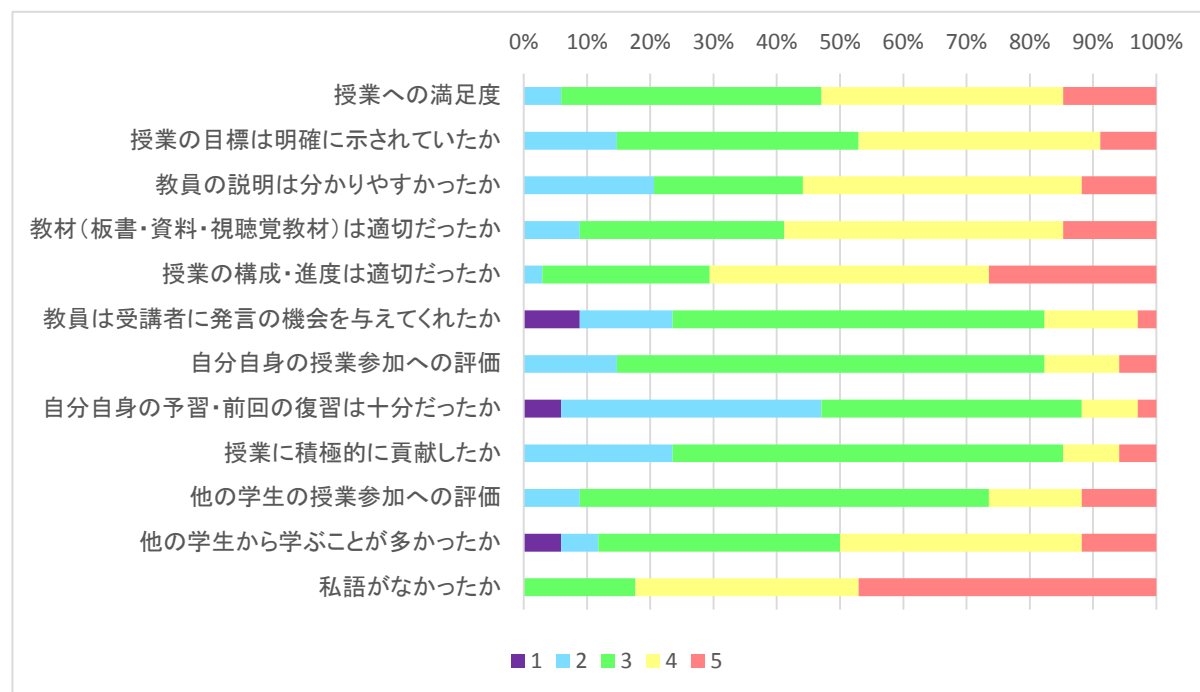


■ 担当者のコメント

大部分の学生は、授業をととても真摯に真面目に受講し、コメントペーパーや発言の機会、学期中3回のテストにも熱心に取り組んでいました。積極的な学生は質問にも来て授業内に理解できないところを補っていました。私自身、授業目標に従い、教材を吟味して授業を構成するよう心がけ、できるかぎり発達心理学の最新の研究も取り入れてきましたので、学生たちは授業内容にはとても興味を持って下さったように感じていました。その点が授業評価(満足度、目標、教材、授業の構成)は比較的高いものであると考えられます。一方、授業内容が基礎的なものから最新の研究まで扱ったため、学生間の理解力に差が見受けられました。3回のテストの前後に総復習、またテストの振り返りで授業内容の説明を繰り返しましたが、授業評価で見受けられるように(説明の分かりやすさ)、全ての学生に定着させることは十分であるとは言えなかったかもしれません。今後は、授業後に行う復習の方法についても、授業内で指導することによって、授業内容の定着を、日々、個々人で図れるように工夫していくことが必要であると考えます。

氏名	柏木 宏介		
科目名	子ども臨床教育心理学		
実施日	2017/12/20	配当年次	2
履修者数	42	回答者数	34

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	14	13	5	34
授業の目標は明確に示されていたか	0	5	13	13	3	34
教員の説明は分かりやすかったか	0	7	8	15	4	34
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	3	11	15	5	34
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	9	15	9	34
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	3	5	20	5	1	34
自分自身の授業参加への評価	0	5	23	4	2	34
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	14	14	3	1	34
授業に積極的に貢献したか	0	8	21	3	2	34
他の学生の授業参加への評価	0	3	22	5	4	34
他の学生から学ぶことが多かったか	2	2	13	13	4	34
私語がなかったか	0	0	6	12	16	34

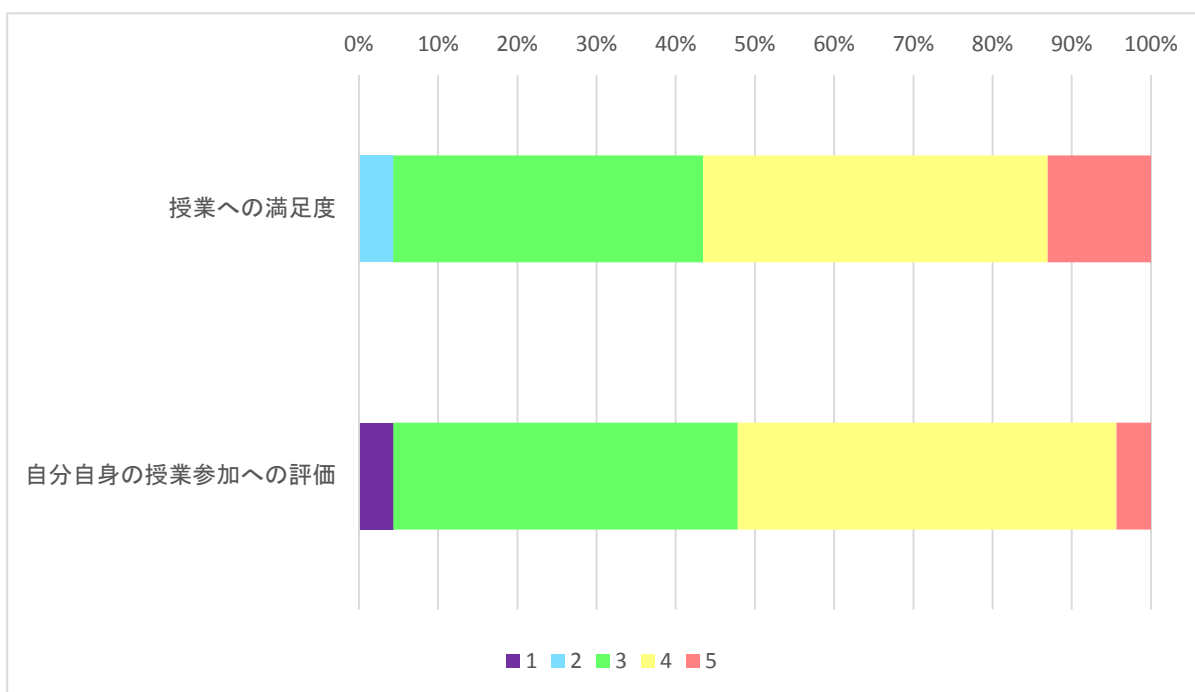


■ 担当者のコメント

本講義は、ほとんどの受講生が心理学を専門としない。そんな中、専門に関係なく、子供を取り巻く問題に関心を持って頂けたらと考え、子供に関する時事的な話題を交えて講義した。全講義で、様々な課題に取り組んで頂いた。課題に熱心に取り組む学生の存在は、励みであった。代筆に依存して課題を提出する学生は、このところ数える程に減少しており、非常に嬉しい。しかしながら、「ひらがな」ばかりでの記載や、誤字・脱字、乱筆・乱文の学生が散見された。課題や試験での解答に際しては、大学生であるとの自覚を持ち、筆記して欲しい。今後も、本講義が、学生諸君にとって、子供に関する正しい認識や心理学への興味を持つ契機となれば、と思う。

氏名	片岡 了		
科目名	社会教育施設論		
実施日	2017/7/1	配当年次	2
履修者数	37	回答者数	23

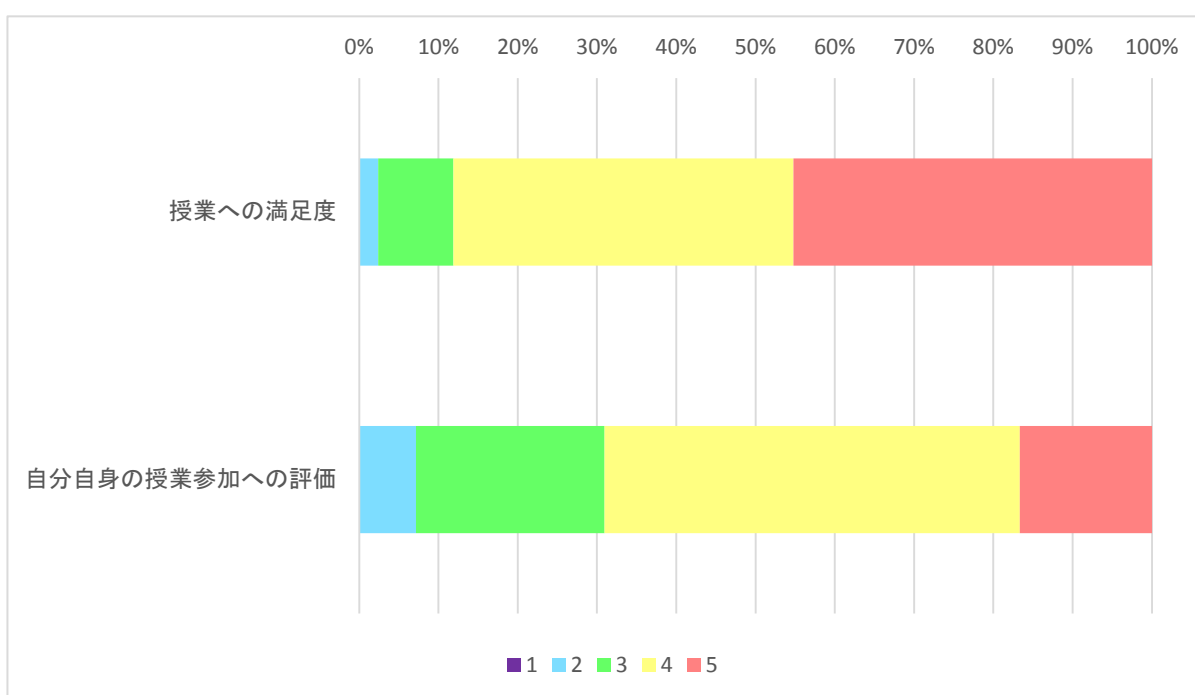
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	9	10	3	23
自分自身の授業参加への評価	1	0	10	11	1	23



■ 担当者のコメント

氏名	嘉手納 悟		
科目名	問題を抱Ⅲ非行不登校		
実施日	2017/7/7	配当年次	3
履修者数	53	回答者数	42

	no	← 評価 →			yes	合計
	1	2	3	4	5	
授業への満足度	0	1	4	18	19	42
自分自身の授業参加への評価	0	3	10	22	7	42

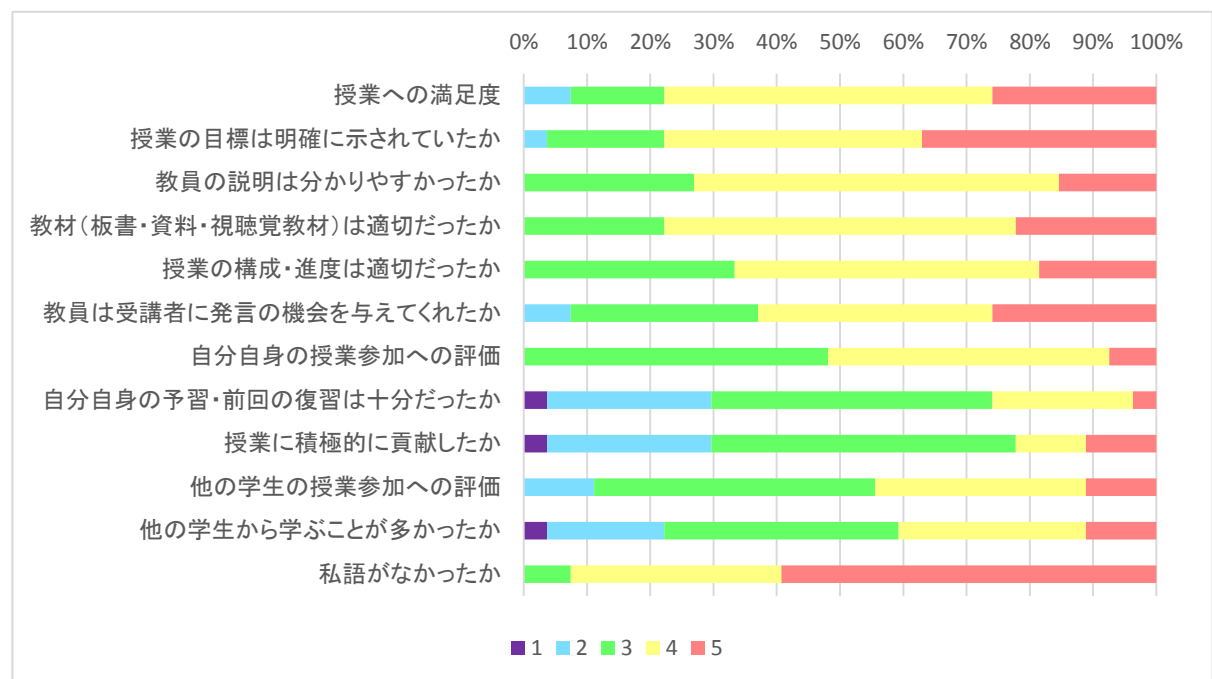


■ 担当者のコメント

授業後半に行ったディスカッションは、思った以上にしっかりと取り組んでくれたと感じています。昨年度からの取り組みで、私自身、まだ試行錯誤の途中というのが正直なところで、時間配分や、テーマの設定、進め方などについては、今年度寄せていただいた意見を取り入れながら、より討議しやすい進め方を考えていきたいと思っています。また、小テストについて、時間が足りなかったという意見が多くみられたので、この点についても、次年度対応していきたいと思っています。本授業の内容が、ほんの少しでも良いので、皆さんが現場に出られた際に生きてくれたらうれしく思います。

氏名	金井 一薫・伊藤 きよみ・山本 かほる		
科目名	地域看護		
実施日	2018/1/12	配当年次	3
履修者数	37	回答者数	27

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	4	14	7	27
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	5	11	10	27
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	7	15	4	26
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	6	15	6	27
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	9	13	5	27
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	8	10	7	27
自分自身の授業参加への評価	0	0	13	12	2	27
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	7	12	6	1	27
授業に積極的に貢献したか	1	7	13	3	3	27
他の学生の授業参加への評価	0	3	12	9	3	27
他の学生から学ぶことが多かったか	1	5	10	8	3	27
私語がなかったか	0	0	2	9	16	27

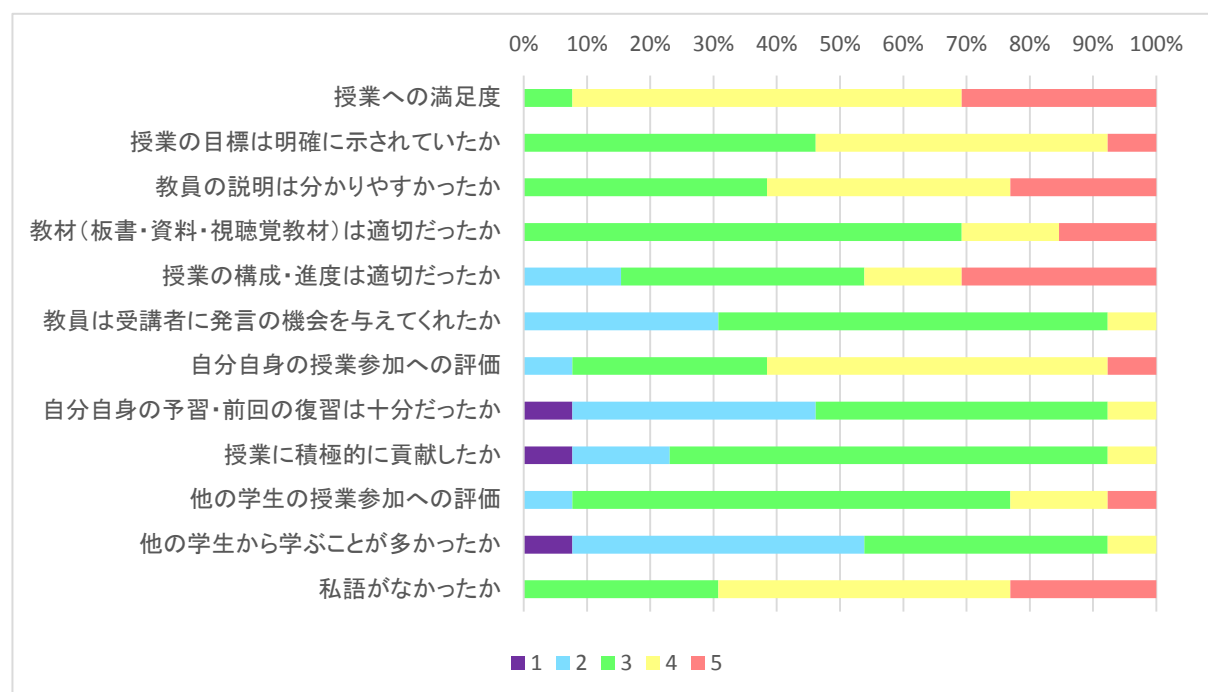


■担当者のコメント

福祉系の科目が多い中、看護系の科目は希少価値があるようです。多くの学生が、「地域看護」の真の姿に触れ、自分たちが目指す「地域福祉」の姿と重ね合わせ、これからの両者の協働と連携のあり方を考えるきっかけとなったようでした。「看護の思想」「訪問看護の実際」「公衆衛生看護の実際」というテーマの組み合わせは良かったのではないかと思います。積極的に参加する学生の姿勢に好感を持ちましたが、一方で、レポート提出をしない学生なども目立ち、選択科目の限界も感じました。授業中の私語はほとんどなく、気持ちよく授業ができました。

氏名	金岡 秀郎		
科目名	人間の知性X		
実施日	2017/6/8	配当年次	1
履修者数	20	回答者数	13

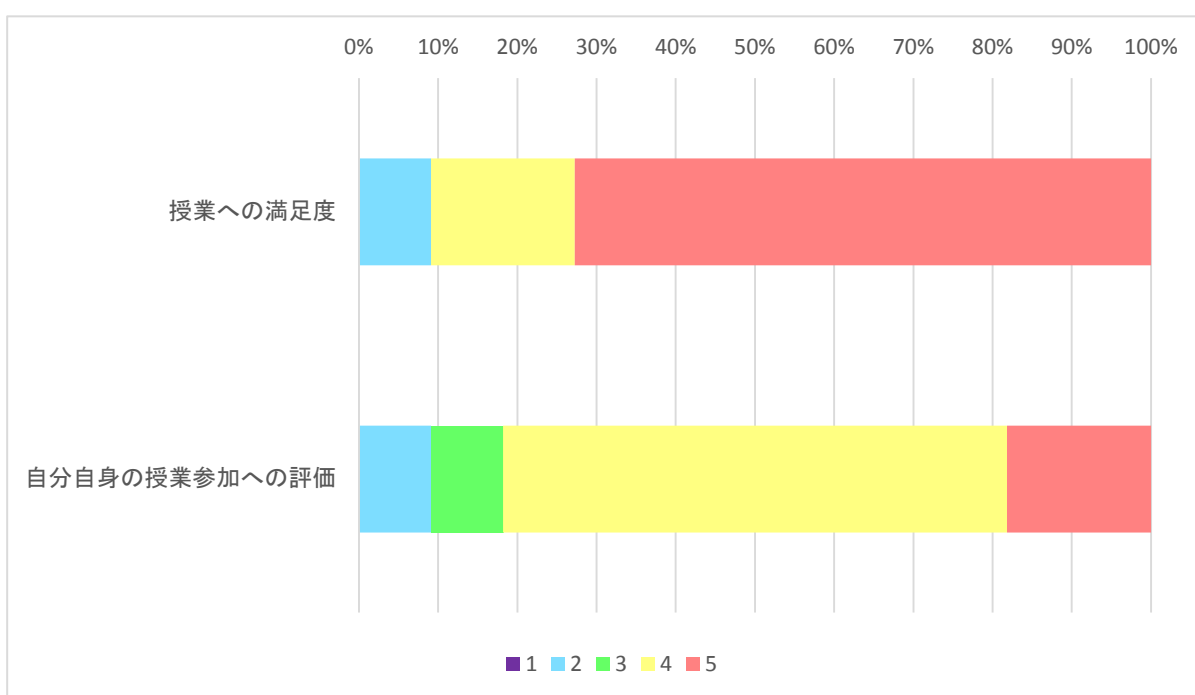
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	8	4	13
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	6	6	1	13
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	5	5	3	13
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	9	2	2	13
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	5	2	4	13
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	4	8	1	0	13
自分自身の授業参加への評価	0	1	4	7	1	13
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	5	6	1	0	13
授業に積極的に貢献したか	1	2	9	1	0	13
他の学生の授業参加への評価	0	1	9	2	1	13
他の学生から学ぶことが多かったか	1	6	5	1	0	13
私語がなかったか	0	0	4	6	3	13



■ 担当者のコメント

氏名	榎 陽子		
科目名	聴覚障害児指導法 I		
実施日	2018/1/20	配当年次	3
履修者数	12	回答者数	11

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	0	2	8	11
自分自身の授業参加への評価	0	1	1	7	2	11

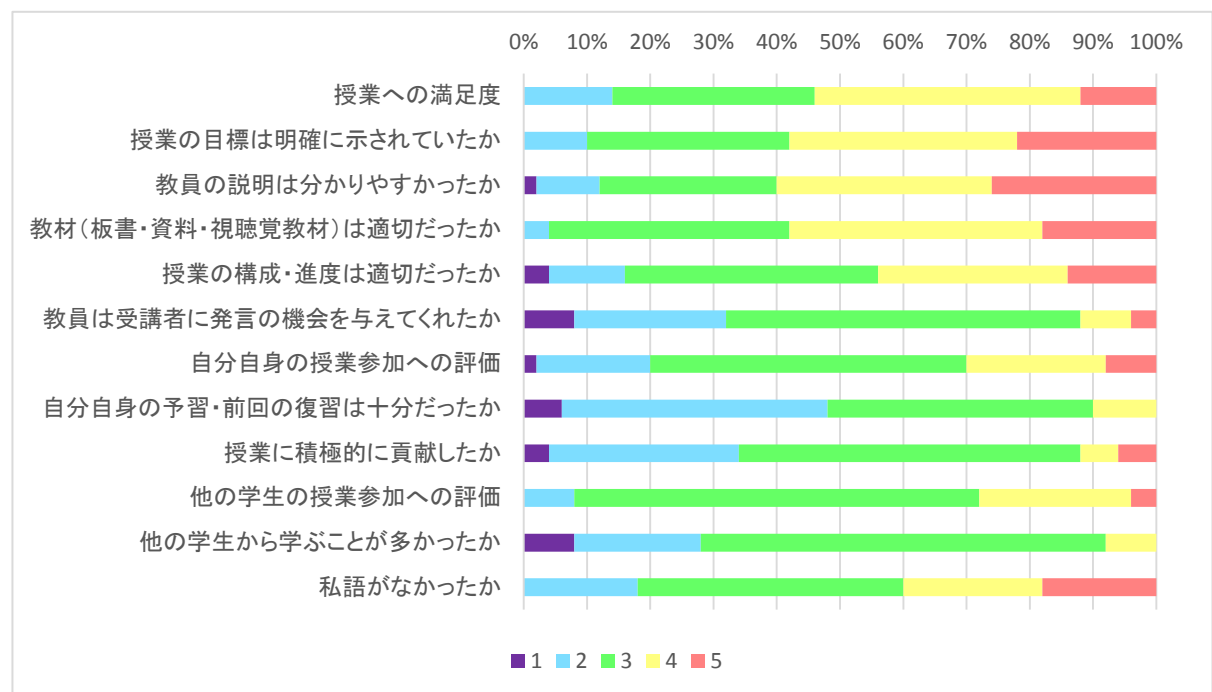


■ 担当者のコメント

今年度も話し合いや表現活動、ディベート、学校見学など学生たちが主体となった講義を心がけたが、意欲的に取り組む学生もいれば、苦手意識が強くなかなか意見を言えない学生もいたことが印象に残った。来年度は学生たちが本当は何を学びたがっているのか、把握したうえで講義を進めていきたいと思う。

氏名	北村 世都		
科目名	老人・障害者の心理 I		
実施日	2017/7/4	配当年次	2
履修者数	66	回答者数	50

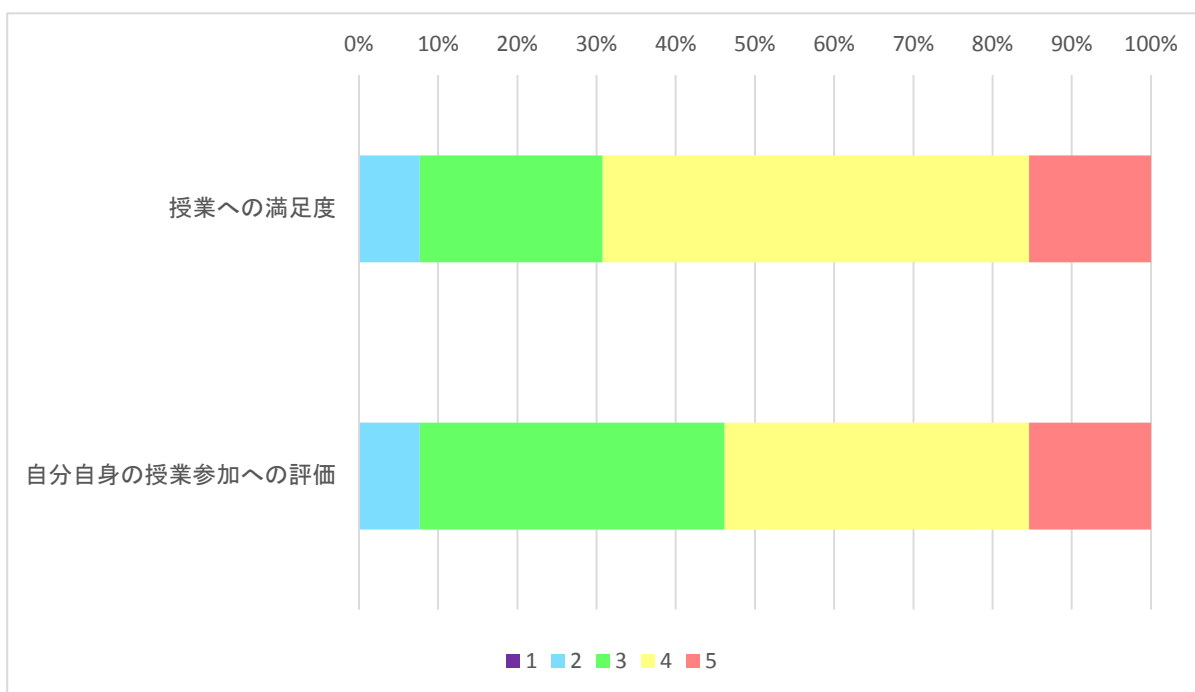
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	7	16	21	6	50
授業の目標は明確に示されていたか	0	5	16	18	11	50
教員の説明は分かりやすかったか	1	5	14	17	13	50
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	19	20	9	50
授業の構成・進度は適切だったか	2	6	20	15	7	50
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	4	12	28	4	2	50
自分自身の授業参加への評価	1	9	25	11	4	50
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	21	21	5	0	50
授業に積極的に貢献したか	2	15	27	3	3	50
他の学生の授業参加への評価	0	4	32	12	2	50
他の学生から学ぶことが多かったか	4	10	32	4	0	50
私語がなかったか	0	9	21	11	9	50



■ 担当者のコメント

氏名	木下 知威		
科目名	科学的思考ⅩⅢ(手話)		
実施日	2017/12/21	配当年次	1
履修者数	21	回答者数	13

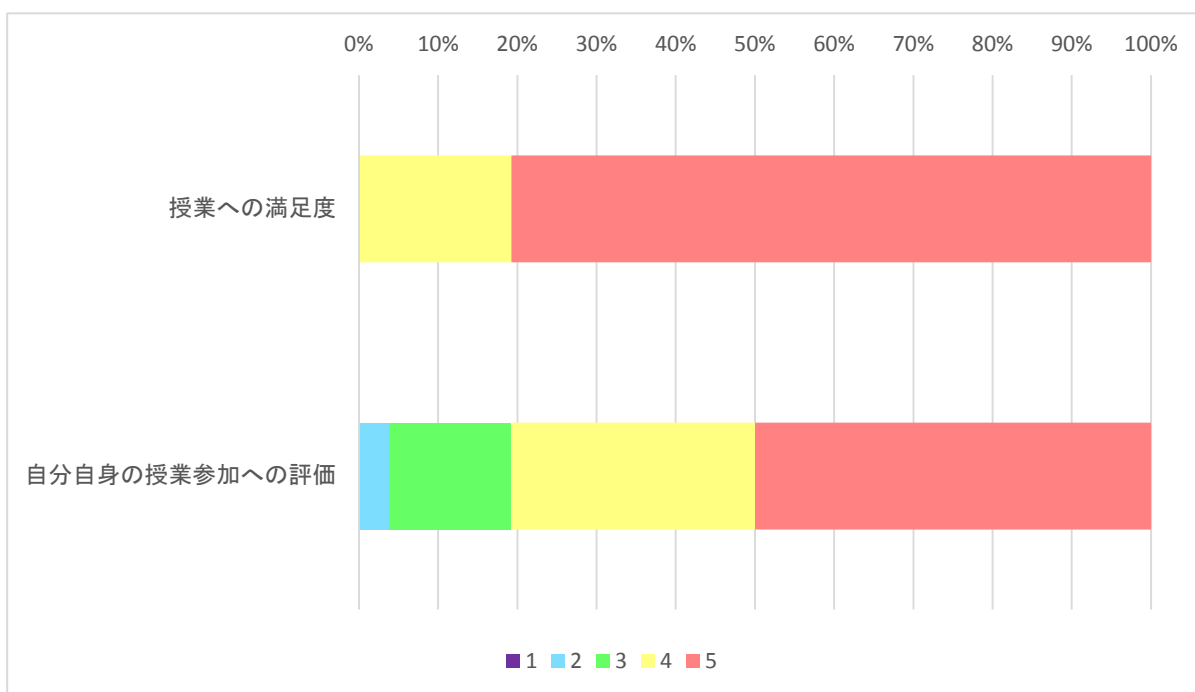
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	3	7	2	13
自分自身の授業参加への評価	0	1	5	5	2	13



■ 担当者のコメント

氏名	桐谷 裕美子		
科目名	家政学概論 I (介)		
実施日	2017/7/6	配当年次	2
履修者数	26	回答者数	26

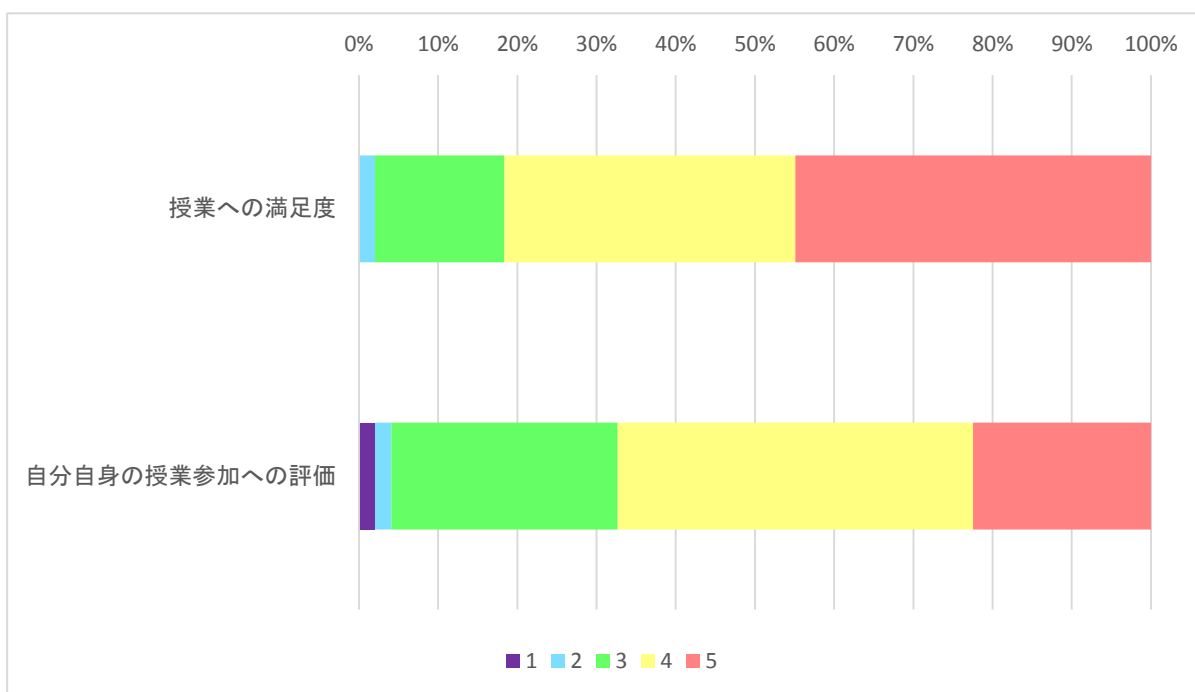
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	5	21	26
自分自身の授業参加への評価	0	1	4	8	13	26



■ 担当者のコメント

氏名	倉田 新		
科目名	問題を抱 II (障害児) A		
実施日	2017/7/10	配当年次	2
履修者数	49	回答者数	49

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	8	18	22	49
自分自身の授業参加への評価	1	1	14	22	11	49

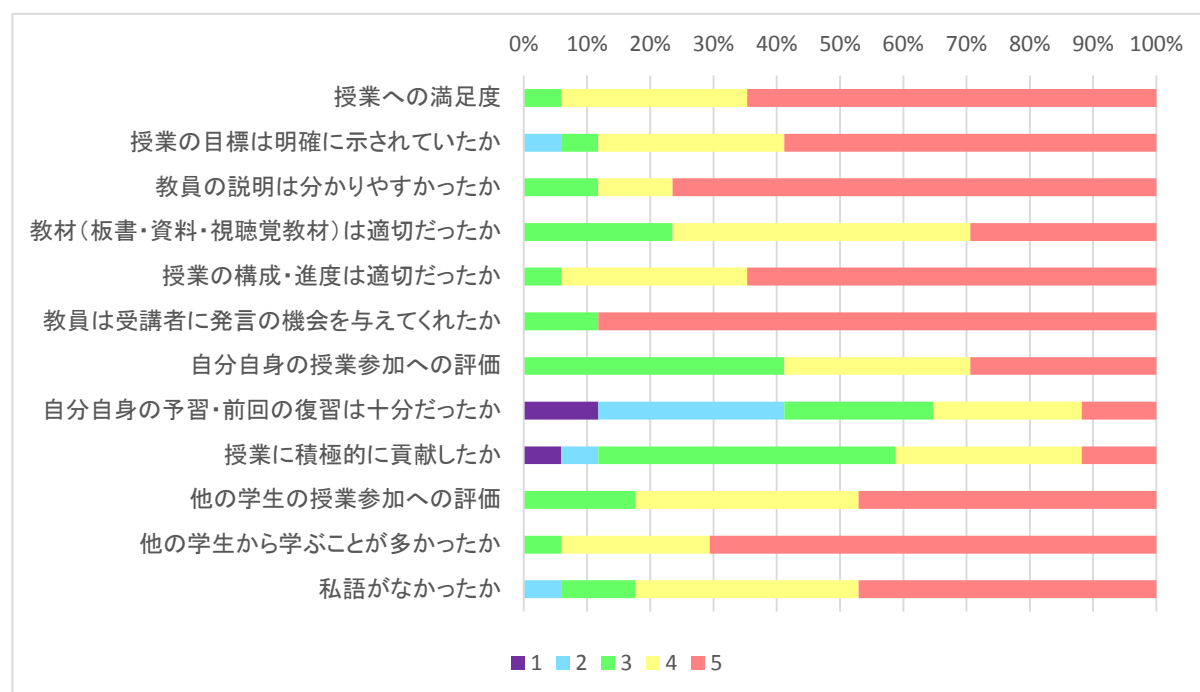


■ 担当者のコメント

49人中40人から高評価を頂いている。今回ノート提出ではなくレポート課題とした。多くはまじめに授業に来ていた。中には学び方を工夫しなくてはならない学生も存在しているように感じる。目に見える障害でなく学び方に問題のある学生には特別な配慮が必要になると思う。4限目の学生より5限目の学生の方が少ないので熱心に授業を受けている。学生に発言する機会を多く設けたが、おとなしくコミュニケーションが苦手な学生が多いのか、考えないで分かりません！と意見を述べない学生が多いのが気になった。また教室が広いからなのか後ろから座る学生が多く、前の方に座る学生は目を輝かせていたが、後ろの学生は頻りに教室から出て行き帰ってこない学生も少なくない。以前の社大の学生とはずいぶん雰囲気が変わったように感じる。まことに残念である。

氏名	行田 稔彦		
科目名	教職概論		
実施日	2017/5/24	配当年次	2
履修者数	22	回答者数	17

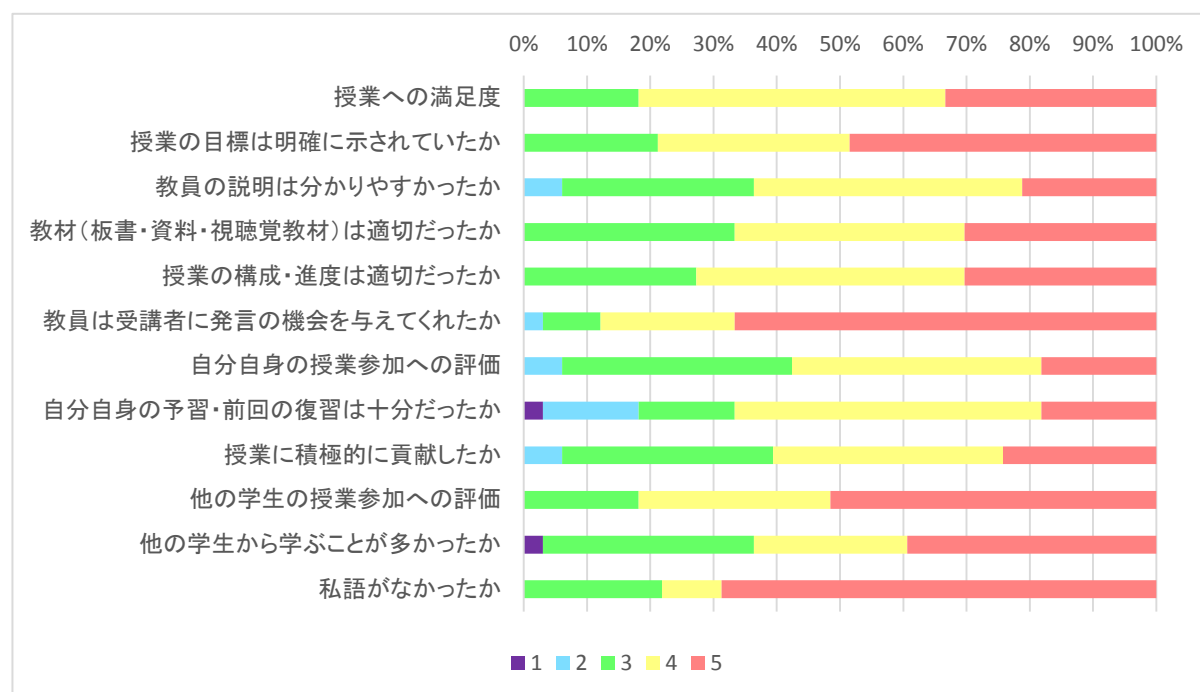
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	5	11	17
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	1	5	10	17
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	2	13	17
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	8	5	17
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	5	11	17
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	0	15	17
自分自身の授業参加への評価	0	0	7	5	5	17
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	5	4	4	2	17
授業に積極的に貢献したか	1	1	8	5	2	17
他の学生の授業参加への評価	0	0	3	6	8	17
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	4	12	17
私語がなかったか	0	1	2	6	8	17



■ 担当者のコメント

氏名	コール・D		
科目名	英語A2		
実施日	2017/7/11	配当年次	1
履修者数	44	回答者数	33

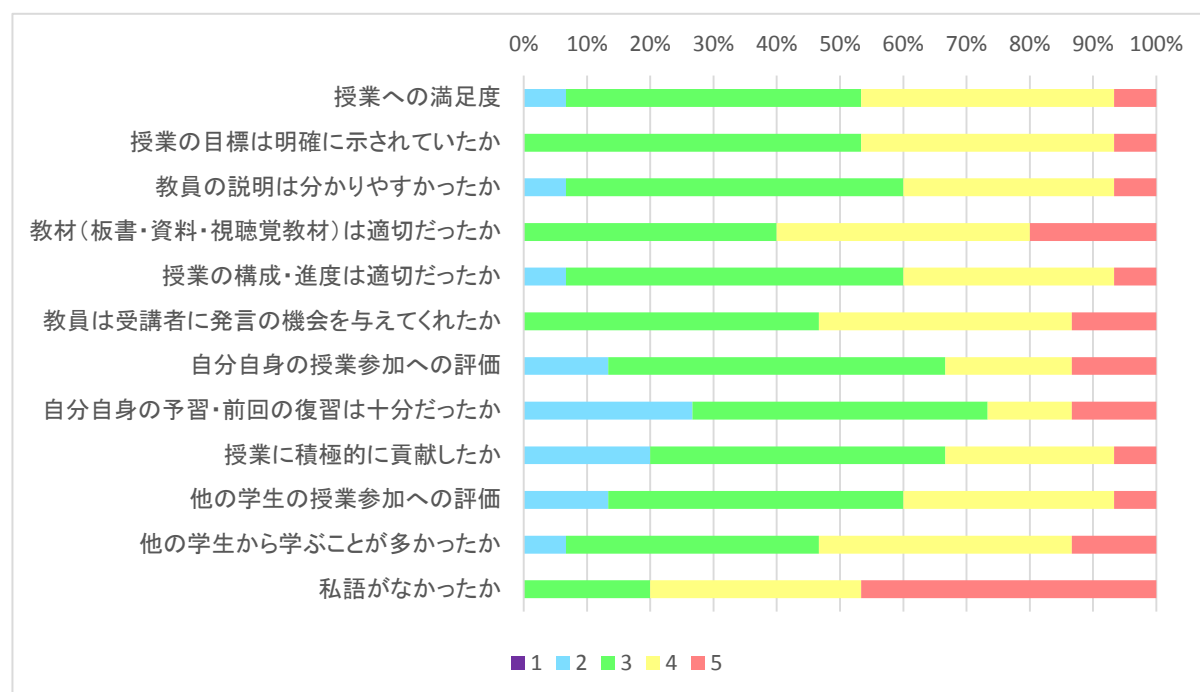
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	6	16	11	33
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	7	10	16	33
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	10	14	7	33
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	11	12	10	33
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	9	14	10	33
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	3	7	22	33
自分自身の授業参加への評価	0	2	12	13	6	33
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	5	5	16	6	33
授業に積極的に貢献したか	0	2	11	12	8	33
他の学生の授業参加への評価	0	0	6	10	17	33
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	11	8	13	33
私語がなかったか	0	0	7	3	22	32



■ 担当者のコメント

氏名	興梶 寛		
科目名	ボランティアと社会教育		
実施日	2017/7/11	配当年次	3
履修者数	31	回答者数	15

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	7	6	1	15
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	8	6	1	15
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	8	5	1	15
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	6	6	3	15
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	8	5	1	15
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	7	6	2	15
自分自身の授業参加への評価	0	2	8	3	2	15
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	4	7	2	2	15
授業に積極的に貢献したか	0	3	7	4	1	15
他の学生の授業参加への評価	0	2	7	5	1	15
他の学生から学ぶことが多かったか	0	1	6	6	2	15
私語がなかったか	0	0	3	5	7	15

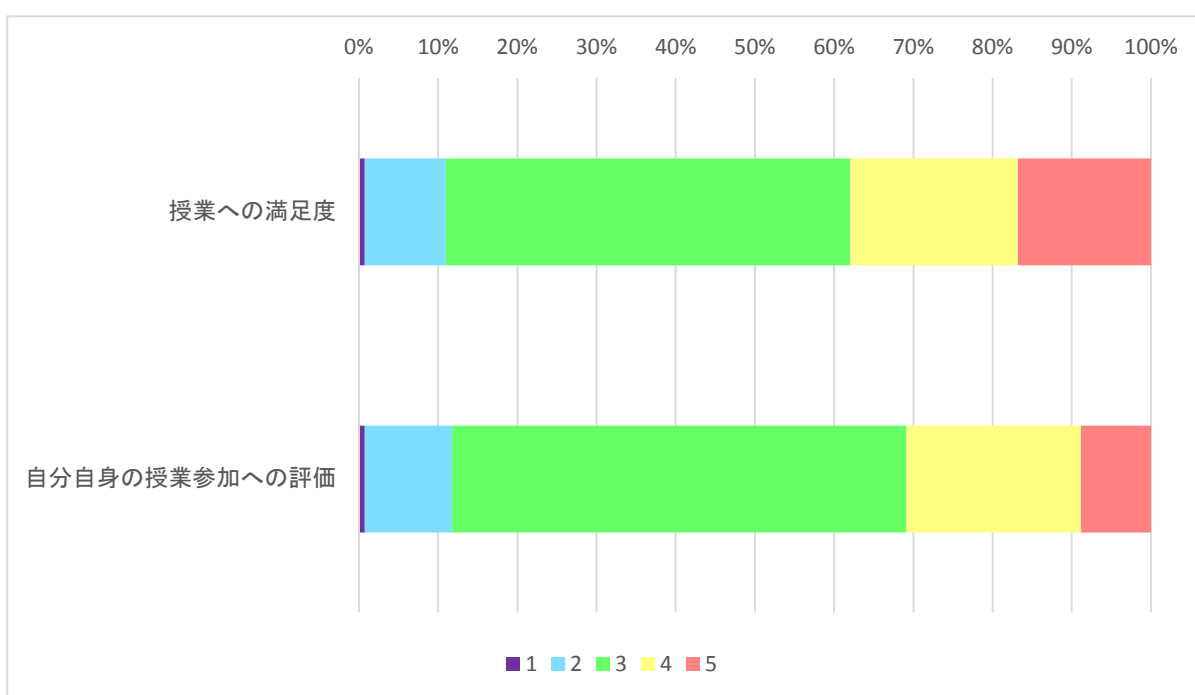


■担当者のコメント

授業の内容については、講義、事例研究、意見交換、自宅学習との構成に課題があるように思えた。今後の講義構成を考える際には、とくに留意していきたいと考える。また、宿題レポートを多く課すなど、教科書を中心に事前・事後学習をすすめるような工夫を行いたい。火曜日の1限という早朝の授業にもかかわらず、多くの学生は熱心に授業に取り組んでくれた。その一方で、理由は定かではないが、一部の学生の出席率が低かったり、また学習することに意欲が持てないなどの現象が見られたのは残念だった。パワーポイントやDVDなどの視聴覚教材を多く使用する講義なので、資器材のメンテナンスなどを怠らないようにお願いしたい。

氏名	小暮 美樹		
科目名	科学的思考IX		
実施日	2017/6/9	配当年次	1
履修者数	172	回答者数	137

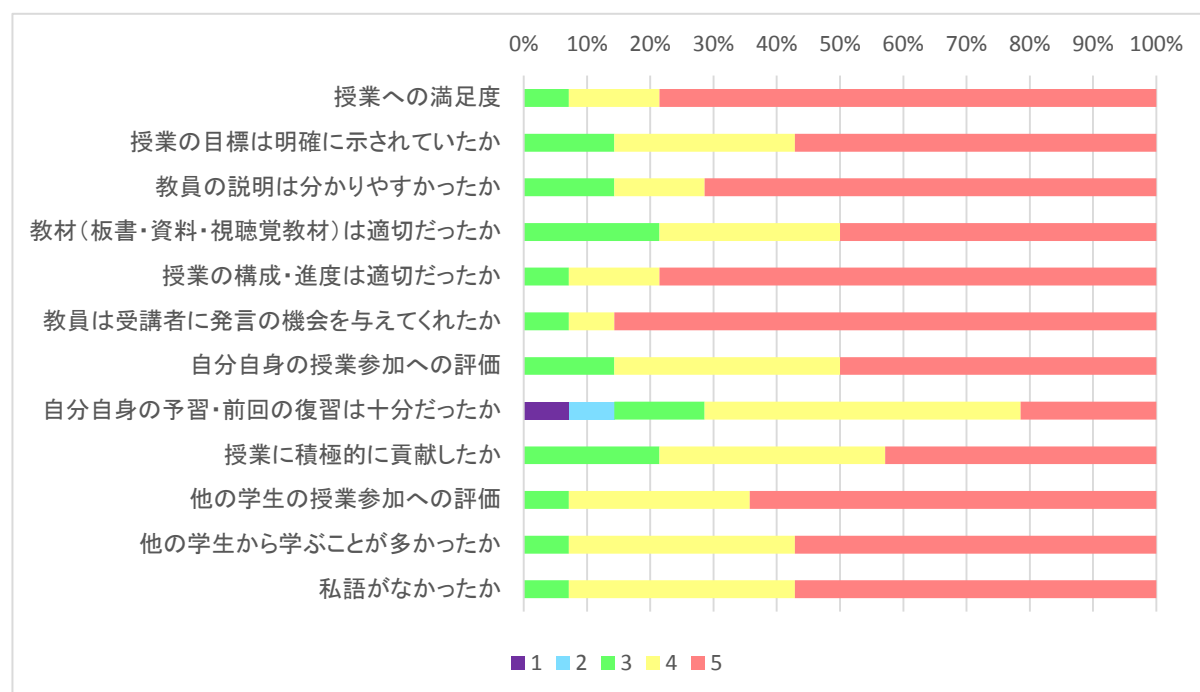
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	14	70	29	23	137
自分自身の授業参加への評価	1	15	78	30	12	136



■ 担当者のコメント

氏名	小林 信恵		
科目名	初級日本手話C		
実施日	2017/6/9	配当年次	2
履修者数	16	回答者数	14

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	2	11	14
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	2	4	8	14
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	2	10	14
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	4	7	14
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	2	11	14
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	1	12	14
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	5	7	14
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	1	2	7	3	14
授業に積極的に貢献したか	0	0	3	5	6	14
他の学生の授業参加への評価	0	0	1	4	9	14
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	5	8	14
私語がなかったか	0	0	1	5	8	14

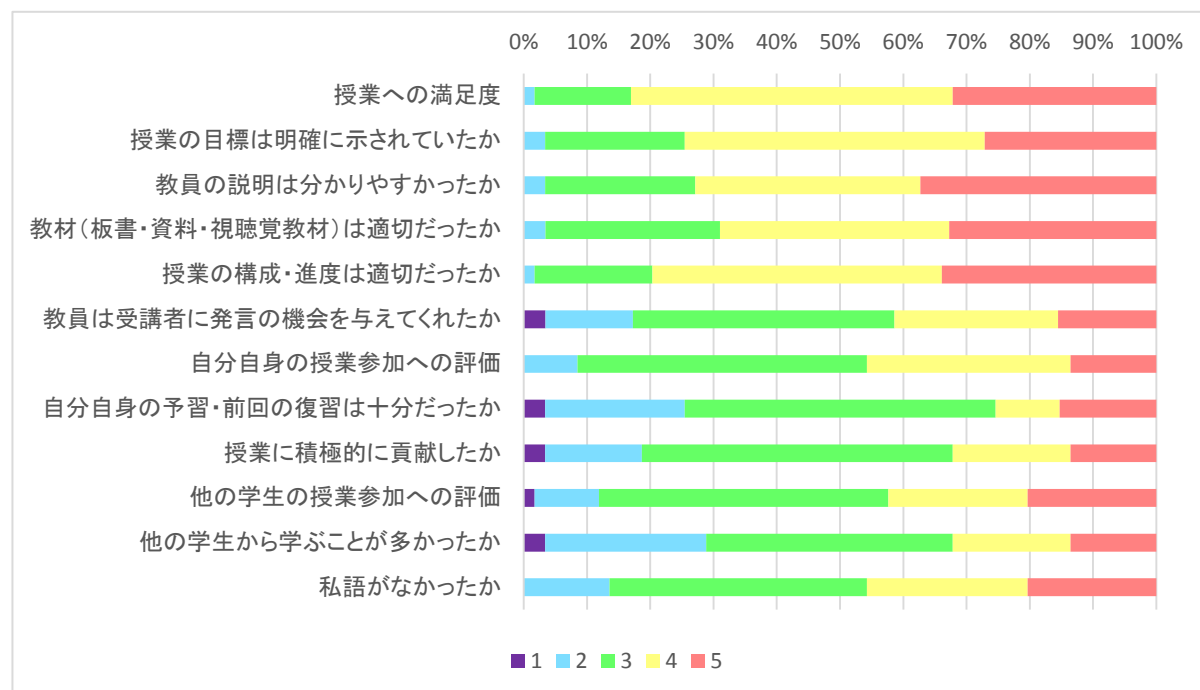


■ 担当者のコメント

予習、前回の復習に関しては副教材を作っていくなど工夫をしていきたい。

氏名	小林 秀行		
科目名	社会の認識Ⅷ		
実施日	2017/12/19	配当年次	1
履修者数	68	回答者数	59

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	9	30	19	59
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	13	28	16	59
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	14	21	22	59
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	16	21	19	58
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	11	27	20	59
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	8	24	15	9	58
自分自身の授業参加への評価	0	5	27	19	8	59
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	13	29	6	9	59
授業に積極的に貢献したか	2	9	29	11	8	59
他の学生の授業参加への評価	1	6	27	13	12	59
他の学生から学ぶことが多かったか	2	15	23	11	8	59
私語がなかったか	0	8	24	15	12	59

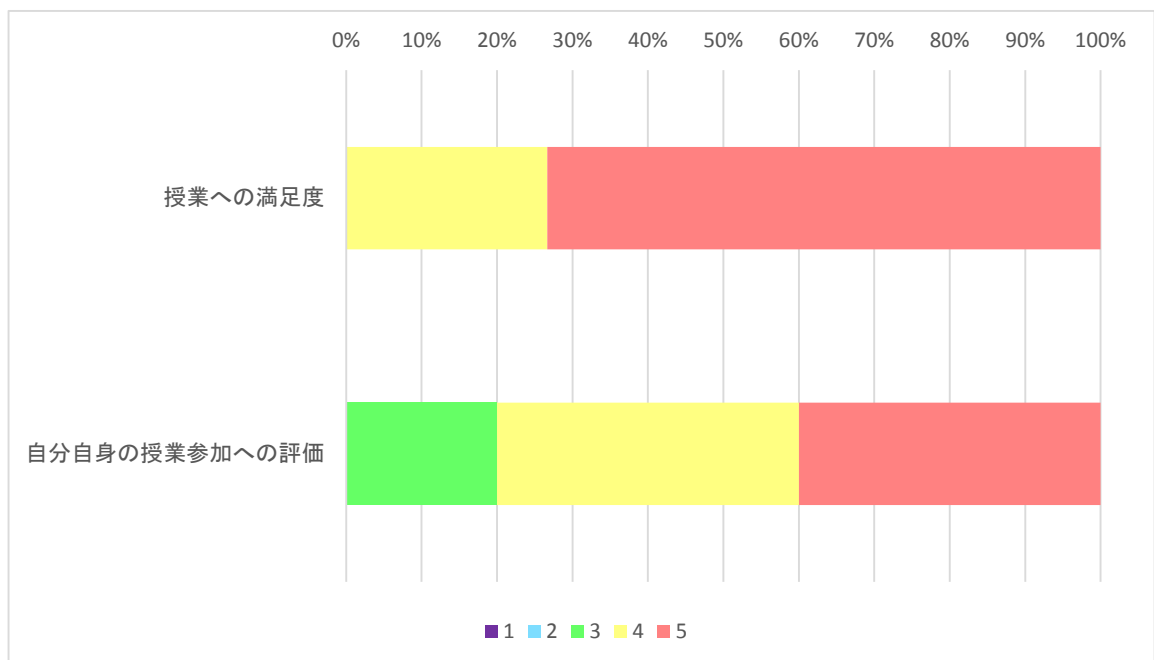


■ 担当者のコメント

授業は大人数の講義形式で行っており、講義時間中に受講生の発言の時間を取ることは難しい状況であった。しかしながら、自由記述式のフィードバックペーパーには、鋭い着眼点をもつ意見や、社会福祉の学習と絡めた視点が数多く記述されていた。こうした意見は学習の発展にも大いに役立つものである。受講生からのこうした発信を授業の展開に活かす方策を検討したい。

氏名	近藤 幹生		
科目名	保育内容総論(保)		
実施日	2017/6/16	配当年次	2
履修者数	36	回答者数	30

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	8	22	30
自分自身の授業参加への評価	0	0	6	12	12	30

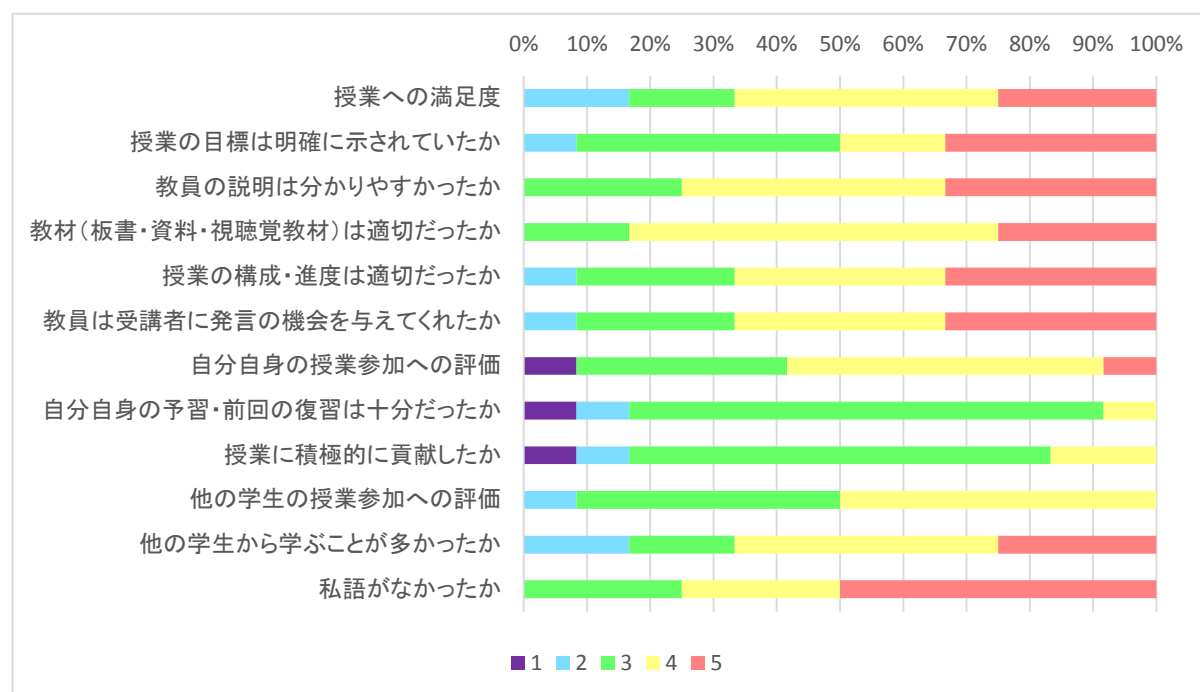


■ 担当者のコメント

保育をめざす学生として、意欲的に受講されています。予習、復習を促しましたが、どうであったでしょうか。自発的な学びがすすむように、工夫をはかりたいと思います。

氏名	佐伯 敦也		
科目名	聴覚障害教育課程論		
実施日	2017/6/1	配当年次	3
履修者数	13	回答者数	12

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	2	5	3	12
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	5	2	4	12
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	3	5	4	12
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	7	3	12
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	3	4	4	12
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	3	4	4	12
自分自身の授業参加への評価	1	0	4	6	1	12
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	1	9	1	0	12
授業に積極的に貢献したか	1	1	8	2	0	12
他の学生の授業参加への評価	0	1	5	6	0	12
他の学生から学ぶことが多かったか	0	2	2	5	3	12
私語がなかったか	0	0	3	3	6	12

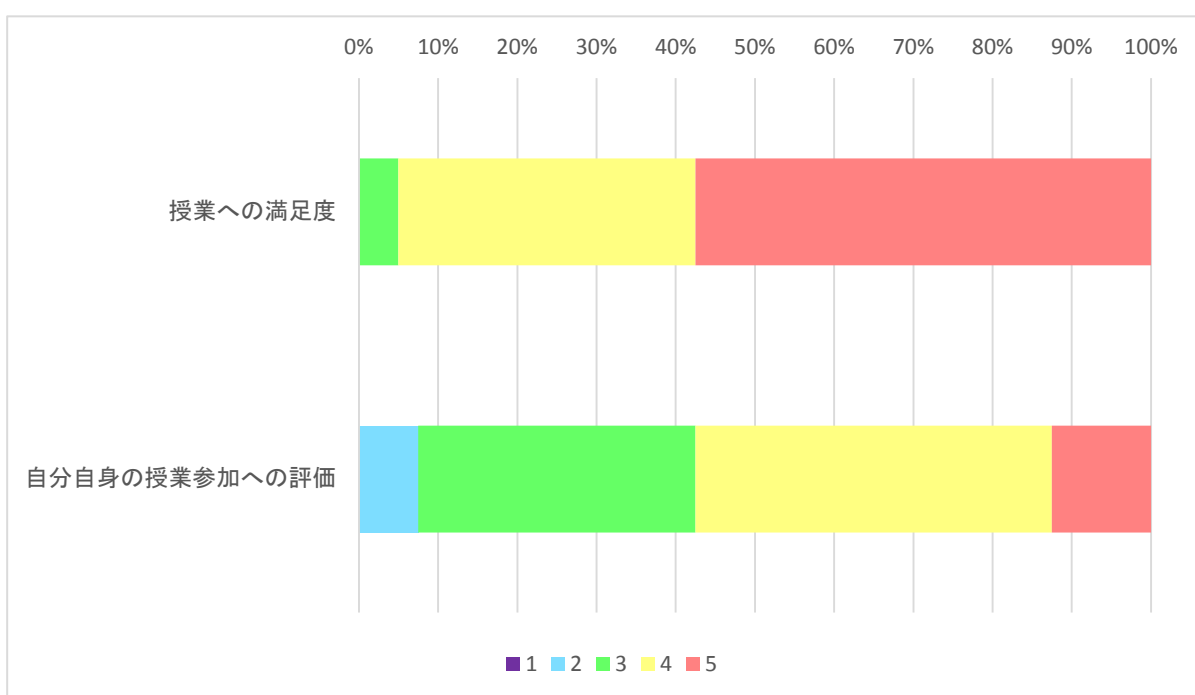


■ 担当者のコメント

授業中の学生からの応答に比して、満足度、分かりやすさが意外に高い印象です。専門として選択した学生のみでの参加でしたが、意欲・関心は随分ばらついていました。学生の自己評価である授業への参加、予習・復習、貢献はばらつきがそのままアンケート結果に現れているようです。

氏名	佐藤 香代		
科目名	福祉と法/民法		
実施日	2018/1/11	配当年次	3
履修者数	66	回答者数	40

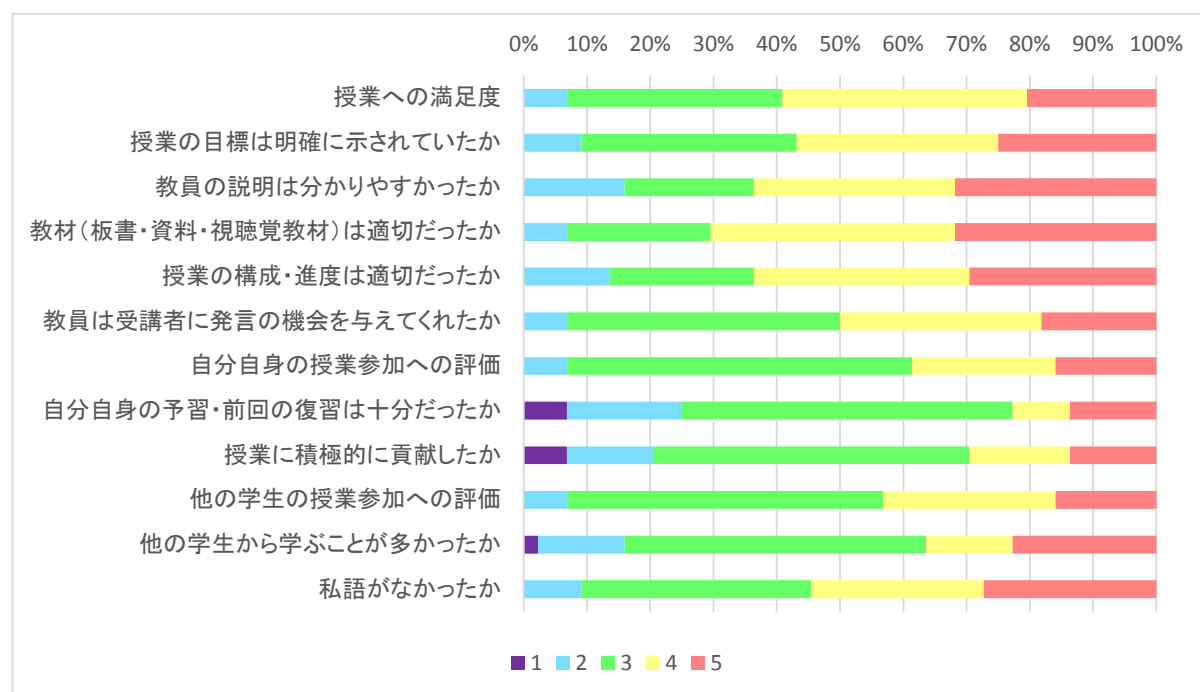
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	15	23	40
自分自身の授業参加への評価	0	3	14	18	5	40



■ 担当者のコメント

氏名	佐藤 那美		
科目名	保育の心理学 I		
実施日	2017/11/20	配当年次	2
履修者数	56	回答者数	44

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	3	15	17	9	44
授業の目標は明確に示されていたか	0	4	15	14	11	44
教員の説明は分かりやすかったか	0	7	9	14	14	44
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	3	10	17	14	44
授業の構成・進度は適切だったか	0	6	10	15	13	44
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	3	19	14	8	44
自分自身の授業参加への評価	0	3	24	10	7	44
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	8	23	4	6	44
授業に積極的に貢献したか	3	6	22	7	6	44
他の学生の授業参加への評価	0	3	22	12	7	44
他の学生から学ぶことが多かったか	1	6	21	6	10	44
私語がなかったか	0	4	16	12	12	44

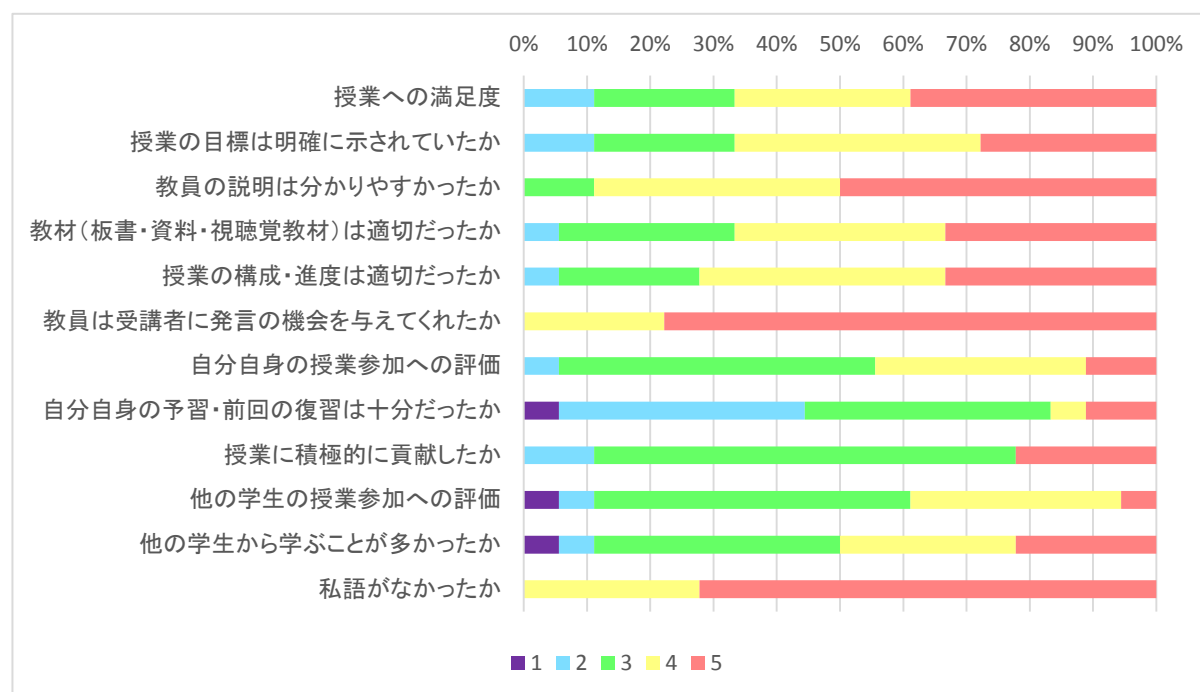


■ 担当者のコメント

アンケート結果を概観すると、授業の進度、内容、説明の仕方などは概ね適切だった事が伺える。視聴覚教材も学生の理解にとっては役立っていることがわかる。一方で、「説明がわかりやすかったか」という設問について、「2」と回答しているものが他の設問よりも多いことを踏まえると、もう少し砕いた説明の仕方、学生の生活に寄り添った説明の仕方を考慮する必要があるかもしれない。今後は説明の方法を見直していきたい。また、学生自身の授業の参加度、貢献度などを見てみると、講義科目ということもあり、「5」または「4」と回答している数が少数になり、受け身の形で授業に参加している学生が多いことが分かる。もう少し興味をもてるような題材やワークなど、積極的参加に取り入れ、授業改善に努めていきたい。

氏名	佐藤 信人		
科目名	ケアマネジメント論		
実施日	2017/1/9	配当年次	3
履修者数	28	回答者数	18

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	4	5	7	18
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	4	7	5	18
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	7	9	18
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	5	6	6	18
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	4	7	6	18
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	4	14	18
自分自身の授業参加への評価	0	1	9	6	2	18
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	7	7	1	2	18
授業に積極的に貢献したか	0	2	12	0	4	18
他の学生の授業参加への評価	1	1	9	6	1	18
他の学生から学ぶことが多かったか	1	1	7	5	4	18
私語がなかったか	0	0	0	5	13	18

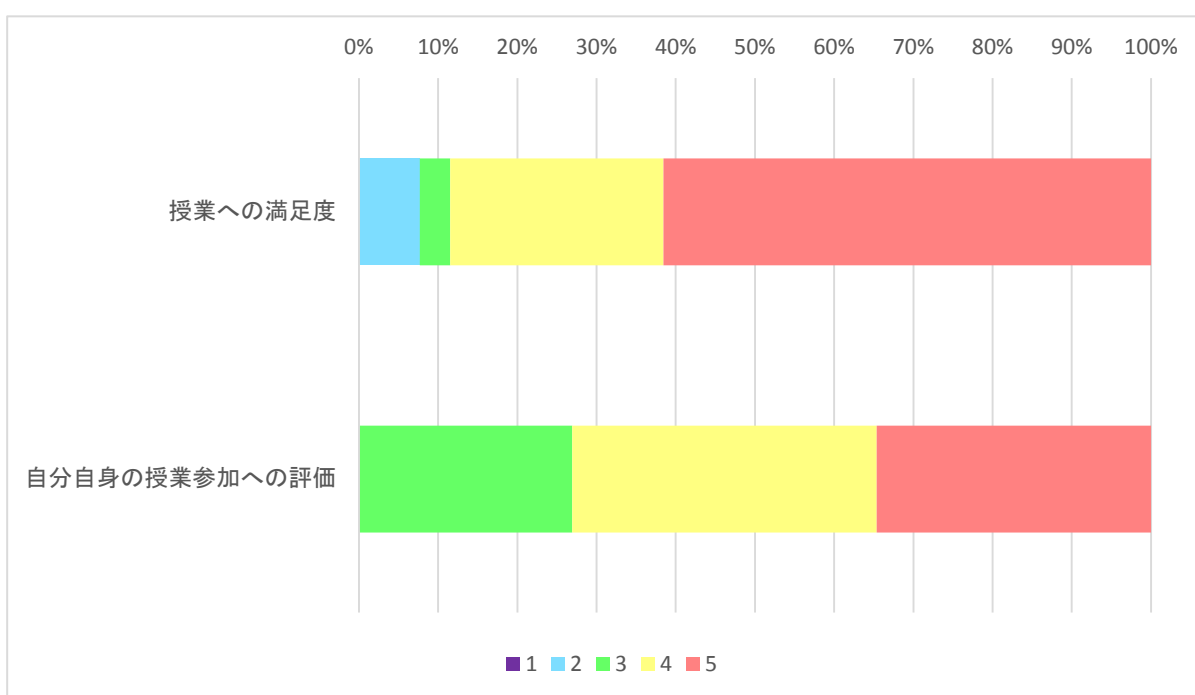


■ 担当者のコメント

参加型の授業を目指しました。授業への満足度が高まるよう研鑽します。

氏名	佐藤 美由紀		
科目名	障害児保育Ⅱ(保)		
実施日	2017/12/14	配当年次	2
履修者数	36	回答者数	26

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	1	7	16	26
自分自身の授業参加への評価	0	0	7	10	9	26



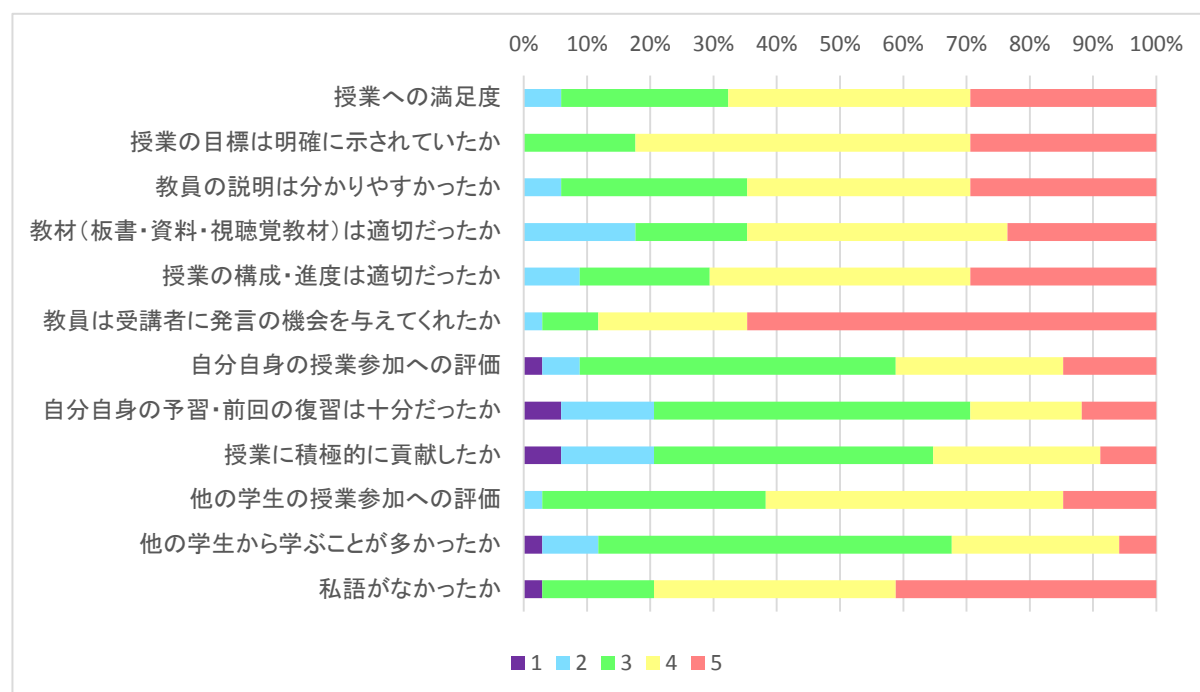
■ 担当者のコメント

障害児保育の授業は、選択科目を履修する学生にとって朝からの授業の5・6時限目で、さすがの若い学生も疲れがピークになる時間帯であったが、多くの学生達が大変熱心に授業に参加していたことに障害児保育・療育の分野に対するモチベーションの高を感じることができた。

学生達の授業評価アンケートでは、ゲストスピーカーの講義にほとんどの学生が高評価していたこと、各講義後にグループワークを多く取り入れたことで他学生の意見を聞くことができよかったとの感想が多かったこと、今後の授業の中でもさらに内容を工夫して取り入れていきたい。

氏名	澁川 顕一		
科目名	英語B13		
実施日	2017/7/4	配当年次	1
履修者数	42	回答者数	34

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	9	13	10	34
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	6	18	10	34
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	10	12	10	34
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	6	6	14	8	34
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	7	14	10	34
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	3	8	22	34
自分自身の授業参加への評価	1	2	17	9	5	34
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	5	17	6	4	34
授業に積極的に貢献したか	2	5	15	9	3	34
他の学生の授業参加への評価	0	1	12	16	5	34
他の学生から学ぶことが多かったか	1	3	19	9	2	34
私語がなかったか	1	0	6	13	14	34

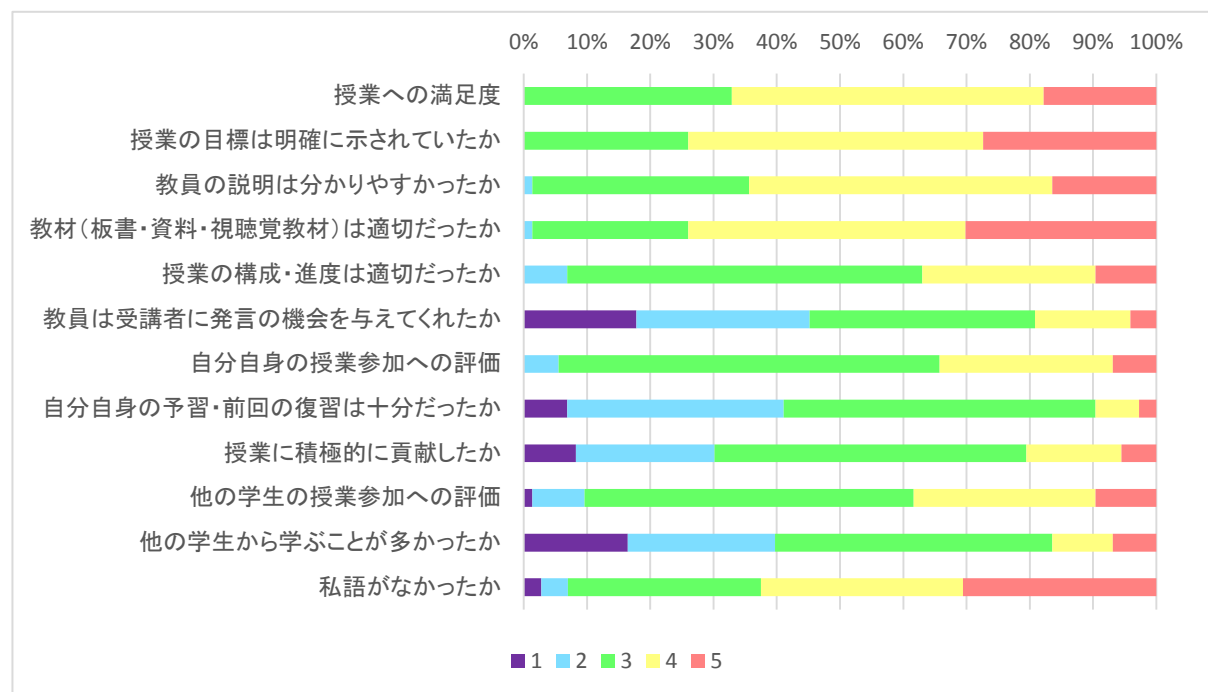


■ 担当者のコメント

学生の評価は客観的で妥当なものと思われる。このデータからは特に改善点は感じられないが、学期の途中で来なくなる学生が複数名おり、彼らがどのように受け止めているかは不明である。クラス全体として早くからあきらめてしまう学生が年々増えているように思われる。そのようなデータに上がりにくい問題にも気を留めてクラス運営をしていきたい。

氏名	島 陽一		
科目名	精神医学		
実施日	2017/5/20	配当年次	2
履修者数	85	回答者数	73

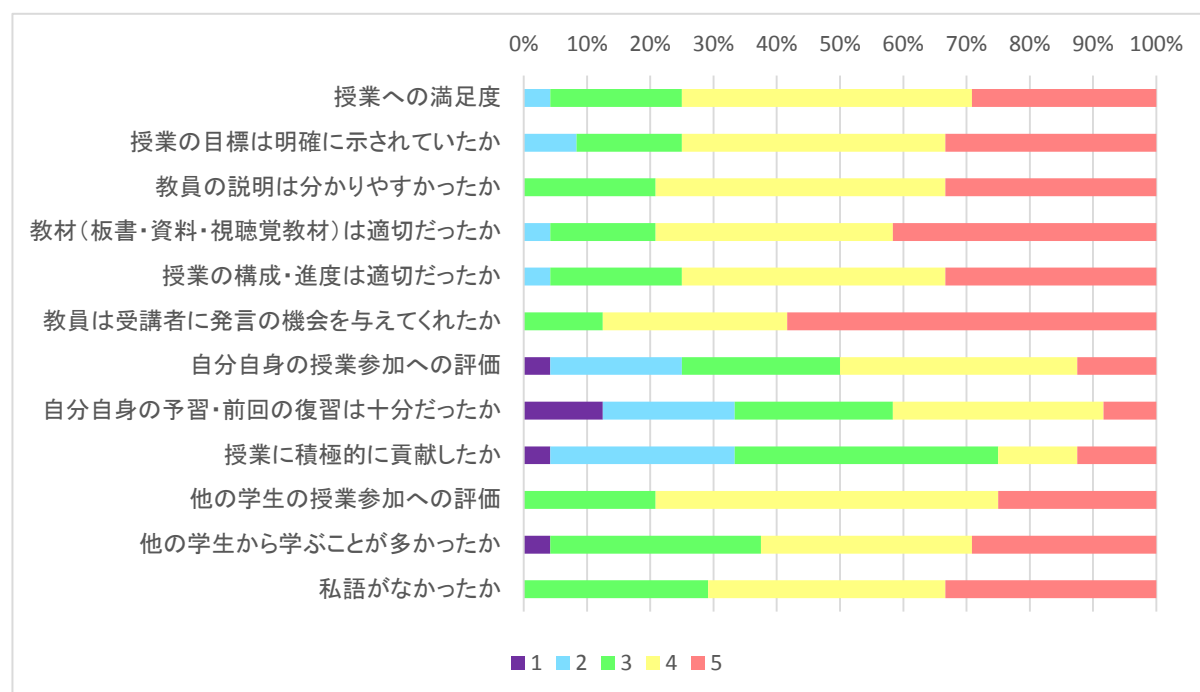
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	24	36	13	73
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	19	34	20	73
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	25	35	12	73
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	18	32	22	73
授業の構成・進度は適切だったか	0	5	41	20	7	73
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	13	20	26	11	3	73
自分自身の授業参加への評価	0	4	44	20	5	73
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	25	36	5	2	73
授業に積極的に貢献したか	6	16	36	11	4	73
他の学生の授業参加への評価	1	6	38	21	7	73
他の学生から学ぶことが多かったか	12	17	32	7	5	73
私語がなかったか	2	3	22	23	22	72



■ 担当者のコメント

氏名	菅谷 美佳子		
科目名	英語B15		
実施日	2017/5/22	配当年次	1
履修者数	38	回答者数	24

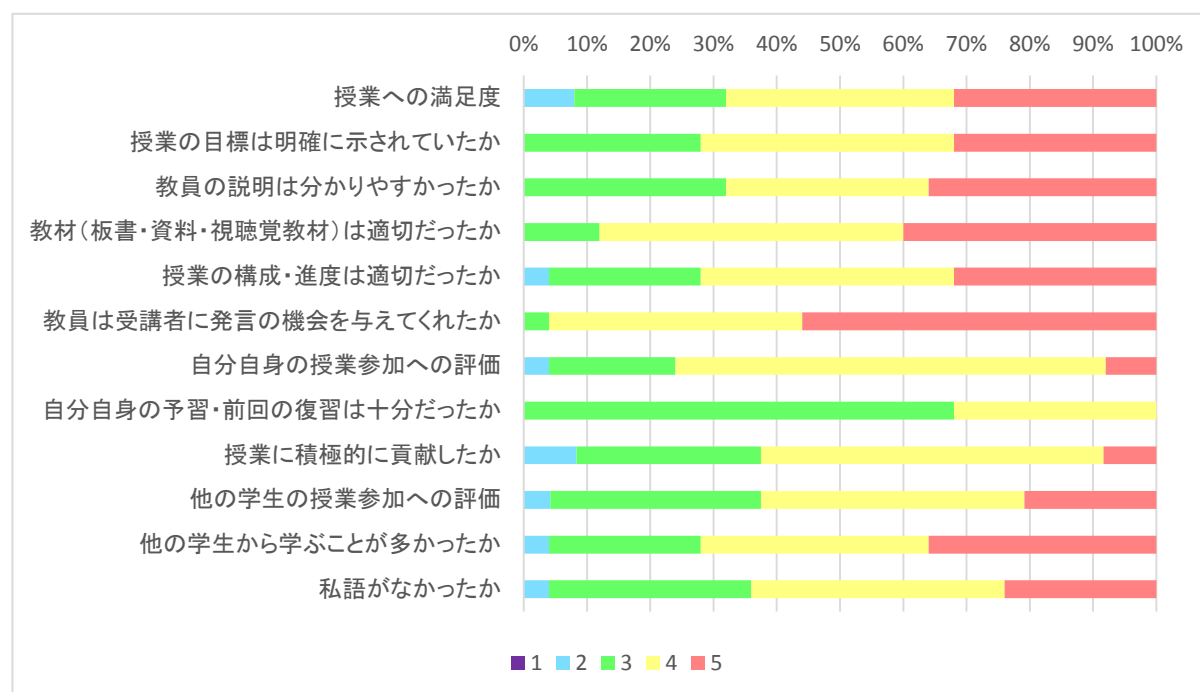
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	5	11	7	24
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	4	10	8	24
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	5	11	8	24
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	4	9	10	24
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	5	10	8	24
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	3	7	14	24
自分自身の授業参加への評価	1	5	6	9	3	24
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	5	6	8	2	24
授業に積極的に貢献したか	1	7	10	3	3	24
他の学生の授業参加への評価	0	0	5	13	6	24
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	8	8	7	24
私語がなかったか	0	0	7	9	8	24



■ 担当者のコメント

氏名	鈴木 久美		
科目名	教養基礎演習H		
実施日	2018/1/18	配当年次	1
履修者数	27	回答者数	25

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	6	9	8	25
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	7	10	8	25
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	8	8	9	25
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	12	10	25
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	6	10	8	25
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	10	14	25
自分自身の授業参加への評価	0	1	5	17	2	25
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	0	17	8	0	25
授業に積極的に貢献したか	0	2	7	13	2	24
他の学生の授業参加への評価	0	1	8	10	5	24
他の学生から学ぶことが多かったか	0	1	6	9	9	25
私語がなかったか	0	1	8	10	6	25

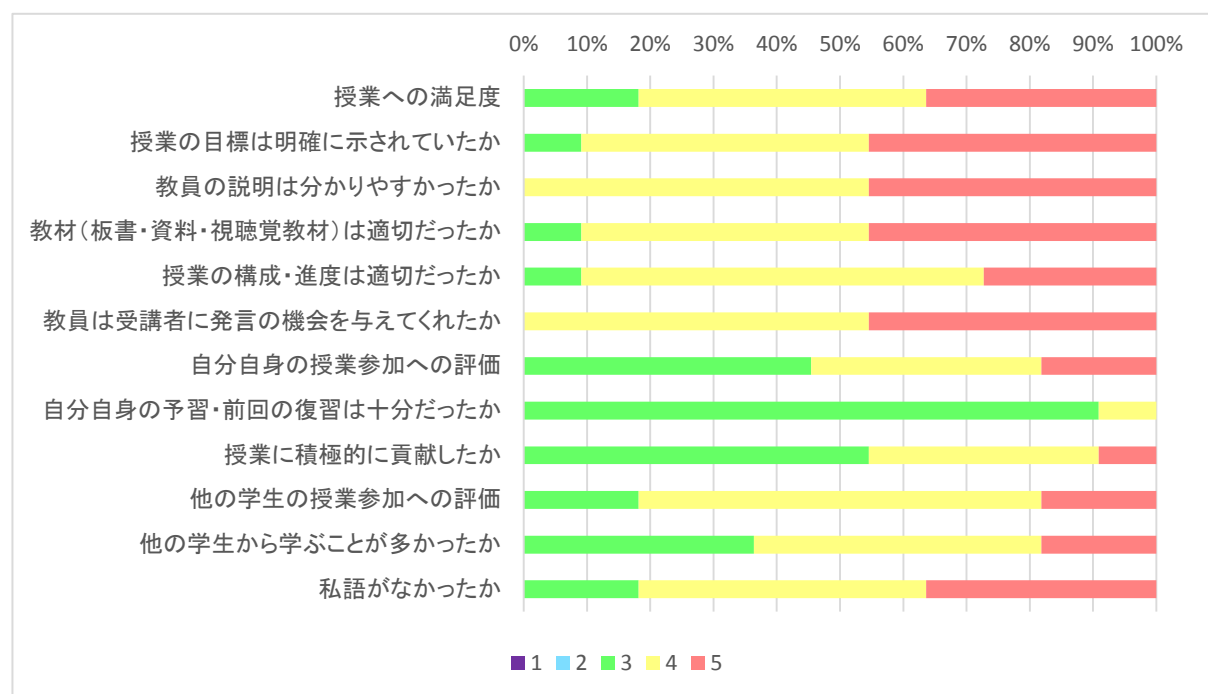


■ 担当者のコメント

みなさんのご意見をふまえて、今後の授業は、わかりやすく、興味を持てるような内容にしていきたいと思っています。

氏名	鈴木 真智子		
科目名	介護概論Ⅲ(教)		
実施日	2017/6/22	配当年次	3
履修者数	13	回答者数	11

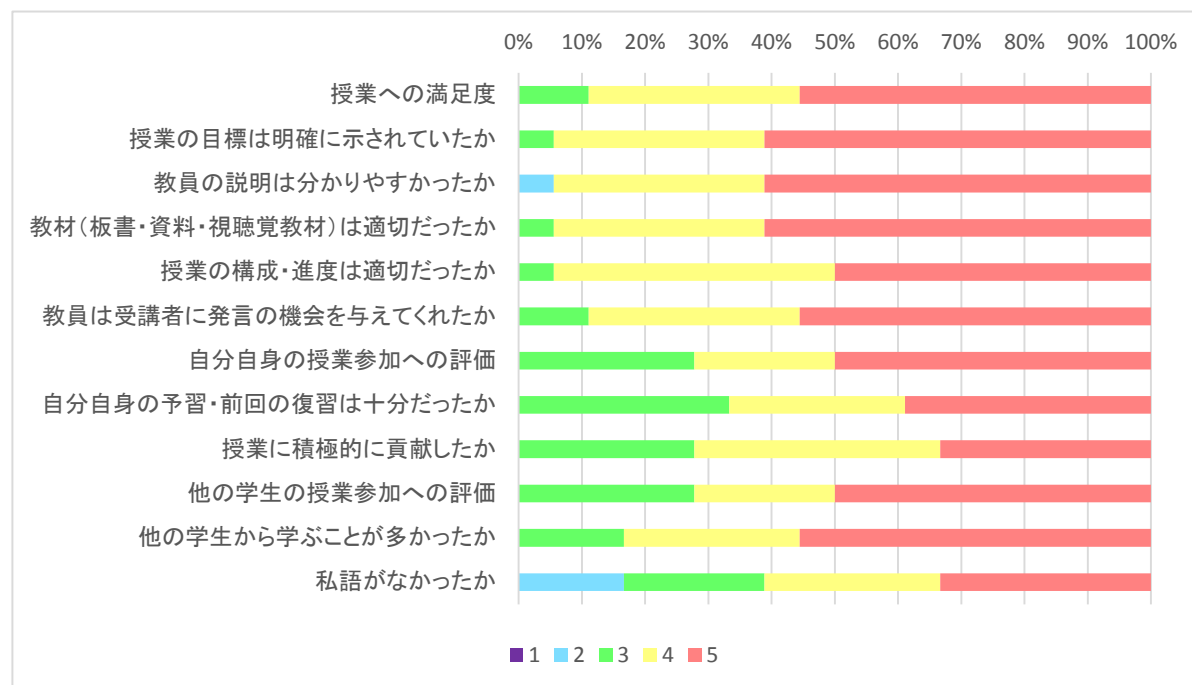
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	5	4	11
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	5	5	11
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	6	5	11
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	5	5	11
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	7	3	11
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	6	5	11
自分自身の授業参加への評価	0	0	5	4	2	11
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	0	10	1	0	11
授業に積極的に貢献したか	0	0	6	4	1	11
他の学生の授業参加への評価	0	0	2	7	2	11
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	4	5	2	11
私語がなかったか	0	0	2	5	4	11



■ 担当者のコメント

氏名	染谷 哲夫		
科目名	保育表現技術 I C1(保)		
実施日	2017/12/9	配当年次	2
履修者数	18	回答者数	18

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	6	10	18
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	6	11	18
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	0	6	11	18
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	6	11	18
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	8	9	18
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	6	10	18
自分自身の授業参加への評価	0	0	5	4	9	18
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	0	6	5	7	18
授業に積極的に貢献したか	0	0	5	7	6	18
他の学生の授業参加への評価	0	0	5	4	9	18
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	3	5	10	18
私語がなかったか	0	3	4	5	6	18

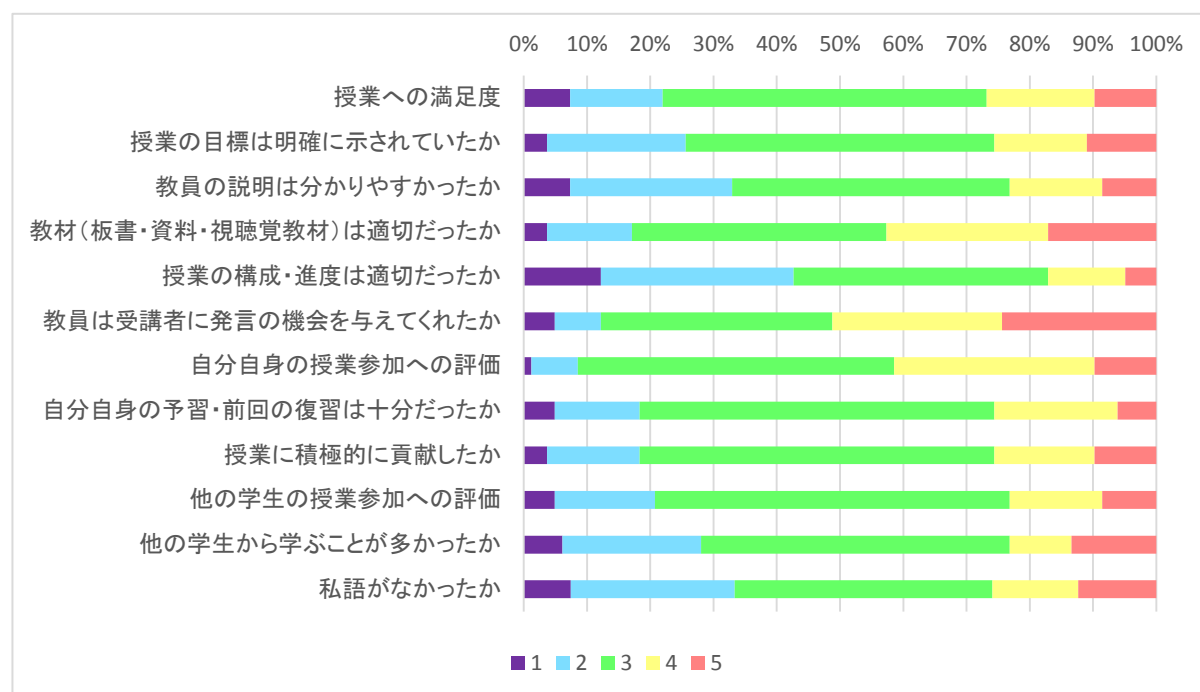


■ 担当者のコメント

授業への積極参加や予習復習、私語等の授業取り組み姿勢についての評価が低い。学生の意識や経験の現状を把握し、本時に求められている意義や必要性を確認しながら、主体的に取り組めるよう授業の課題や展開について考えたい。

氏名	徐 凡喜		
科目名	社会の認識X		
実施日	2017/7/19	配当年次	1
履修者数	109	回答者数	82

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	6	12	42	14	8	82
授業の目標は明確に示されていたか	3	18	40	12	9	82
教員の説明は分かりやすかったか	6	21	36	12	7	82
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	3	11	33	21	14	82
授業の構成・進度は適切だったか	10	25	33	10	4	82
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	4	6	30	22	20	82
自分自身の授業参加への評価	1	6	41	26	8	82
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	4	11	46	16	5	82
授業に積極的に貢献したか	3	12	46	13	8	82
他の学生の授業参加への評価	4	13	46	12	7	82
他の学生から学ぶことが多かったか	5	18	40	8	11	82
私語がなかったか	6	21	33	11	10	81

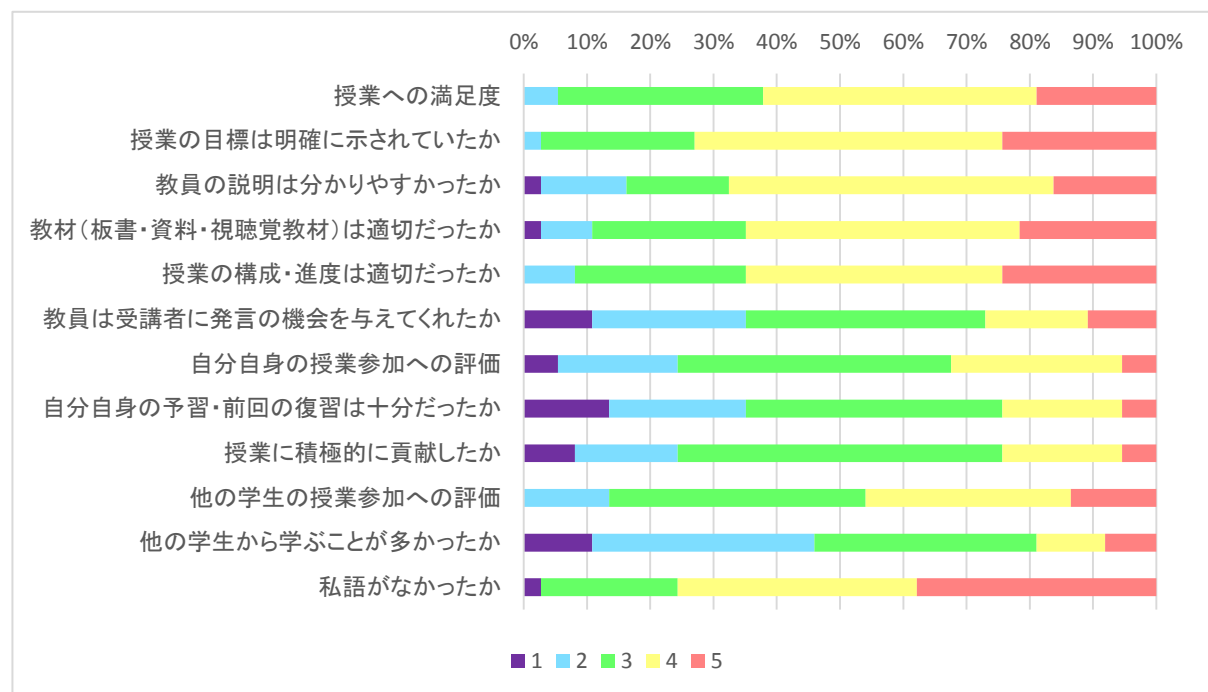


■ 担当者のコメント

受講生が多く、映像資料の視聴などでもご迷惑をおかけしました。また時間が足りず、討論する場面も十分ではありませんでした。もし来年度も担当するとすれば、テーマと授業人数、方法なども考え、課題したいと思います。

氏名	鷹野 吉章		
科目名	福祉と経営(経済)		
実施日	2017/7/11	配当年次	3
履修者数	50	回答者数	37

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	12	16	7	37
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	9	18	9	37
教員の説明は分かりやすかったか	1	5	6	19	6	37
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	3	9	16	8	37
授業の構成・進度は適切だったか	0	3	10	15	9	37
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	4	9	14	6	4	37
自分自身の授業参加への評価	2	7	16	10	2	37
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	8	15	7	2	37
授業に積極的に貢献したか	3	6	19	7	2	37
他の学生の授業参加への評価	0	5	15	12	5	37
他の学生から学ぶことが多かったか	4	13	13	4	3	37
私語がなかったか	1	0	8	14	14	37

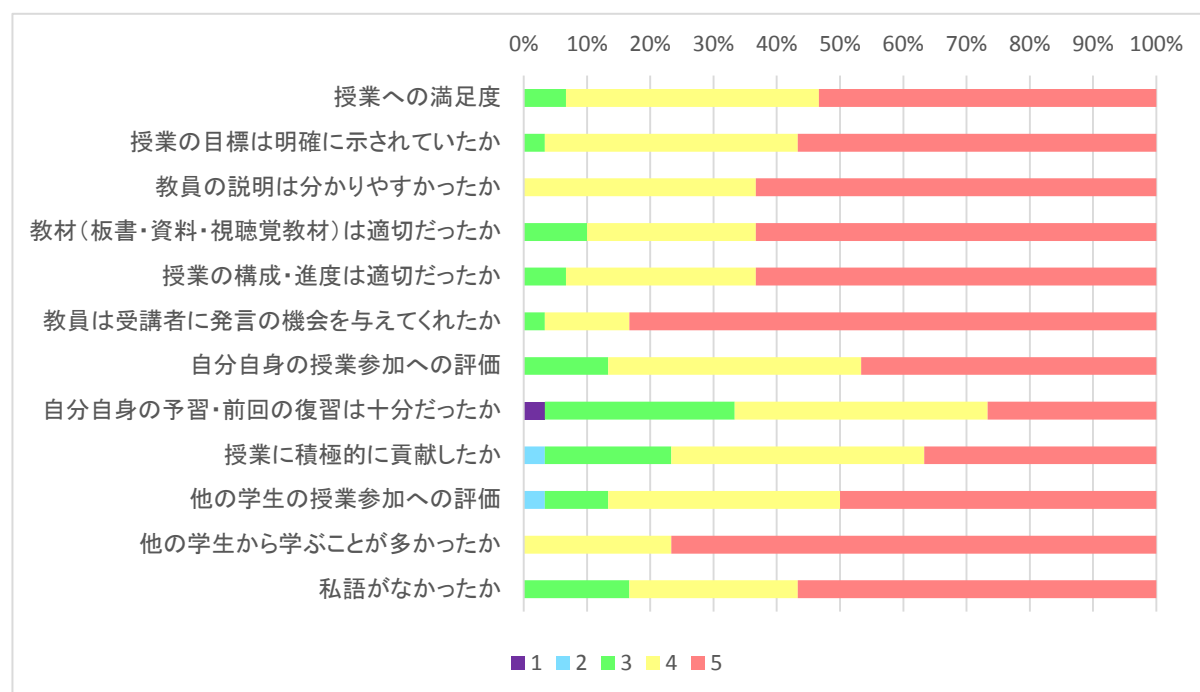


■担当者のコメント

今年度この授業では、従来行っていなかったレポートに対して個別評価を付して返却するという改善を行いました。また、必要に応じて、受講生のリアクションペーパーから主な意見を抜粋し、コメントを付したり、質問に回答するペーパーを作成しフィードバックしました。このことにより、自分以外の受講生がどのような意見を持ったか、全員が理解できたことと思います。また、後半では、演習問題を提示し、各自で検討できるよう、アクティブラーニングの方法も取り入れました。この結果、「授業の満足度」を4以上に評価した人の割合は昨年は52%でしたが、今年度は10ポイント増加し約62%となったものと思われます。しかしながら、授業の中で、受講生が発言したり、議論したりする時間をあまり持てなかったため、そのことに関連する質問項目の評価は低くなっています。この点が今後改善すべき課題と考えます。

氏名	高橋 貴志		
科目名	保育内容演習 I (環境)		
実施日	2018/1/16	配当年次	3
履修者数	35	回答者数	30

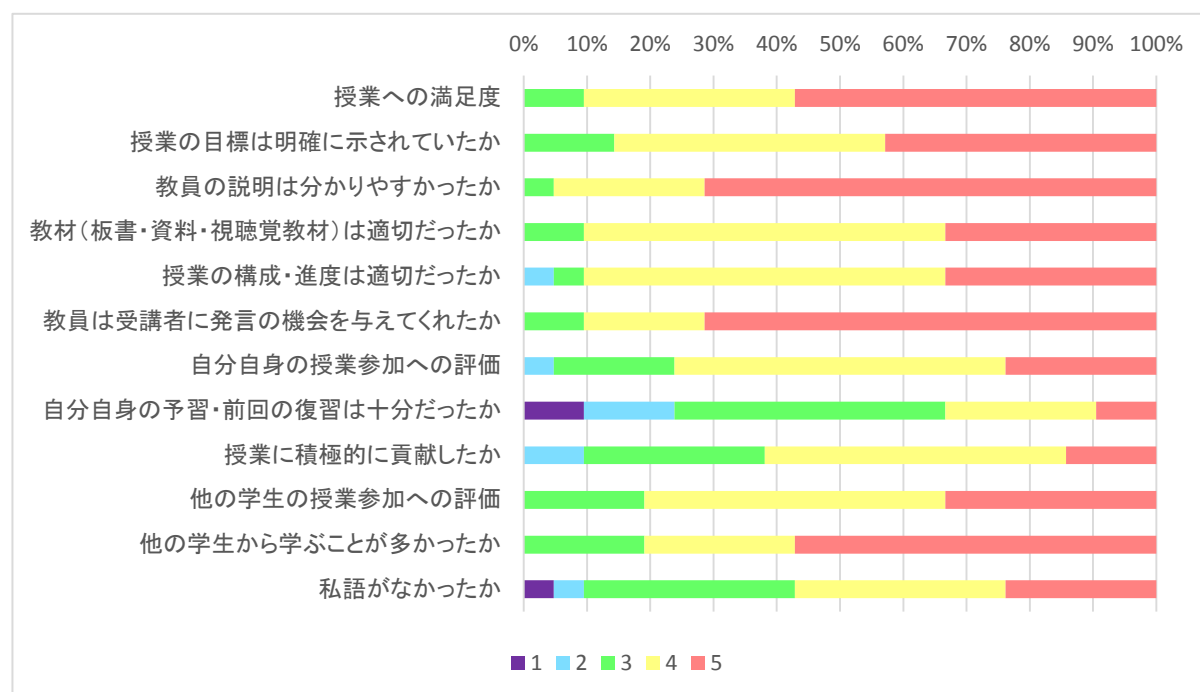
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	12	16	30
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	12	17	30
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	11	19	30
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	8	19	30
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	2	9	19	30
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	4	25	30
自分自身の授業参加への評価	0	0	4	12	14	30
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	0	9	12	8	30
授業に積極的に貢献したか	0	1	6	12	11	30
他の学生の授業参加への評価	0	1	3	11	15	30
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	0	7	23	30
私語がなかったか	0	0	5	8	17	30



■ 担当者のコメント

氏名	瀧本 里香		
科目名	精神保健援助技各論Ⅱ		
実施日	2017/7/20	配当年次	3
履修者数	22	回答者数	21

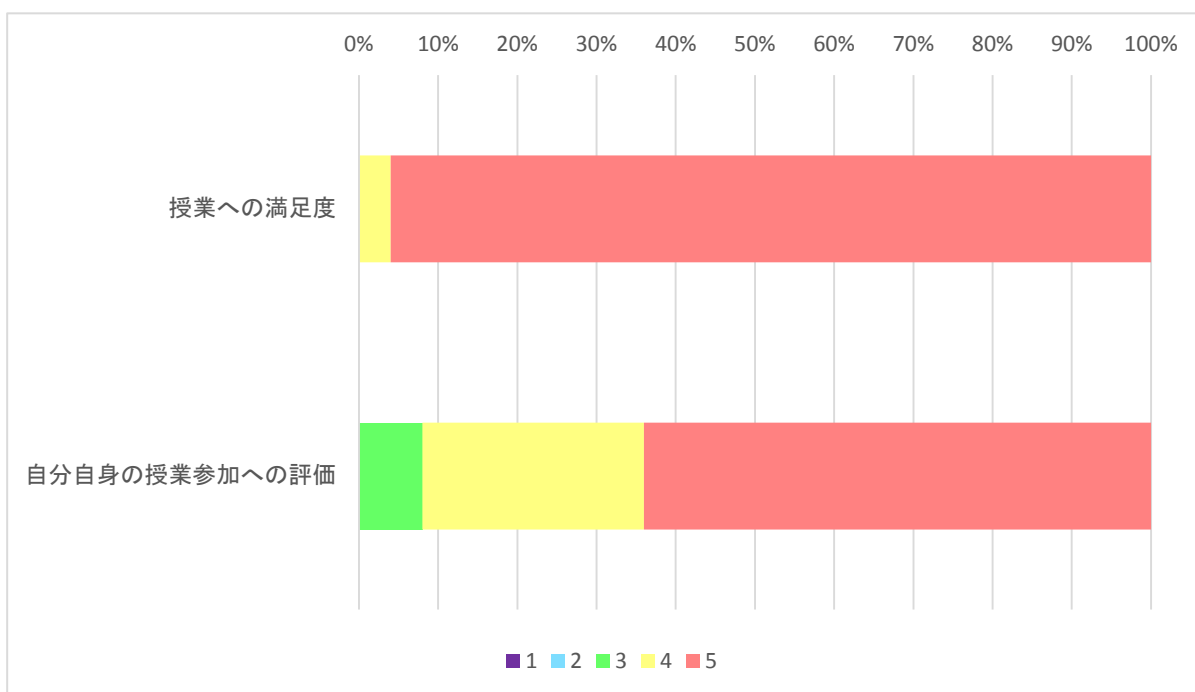
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	7	12	21
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	3	9	9	21
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	5	15	21
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	2	12	7	21
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	1	12	7	21
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	4	15	21
自分自身の授業参加への評価	0	1	4	11	5	21
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	3	9	5	2	21
授業に積極的に貢献したか	0	2	6	10	3	21
他の学生の授業参加への評価	0	0	4	10	7	21
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	4	5	12	21
私語がなかったか	1	1	7	7	5	21



■ 担当者のコメント

氏名	谷 千春		
科目名	形態別介護技演 I (介)		
実施日	2017/7/26	配当年次	2
履修者数	26	回答者数	25

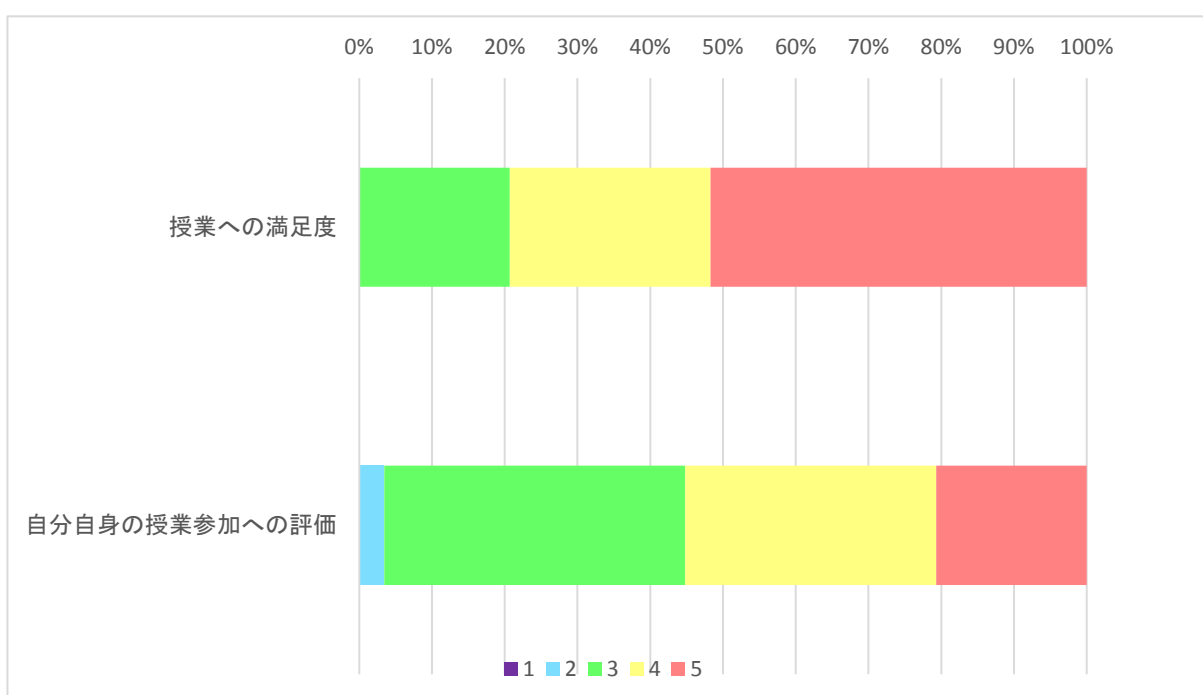
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	1	24	25
自分自身の授業参加への評価	0	0	2	7	16	25



■ 担当者のコメント

氏名	堤 ちはる		
科目名	子どもの食と栄養(保)		
実施日	2017/11/24	配当年次	2
履修者数	34	回答者数	29

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	6	8	15	29
自分自身の授業参加への評価	0	1	12	10	6	29



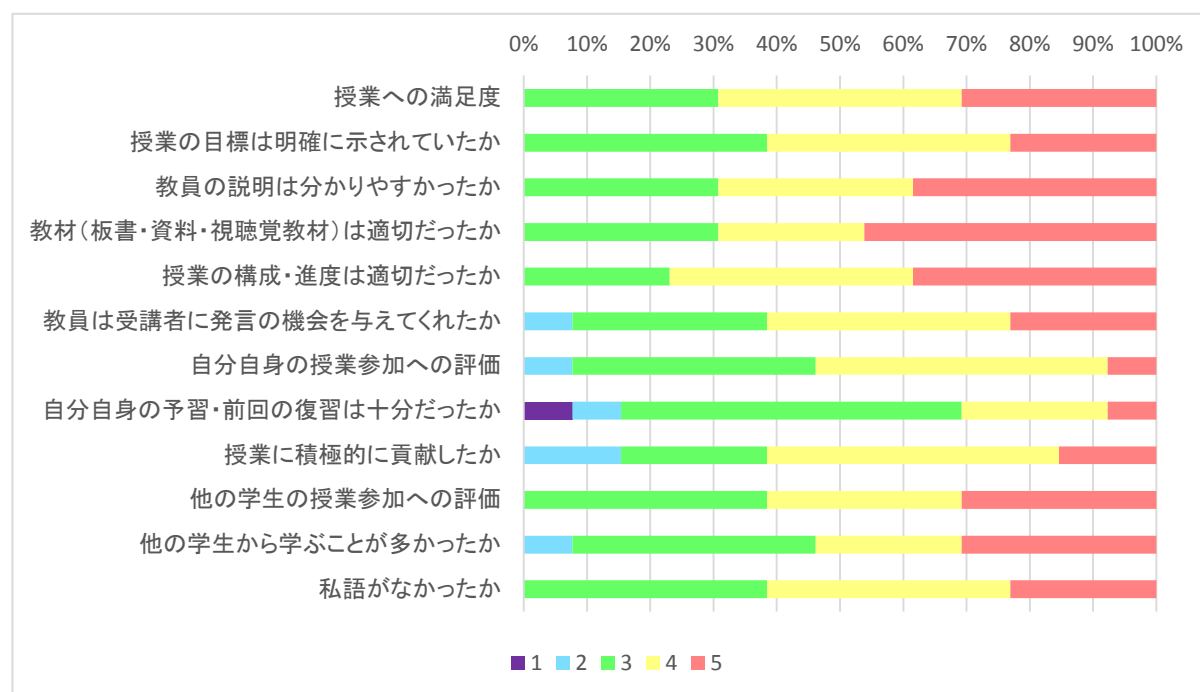
■ 担当者のコメント

本授業では、子どもの食生活と栄養について、学生がイメージしやすいように日常の食事内容から栄養バランスの理解を深めたり、保育園児の保護者からの食の悩み相談に、保育士としてどのように答えるかを考えたりと、具体例を豊富にあげながら講義を進めていった。また、リアクションペーパーに記載された質問に、毎回丁寧に答えながら授業を深めていったことなどから「授業への満足度」は、4と5の合計が約80%と高い評価であった。

一方、金曜日の1、2限連続の授業であるために、集中力が続かない学生もみられた。そこで、グループワークやディスカッションを積極的に取り入れながら、参加型の授業展開となるようにさらなる工夫を続けていきたい。

氏名	河合 恒		
科目名	バイオメカニクス		
実施日	2017/6/5	配当年次	3
履修者数	19	回答者数	13

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	4	5	4	13
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	5	5	3	13
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	4	4	5	13
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	4	3	6	13
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	5	5	13
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	4	5	3	13
自分自身の授業参加への評価	0	1	5	6	1	13
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	1	7	3	1	13
授業に積極的に貢献したか	0	2	3	6	2	13
他の学生の授業参加への評価	0	0	5	4	4	13
他の学生から学ぶことが多かったか	0	1	5	3	4	13
私語がなかったか	0	0	5	5	3	13

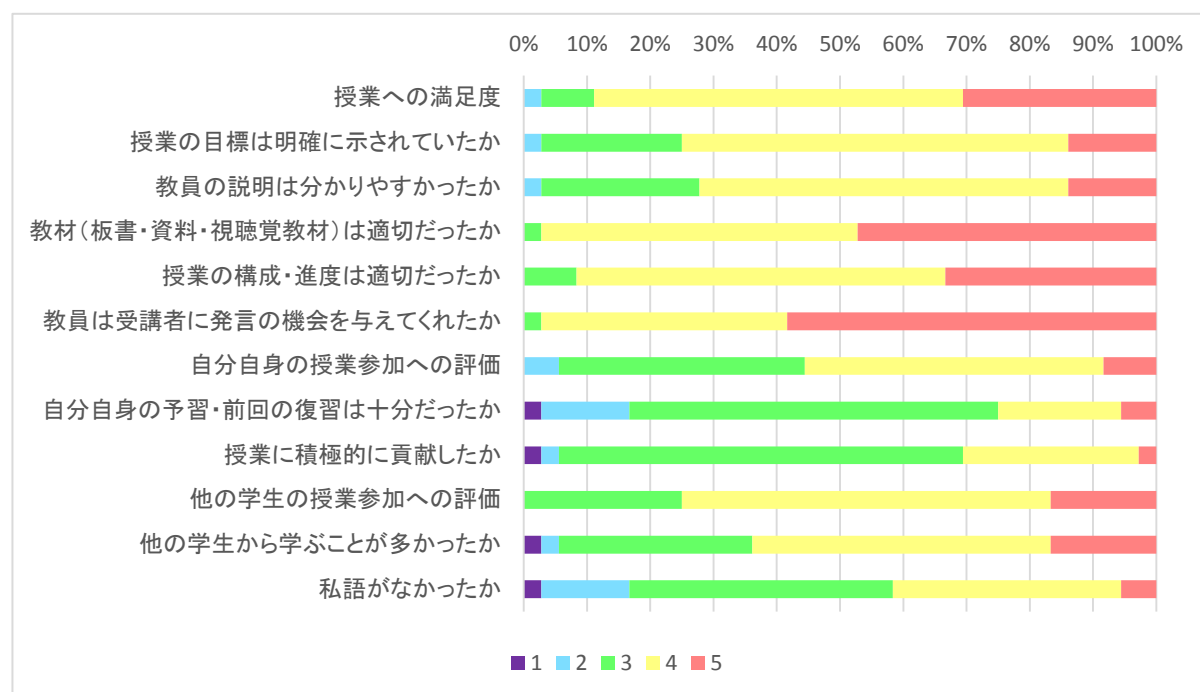


■ 担当者のコメント

力学的、生理学的な内容が文系の学生でも理解しやすいように、高齢期における筋力低下や歩行速度の低下など、ソーシャルワークの現場にも応用しやすい例を取り上げている。授業の理解度は概ね良好であるので、引き続きそのようなトピックスを取り入れられるようにしていきたい。
 授業では参加型の測定実習も行ったが、学生の主体的な学習の機会についてはもの足りないという学生もわずかながら見られたので、測定後の理解を深めるようなグループワークを取り入れることも検討していきたい。

氏名	テイヘン,S		
科目名	英語A31		
実施日	2017/11/7	配当年次	1
履修者数	44	回答者数	36

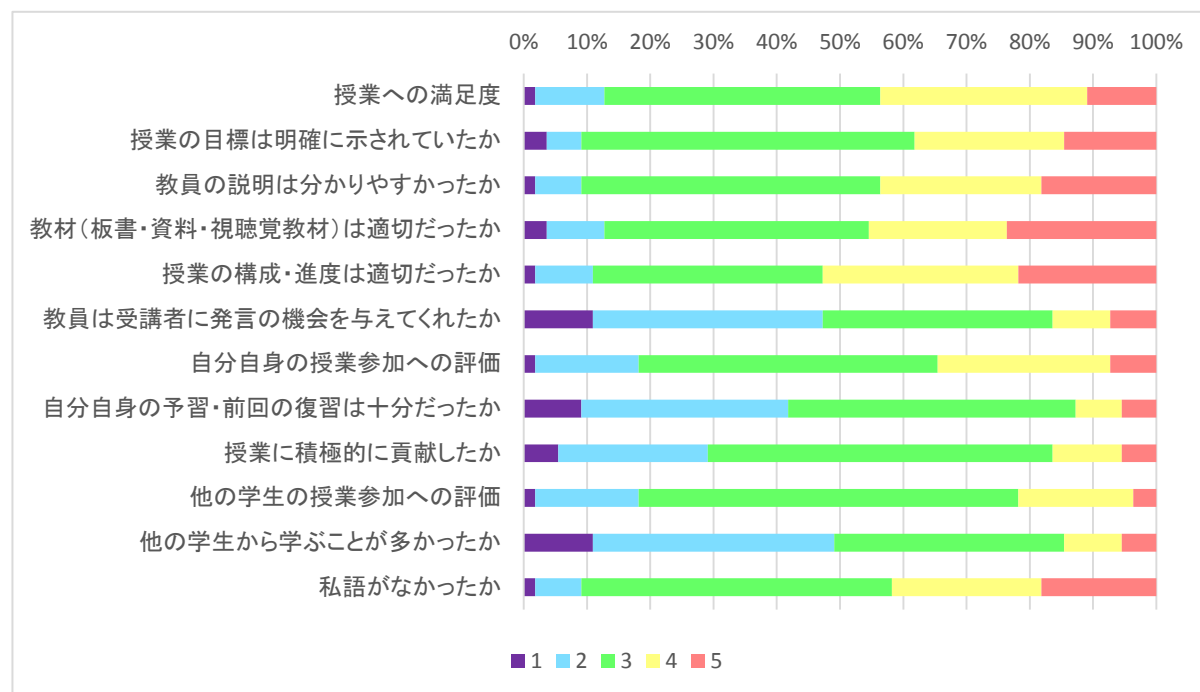
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	3	21	11	36
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	8	22	5	36
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	9	21	5	36
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	18	17	36
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	21	12	36
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	1	14	21	36
自分自身の授業参加への評価	0	2	14	17	3	36
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	5	21	7	2	36
授業に積極的に貢献したか	1	1	23	10	1	36
他の学生の授業参加への評価	0	0	9	21	6	36
他の学生から学ぶことが多かったか	1	1	11	17	6	36
私語がなかったか	1	5	15	13	2	36



■ 担当者のコメント

氏名	富塚 祥夫		
科目名	社会の認識 V		
実施日	2017/6/15	配当年次	1
履修者数	68	回答者数	55

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	6	24	18	6	55
授業の目標は明確に示されていたか	2	3	29	13	8	55
教員の説明は分かりやすかったか	1	4	26	14	10	55
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	2	5	23	12	13	55
授業の構成・進度は適切だったか	1	5	20	17	12	55
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	6	20	20	5	4	55
自分自身の授業参加への評価	1	9	26	15	4	55
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	5	18	25	4	3	55
授業に積極的に貢献したか	3	13	30	6	3	55
他の学生の授業参加への評価	1	9	33	10	2	55
他の学生から学ぶことが多かったか	6	21	20	5	3	55
私語がなかったか	1	4	27	13	10	55

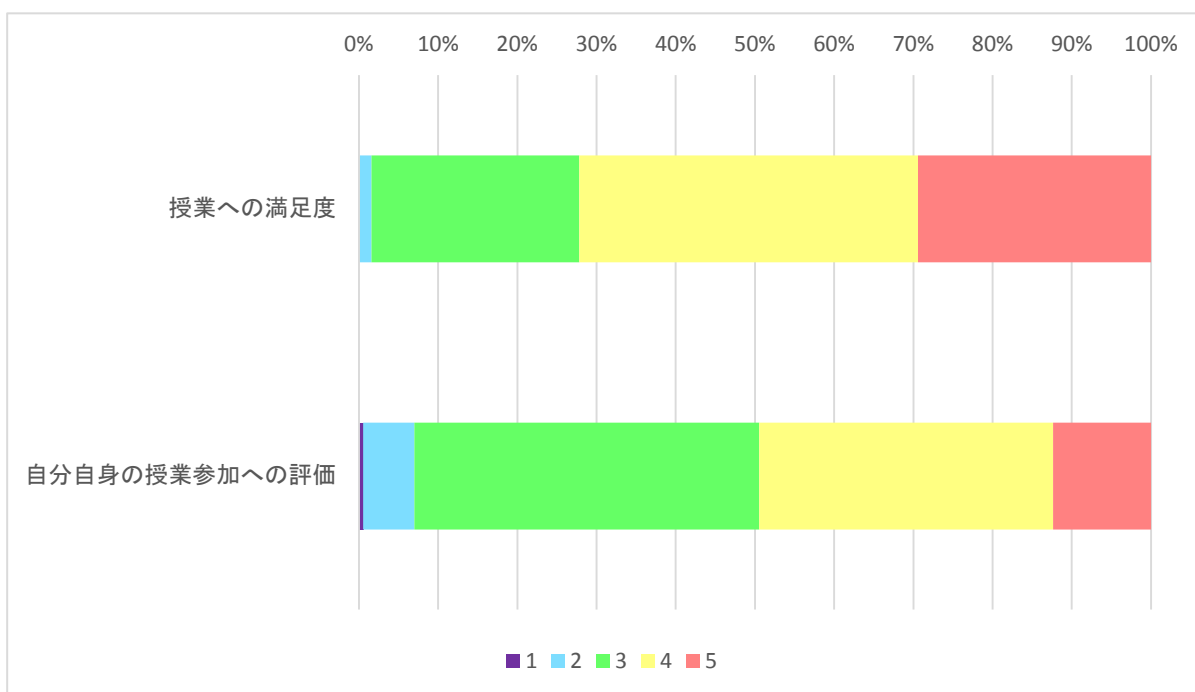


■ 担当者のコメント

比較的评价が高い方としては、「授業の構成・進度は適切だった」「教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だった」「授業への満足度」「教員の説明は分かりやすかった」などがあり、逆に比較的评价が低い方としては、「他の学生から学ぶことが多くなかった」「教員は受講者に発言の機会を与えてくれない」「自分自身の予習・前回の復習は十分でない」「授業に積極的に貢献していない」などがありました。これらの結果については、授業が講義形式である以上ある意味では致し方のない部分があるといわざるをえません。ただし、評価の低かった方の項目の中には、講義形式であっても改善の余地のあるものも含まれておりますので、今後はその改善に向けて少しでも工夫を凝らしていきたいと思っております。

氏名	永山 聡子		
科目名	社会学		
実施日	2017/12/1	配当年次	1
履修者数	221	回答者数	188

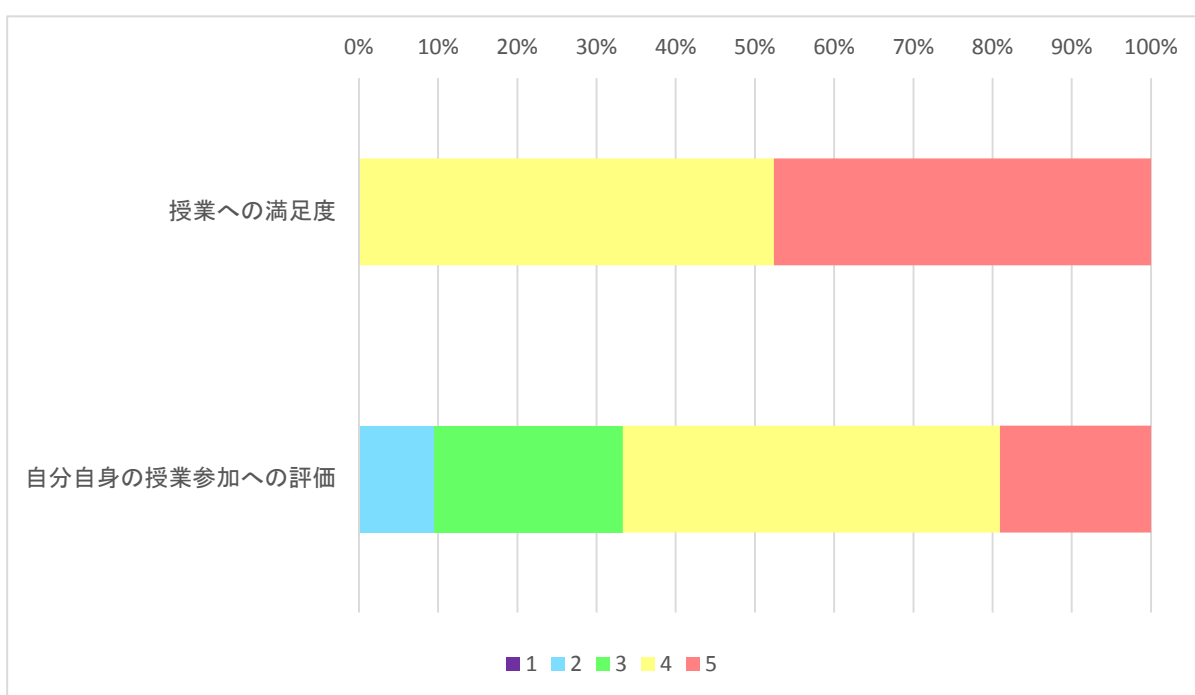
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	3	49	80	55	187
自分自身の授業参加への評価	1	12	81	69	23	186



■ 担当者のコメント

氏名	中村 考一		
科目名	認知症ケア論 I		
実施日	2017/6/16	配当年次	3
履修者数	26	回答者数	21

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	11	10	21
自分自身の授業参加への評価	0	2	5	10	4	21

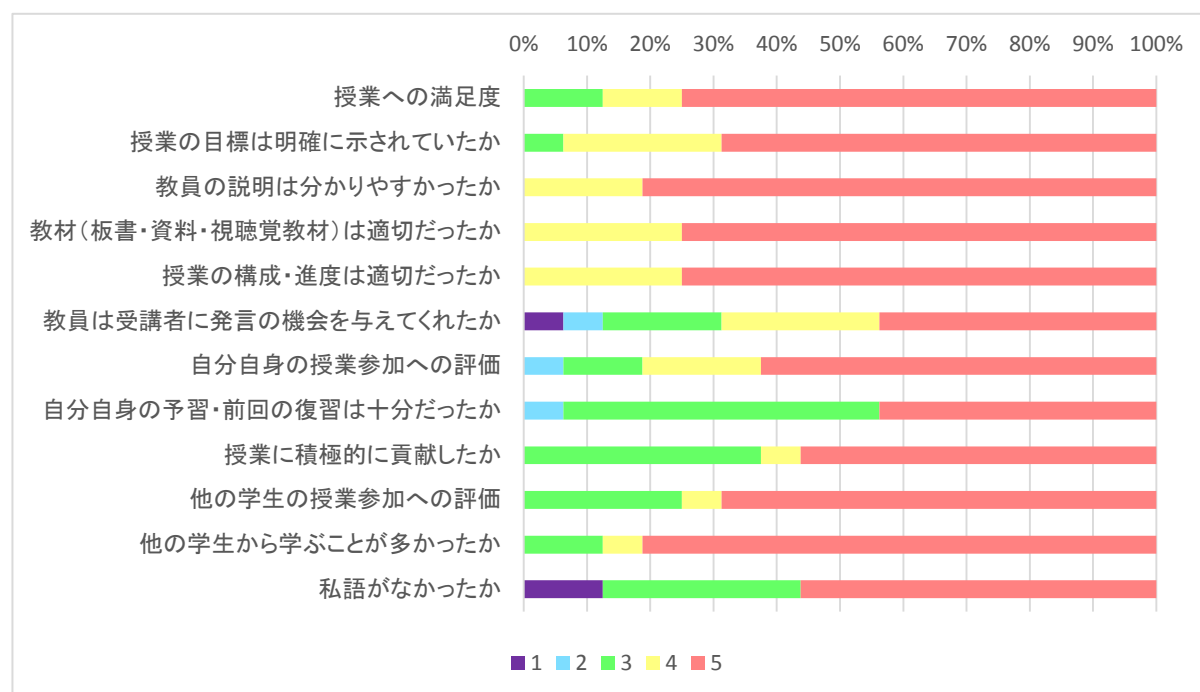


■ 担当者のコメント

週末6限のお疲れのところ、熱心に授業を聞いてくださってありがとうございました。授業を楽しんでもらえる、というのも定着のために重要と考えていましたので、そういった感想がもらえたのも良かったです。リアクションペーパーの配布は、聞いてもらってから書いてほしかったため最後に配っていましたが、もし次回担当することがあれば、先に配りたいと思います。できるだけ、分かりやすく、理想論に終わらない授業にできればと思います。認知症ケアの領域に限らず、社大での学習の中で、単に知識を学ぶのではなく、理想を現実に変えていく力をつけていっていただけることを祈念します。

氏名	長崎 信博		
科目名	保育表現 I C2		
実施日	2017/11/25	配当年次	2
履修者数	18	回答者数	16

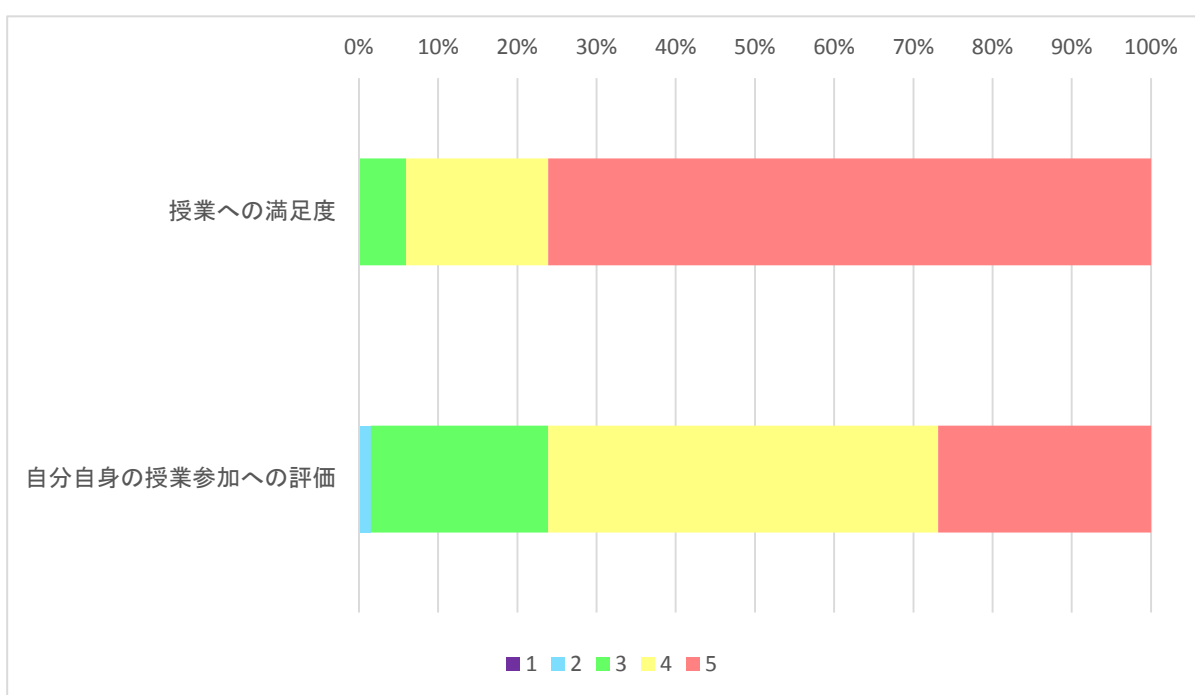
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	2	12	16
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	4	11	16
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	3	13	16
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	0	4	12	16
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	0	4	12	16
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	1	3	4	7	16
自分自身の授業参加への評価	0	1	2	3	10	16
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	1	8	0	7	16
授業に積極的に貢献したか	0	0	6	1	9	16
他の学生の授業参加への評価	0	0	4	1	11	16
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	2	1	13	16
私語がなかったか	2	0	5	0	9	16



■ 担当者のコメント

氏名	西隈 亜紀		
科目名	精神保健福祉論 I		
実施日	2017/7/21	配当年次	2
履修者数	92	回答者数	67

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	4	12	51	67
自分自身の授業参加への評価	0	1	15	33	18	67

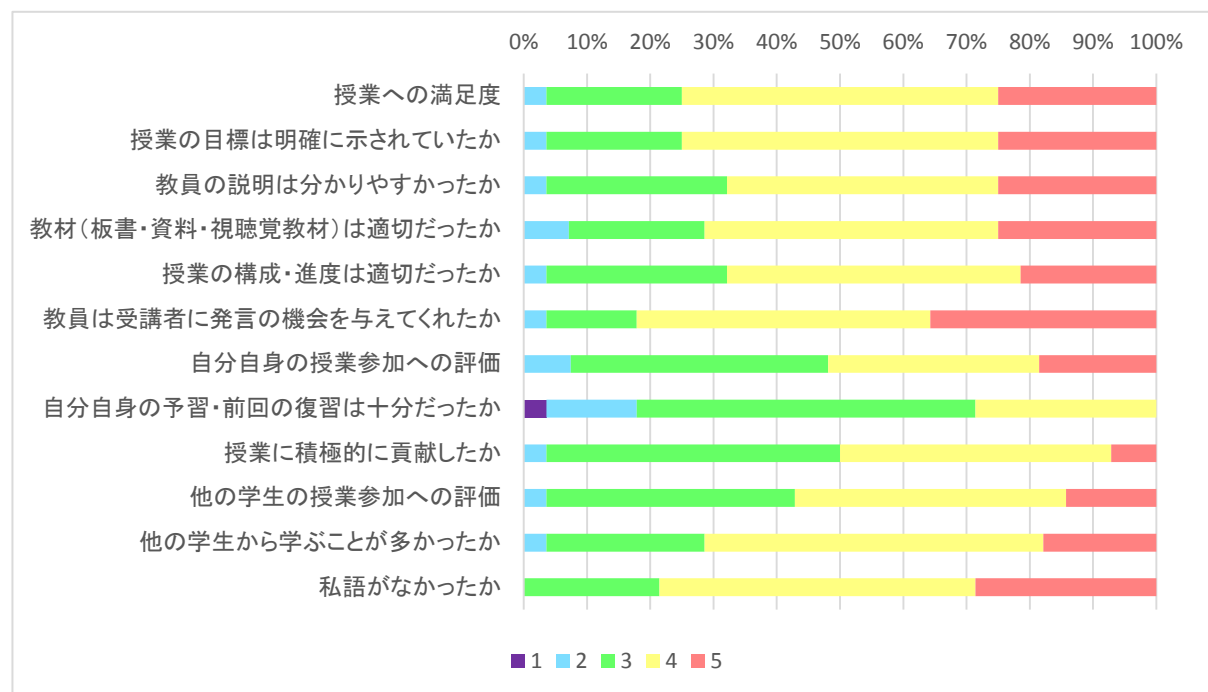


■ 担当者のコメント

精神保健福祉の基礎は、どの分野に進む人にも学んでほしい、現場で必ず役に立つ知識だからと伝え続け、多くの学生さんが受講してくださいました。歴史的背景や法の流れなど難しい内容が多かったので、高評価をいただけたことは意外ですが嬉しく思います。臨床の話をお聴きたがる学生さんが多く、できるだけ話してあげたいのですが、法制度もきちんと押さえてほしいので、バランスに毎年苦慮します。学生さんからの毎回のリアベは、ミニレポートと位置づけて自分の考えを書くようにしてもらっていますが、毎回読み応えのあるリアベが多く、学生さんの授業参加度が高い数値になったのは納得です。リアベの内容に私自身が触発され、考えさせられることも多くあり、次回授業で内容を共有して私のコメントを話し、理解がより深まるように工夫していました。とてもやりがいを感じる授業で、学生さんに感謝しております。

氏名	西 智子		
科目名	乳児保育(保)		
実施日	2017/5/29	配当年次	3
履修者数	35	回答者数	28

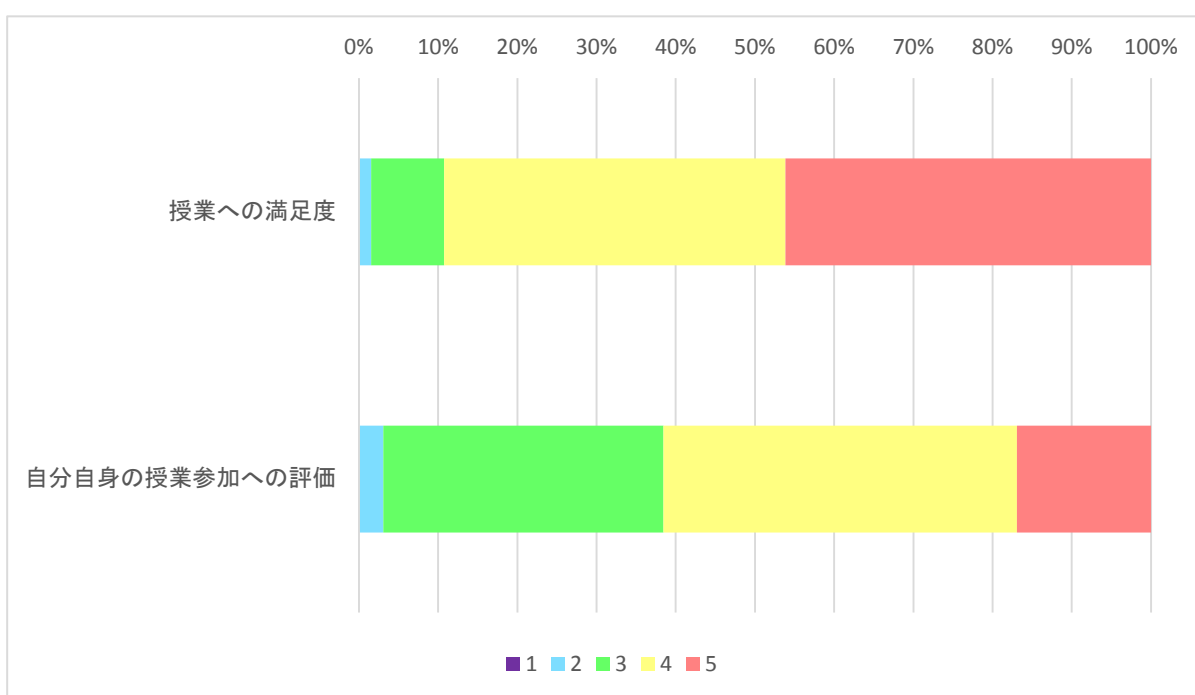
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	6	14	7	28
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	6	14	7	28
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	8	12	7	28
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	2	6	13	7	28
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	8	13	6	28
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	4	13	10	28
自分自身の授業参加への評価	0	2	11	9	5	27
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	4	15	8	0	28
授業に積極的に貢献したか	0	1	13	12	2	28
他の学生の授業参加への評価	0	1	11	12	4	28
他の学生から学ぶことが多かったか	0	1	7	15	5	28
私語がなかったか	0	0	6	14	8	28



■ 担当者のコメント

氏名	西本 和月		
科目名	人間の知性 X II		
実施日	2017/12/1	配当年次	1
履修者数	81	回答者数	65

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	6	28	30	65
自分自身の授業参加への評価	0	2	23	29	11	65

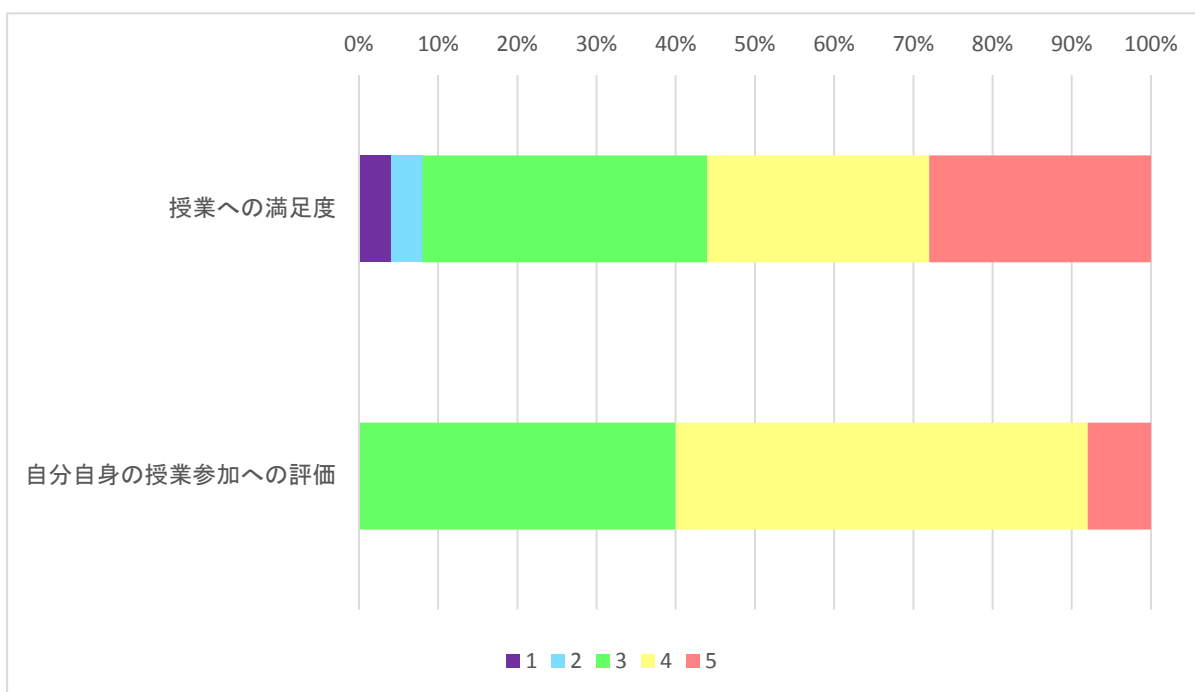


■ 担当者のコメント

授業内で性格検査や実験を行うことが、学生の興味関心と理解を促進しているようなので、今後も取り入れていきたいと思っています。実験は期待通りの結果が出ないこともありますが、その理由を考えることも大切な学習になるので、しっかりと考察をするようにします。暖房を使う季節になると教室がかなり暑くなり、睡魔と戦っている学生が多いようです。配布資料に空欄を作ったり、学生の発言機会を増やすことによって、覚醒を高めていこうと思います。

氏名	朴 堯星		
科目名	情報科学A2		
実施日	2017/7/10	配当年次	1
履修者数	43	回答者数	25

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	1	9	7	7	25
自分自身の授業参加への評価	0	0	10	13	2	25

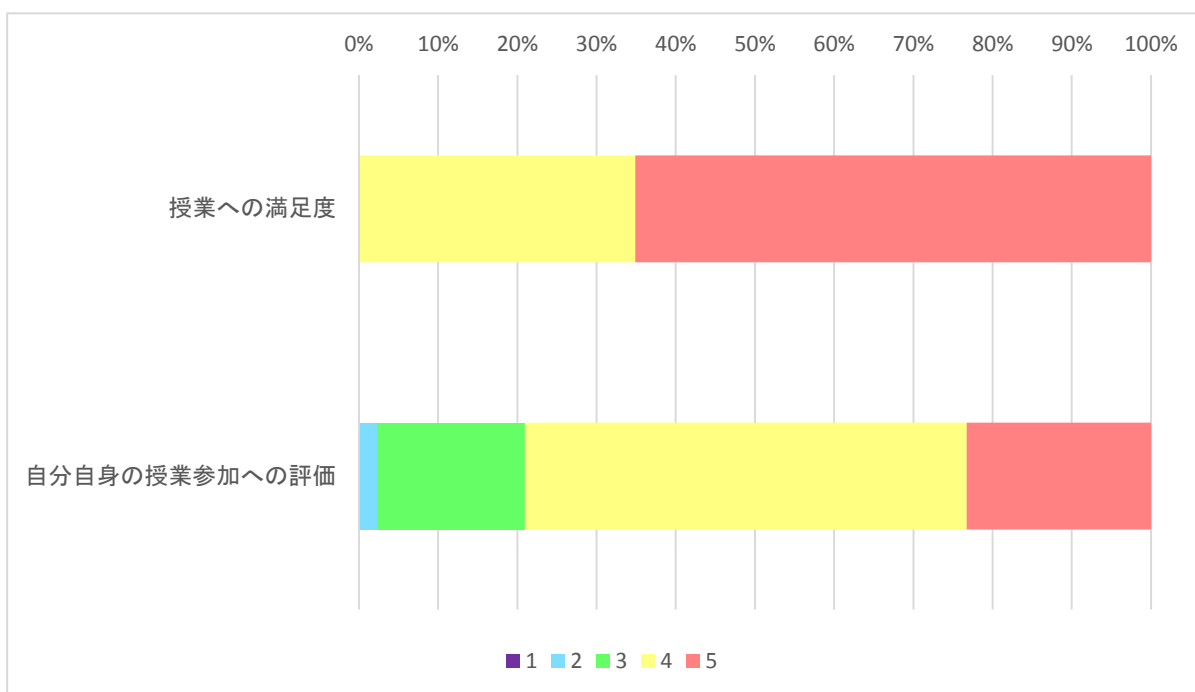


■ 担当者のコメント

本講義は、情報リテラシー向上を目的としており、一人でレポートなどの課題を完成できるようになることを到達目標としている。そのため、本講義内容を初めて学ぶ学生は、その有用性を評価いただけていると考える。

氏名	橋本 恭子		
科目名	初級中国語A2		
実施日	2017/7/18	配当年次	1
履修者数	50	回答者数	43

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	15	28	43
自分自身の授業参加への評価	0	1	8	24	10	43

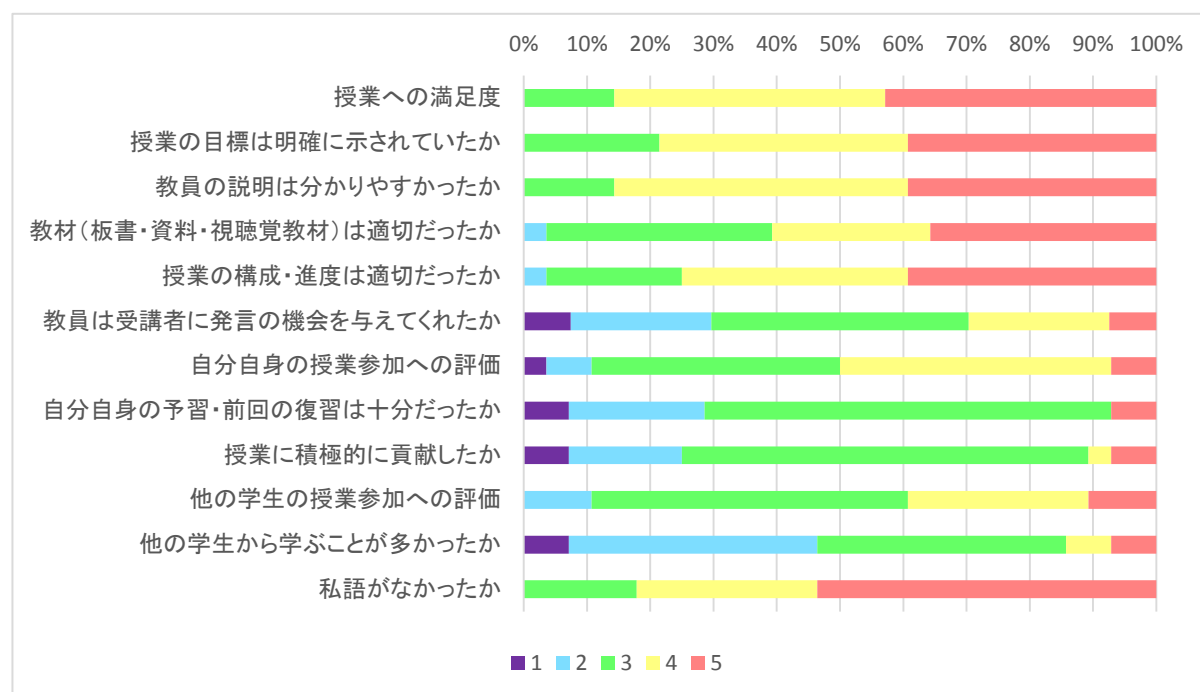


■担当者のコメント

「授業への満足度」が例年より高かったが、それは学生たちがまじめに取り組んでくれたおかげである。私語も居眠りもなく、授業が非常にやりやすかったので、それが満足度の高さにつながったのだろう。反対に、「自分自身の授業参加への評価」は厳しく、私から見ると、もっと甘くてもよかったと思う。改善点としては、発音の時間をもっと取ってほしい、発音のチェックをしてほしいという要望が複数名から出ていた。実際、2限の授業は1限に比べて人数が多いため、一人一人の発音チェックがこまめにできない。2クラスの履修人数がバランスよく分かれれば、この点も改善されるはずだが、なかなか難しい。また、小テストについて、難しい時と簡単な時の差があるとのコメントをいただいた。今学期、確かに指摘された通りだったので、この点は改善したい。他にも貴重なコメントをたくさんいただき、学生たちがこのアンケートにまじめに取り組んでくれたことが伝わってきた。読んでいてとても楽しかったので、学生たちには心から感謝したい。

氏名	原田 美江子・坂野晶司・荒井和子		
科目名	公衆衛生 I		
実施日	2017/7/8	配当年次	2
履修者数	45	回答者数	28

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	4	12	12	28
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	6	11	11	28
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	4	13	11	28
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	10	7	10	28
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	6	10	11	28
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	2	6	11	6	2	27
自分自身の授業参加への評価	1	2	11	12	2	28
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	6	18	0	2	28
授業に積極的に貢献したか	2	5	18	1	2	28
他の学生の授業参加への評価	0	3	14	8	3	28
他の学生から学ぶことが多かったか	2	11	11	2	2	28
私語がなかったか	0	0	5	8	15	28

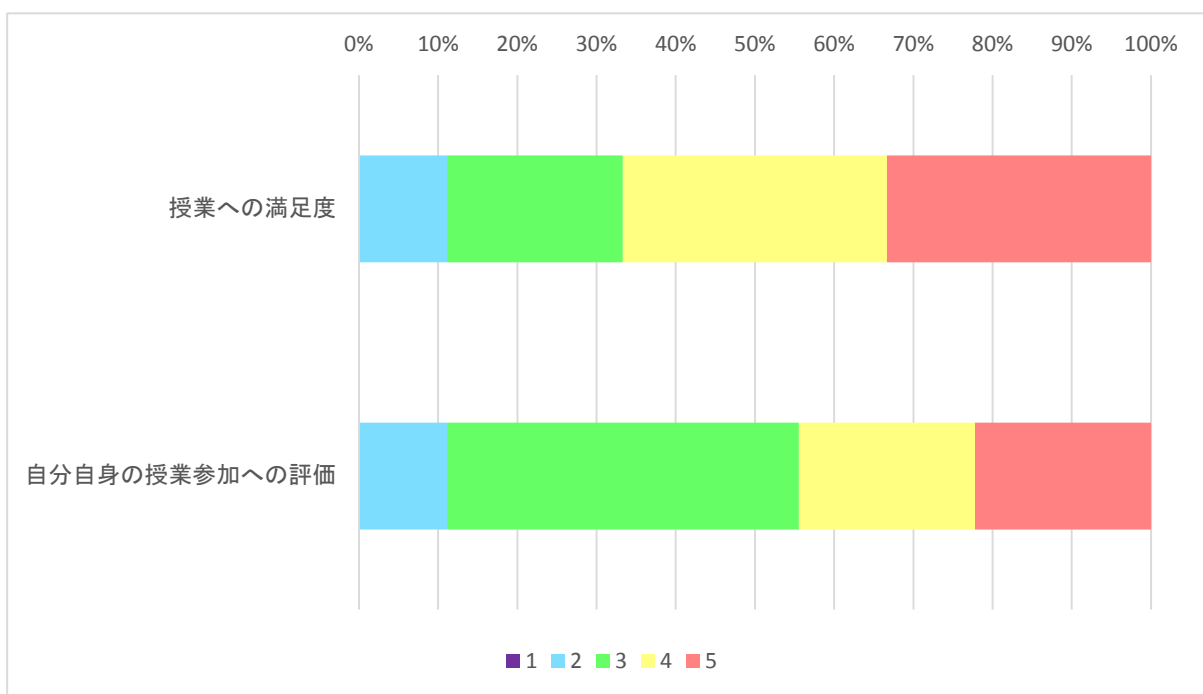


■ 担当者のコメント

授業の問いかけに対し、比較的、遠慮がちの方が多かったため、つい無理に参加を求めず終わってしまいました。レポートを見ると真面目に聞いていて下さった方が多いので、もっと積極的に働きかけた方がよかったかと思っています。

氏名	原田美江子・本保善樹・荒井和子		
科目名	公衆衛生Ⅱ		
実施日	2018/1/13	配当年次	2
履修者数	36	回答者数	9

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	2	3	3	9
自分自身の授業参加への評価	0	1	4	2	2	9

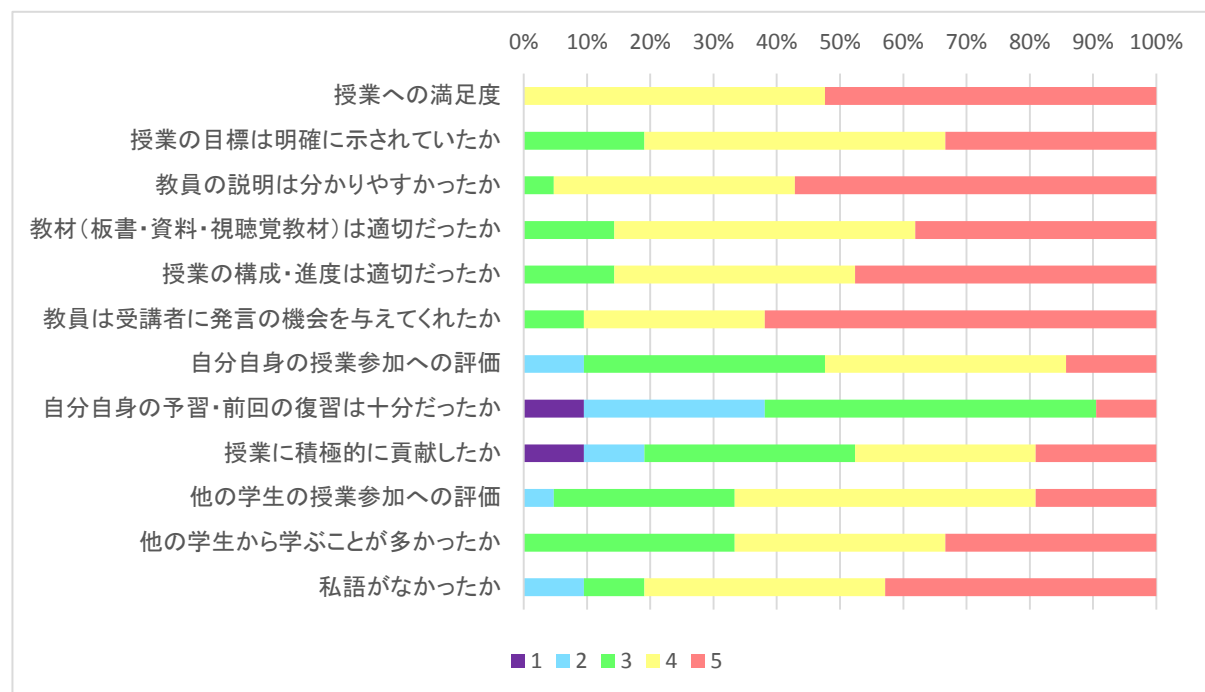


■ 担当者のコメント

私(本保)は公衆衛生Ⅱのうち後半9回を担当しました。アンケートの回答数は多くはありませんが、映像についてコメントされているものが比較的多く、当事者の方によるゲストスピーカーにも触れたものもありました。精神保健分野は日本の現実社会(real world)の中では接する機会が残念ながら少なく、映像や当事者の方により身近なイメージを持って頂ければと思います。リアクションペーパーでは、第1回めと最終回で話した公衆衛生の基本特性や有効性についてコメントがありました。公衆衛生は特定の人を対象にするのではなく、地域全体を対象とすることから福祉との関連を考えて頂く機会になったことは、社事大で公衆衛生の講義をする意味があることを、私が感じる事ができました。

氏名	久永 文恵・二宮 史織		
科目名	精神科リハビリテーション		
実施日	2018/1/25	配当年次	3
履修者数	33	回答者数	21

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	10	11	21
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	4	10	7	21
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	8	12	21
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	3	10	8	21
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	8	10	21
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	6	13	21
自分自身の授業参加への評価	0	2	8	8	3	21
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	6	11	0	2	21
授業に積極的に貢献したか	2	2	7	6	4	21
他の学生の授業参加への評価	0	1	6	10	4	21
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	7	7	7	21
私語がなかったか	0	2	2	8	9	21

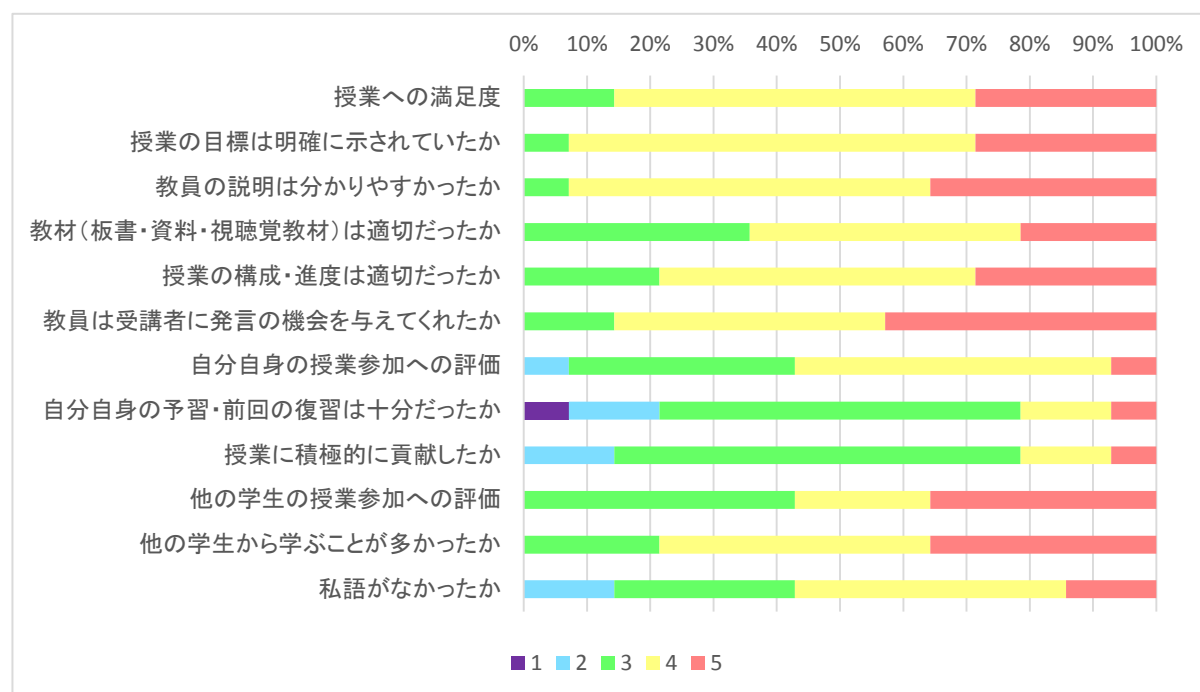


■ 担当者のコメント

授業への満足度は概ね高かったものの、授業の中で相互の学び合いを促していくために、学生の皆さんが積極的に授業に参加できる学びの場づくりをしていかなければと思います。また、予習や復習などが十分ではないという評価も多かったことから、課題をさらに明確化し、自己学習を促す要素も取り入れていきたいと思っています。

氏名	廣瀬 圭子		
科目名	リハビリテーション論Ⅱ(介)		
実施日	2017/5/29	配当年次	3
履修者数	15	回答者数	14

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	8	4	14
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	9	4	14
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	1	8	5	14
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	5	6	3	14
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	3	7	4	14
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	6	6	14
自分自身の授業参加への評価	0	1	5	7	1	14
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	2	8	2	1	14
授業に積極的に貢献したか	0	2	9	2	1	14
他の学生の授業参加への評価	0	0	6	3	5	14
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	3	6	5	14
私語がなかったか	0	2	4	6	2	14

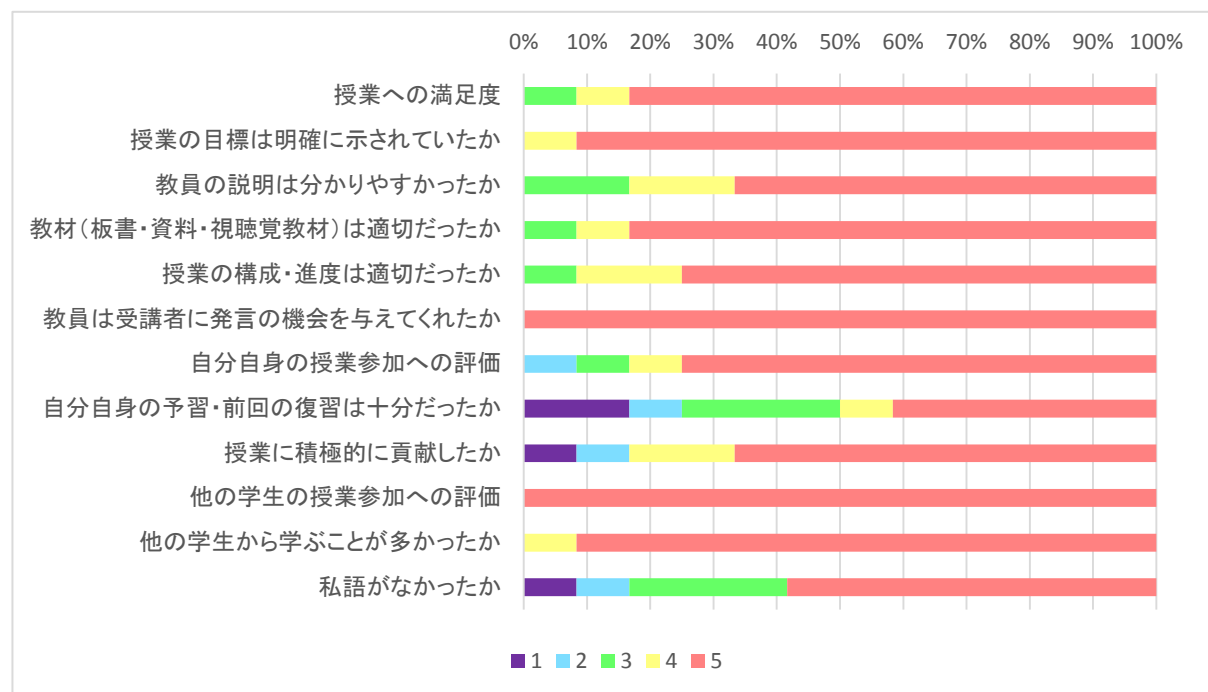


■担当者のコメント

教員の意図する知識の伝達等は、十分できたと考える。しかし、学生自身の予習復習が少なかったことに対しては、講義の性質もあるかもしれないが、さらに可能な限りアクティブラーニングを取り入れ、積極的な活動を促したいと考える。

氏名	福光 あずさ		
科目名	中級日本手話B		
実施日	2017/11/17	配当年次	1
履修者数	13	回答者数	12

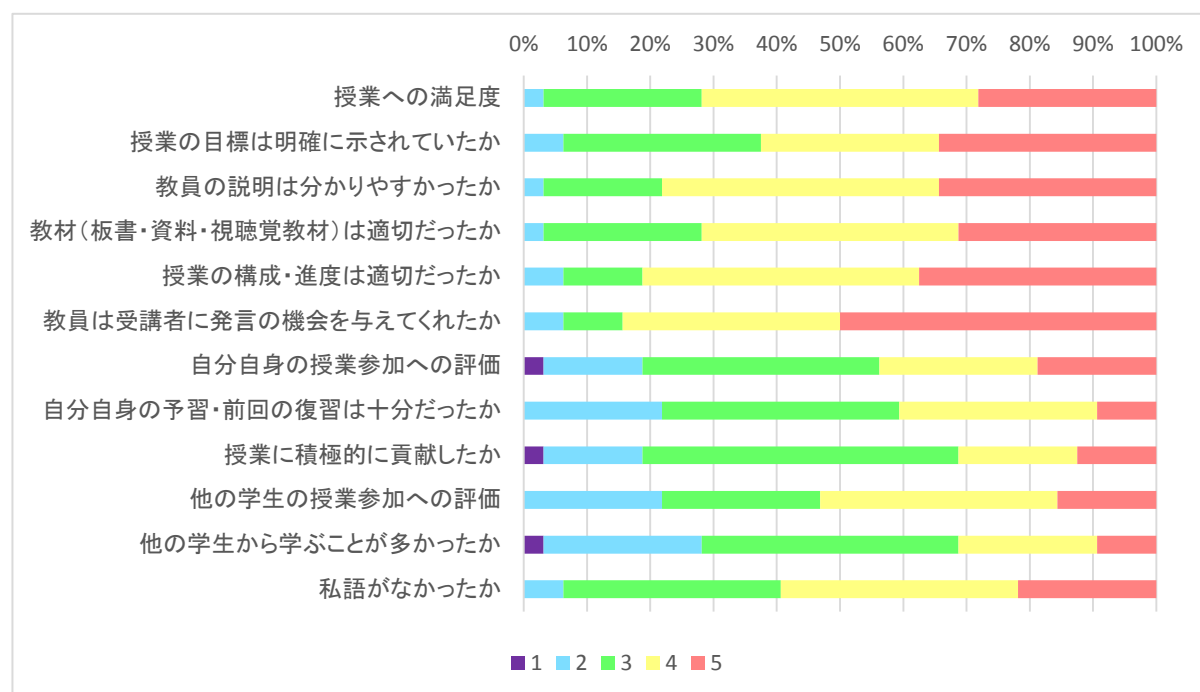
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	1	10	12
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	1	11	12
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	2	8	12
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	1	10	12
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	2	9	12
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	0	12	12
自分自身の授業参加への評価	0	1	1	1	9	12
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	1	3	1	5	12
授業に積極的に貢献したか	1	1	0	2	8	12
他の学生の授業参加への評価	0	0	0	0	12	12
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	0	1	11	12
私語がなかったか	1	1	3	0	7	12



■ 担当者のコメント

氏名	藤井 恭子		
科目名	初級フランス語A		
実施日	2017/6/26	配当年次	1
履修者数	39	回答者数	32

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	8	14	9	32
授業の目標は明確に示されていたか	0	2	10	9	11	32
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	6	14	11	32
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	8	13	10	32
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	4	14	12	32
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	2	3	11	16	32
自分自身の授業参加への評価	1	5	12	8	6	32
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	7	12	10	3	32
授業に積極的に貢献したか	1	5	16	6	4	32
他の学生の授業参加への評価	0	7	8	12	5	32
他の学生から学ぶことが多かったか	1	8	13	7	3	32
私語がなかったか	0	2	11	12	7	32

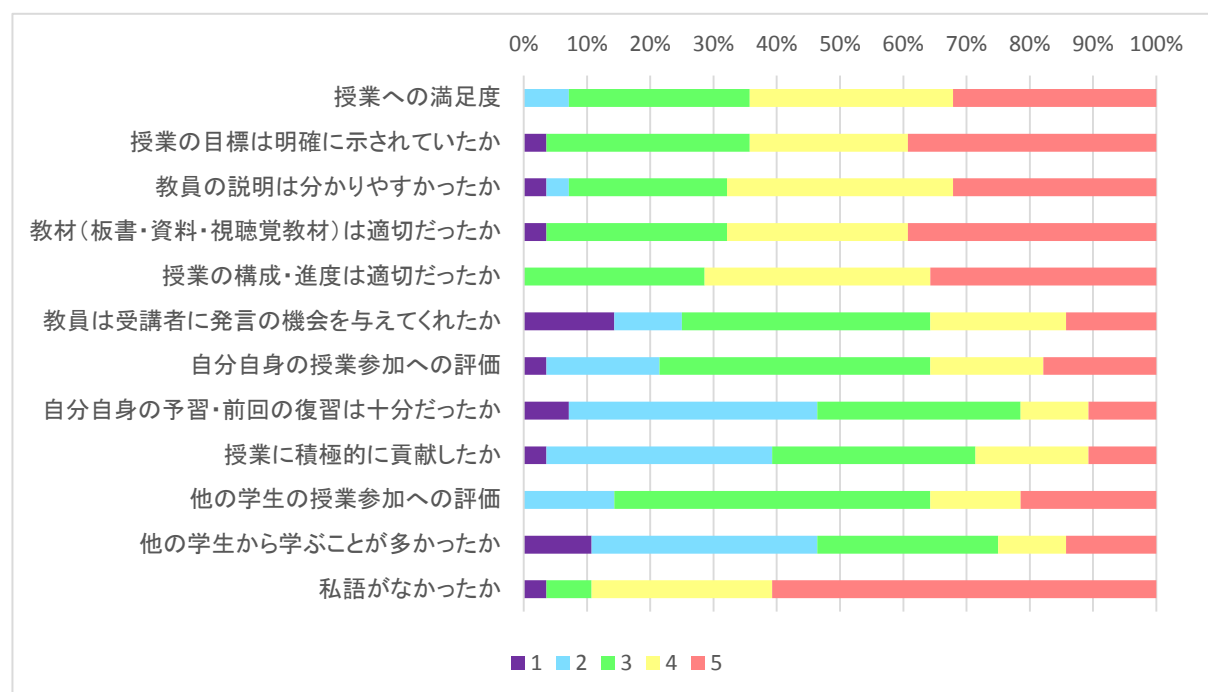


■ 担当者のコメント

やや人数の多いクラスだったため、授業では出来るだけ満遍なく多くの人に、少しでもフランス語を口にしていもらい、皆が参加した実感をもてることを心がけた。その意図はきちんと受け止めてもらえたようなので、まずは安堵している。今後は毎回の授業のテーマをより明確に打ち出し、学生がここで習得すべきことは何なのか、目標を具体的にイメージして授業に臨めるよう、さらに配慮していきたいと思う。

氏名	細山 俊男		
科目名	社会教育計画 I		
実施日	2017/6/10	配当年次	3
履修者数	31	回答者数	28

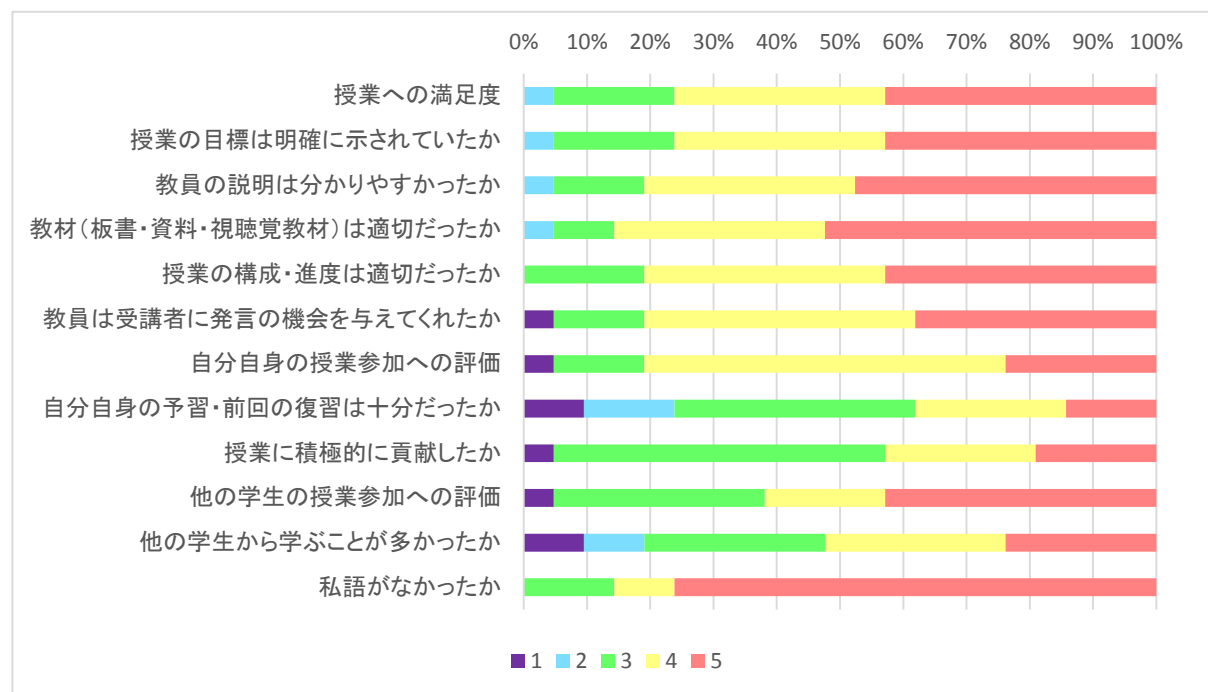
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	2	8	9	9	28
授業の目標は明確に示されていたか	1	0	9	7	11	28
教員の説明は分かりやすかったか	1	1	7	10	9	28
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	0	8	8	11	28
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	8	10	10	28
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	4	3	11	6	4	28
自分自身の授業参加への評価	1	5	12	5	5	28
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	11	9	3	3	28
授業に積極的に貢献したか	1	10	9	5	3	28
他の学生の授業参加への評価	0	4	14	4	6	28
他の学生から学ぶことが多かったか	3	10	8	3	4	28
私語がなかったか	1	0	2	8	17	28



■ 担当者のコメント

氏名	堀 千鶴子		
科目名	女性福祉論		
実施日	2017/5/29	配当年次	3
履修者数	30	回答者数	21

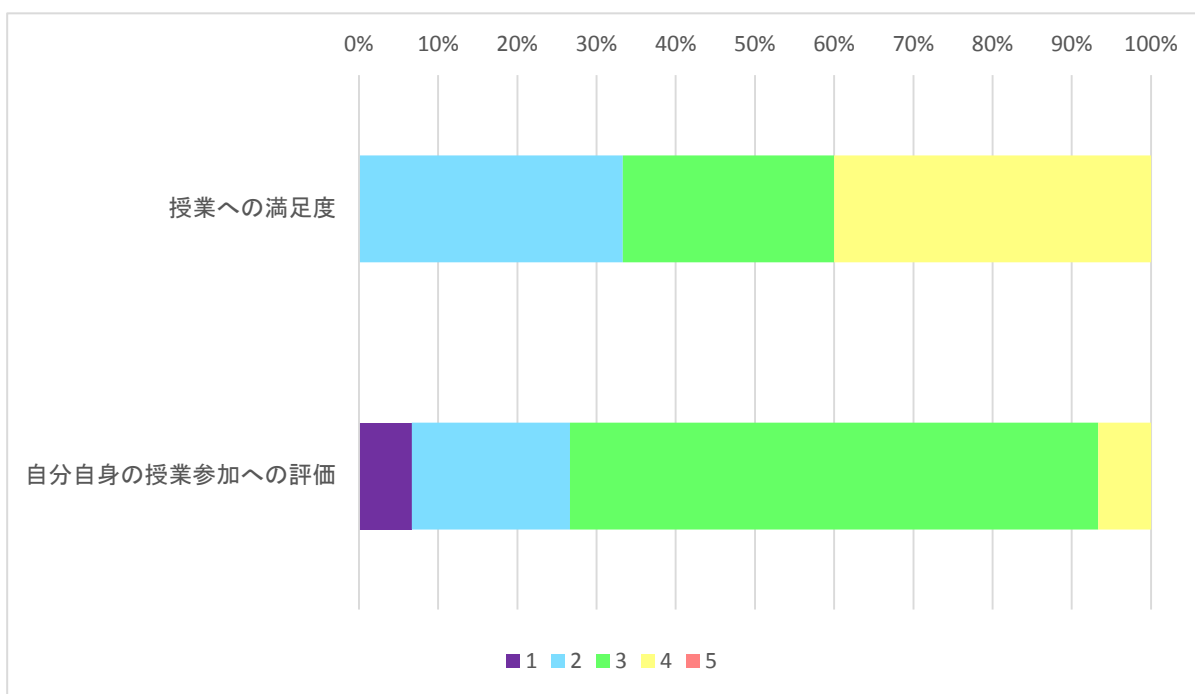
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	1	4	7	9	21
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	4	7	9	21
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	3	7	10	21
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	2	7	11	21
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	4	8	9	21
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	0	3	9	8	21
自分自身の授業参加への評価	1	0	3	12	5	21
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	2	3	8	5	3	21
授業に積極的に貢献したか	1	0	11	5	4	21
他の学生の授業参加への評価	1	0	7	4	9	21
他の学生から学ぶことが多かったか	2	2	6	6	5	21
私語がなかったか	0	0	3	2	16	21



■ 担当者のコメント

氏名	松島 栄一		
科目名	形態別介護技演Ⅲ(介)		
実施日	2017/6/6	配当年次	3
履修者数	15	回答者数	15

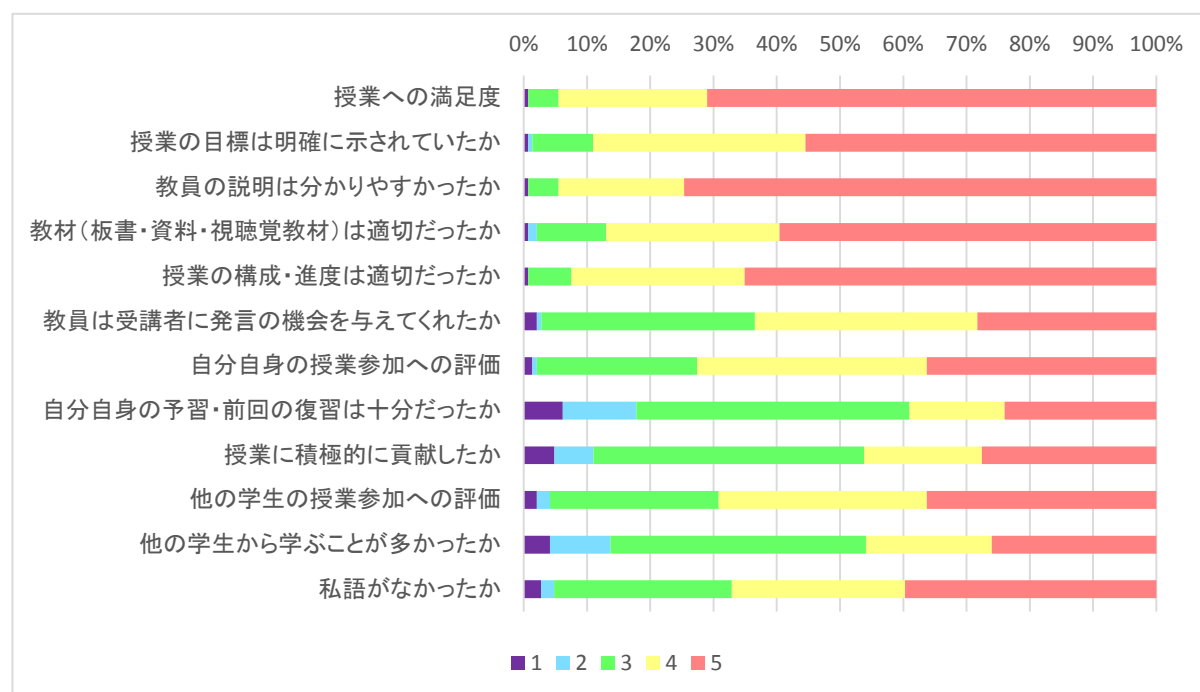
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	5	4	6	0	15
自分自身の授業参加への評価	1	3	10	1	0	15



■ 担当者のコメント

氏名	松山 毅		
科目名	社会保障論Ⅱ(介他必)		
実施日	2017/5/22	配当年次	3
履修者数	190	回答者数	146

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	0	7	34	103	145
授業の目標は明確に示されていたか	1	1	14	49	81	146
教員の説明は分かりやすかったか	1	0	7	29	109	146
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	2	16	40	87	146
授業の構成・進度は適切だったか	1	0	10	40	95	146
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	3	1	49	51	41	145
自分自身の授業参加への評価	2	1	37	53	53	146
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	9	17	63	22	35	146
授業に積極的に貢献したか	7	9	62	27	40	145
他の学生の授業参加への評価	3	3	39	48	53	146
他の学生から学ぶことが多かったか	6	14	59	29	38	146
私語がなかったか	4	3	41	40	58	146

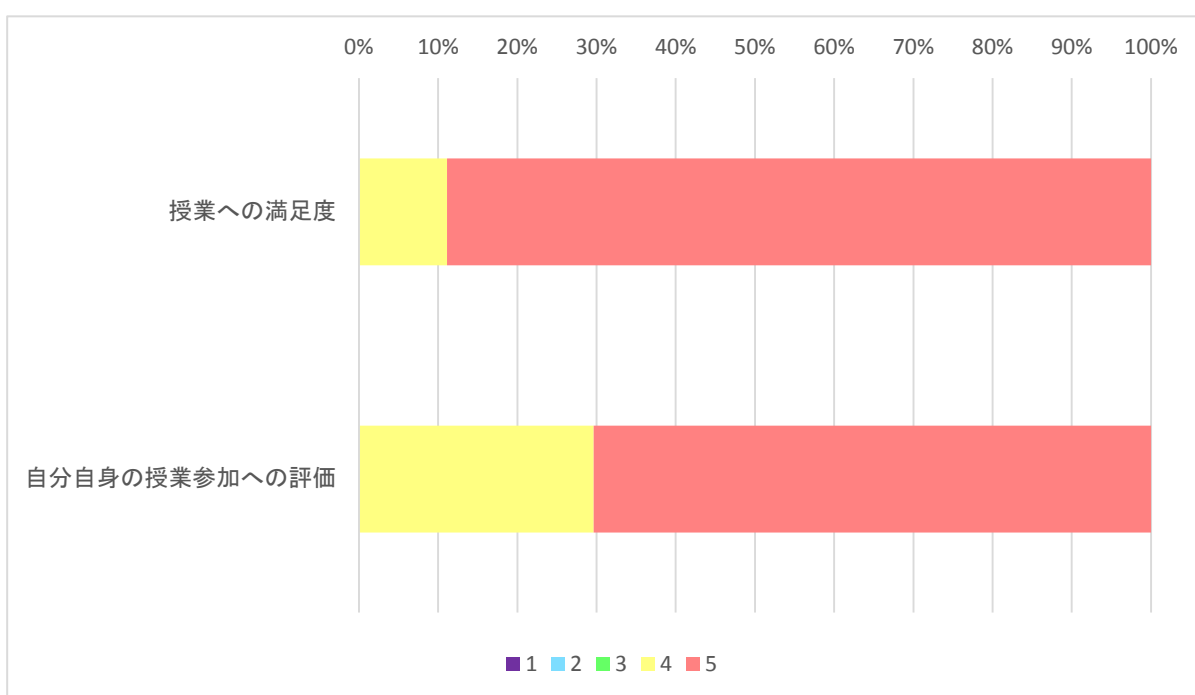


■ 担当者のコメント

できるだけテキストの内容を前提に講義概要をレジュメにし、関連トピックスを事例として取り入れるように工夫した点が評価されたと考える。一方、大教室とはいえ、学生の主体的な授業参加について十分に対応できていなかったと反省している。予習などを指示し、授業内では簡単なディスカッションや意見交換ができるような工夫をしたい。他人の意見から気づかされる点も多いと考える。

氏名	三浦 一郎		
科目名	レクリエーション活援法 I (介)		
実施日	2017/6/13	配当年次	2
履修者数	27	回答者数	27

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	3	24	27
自分自身の授業参加への評価	0	0	0	8	19	27



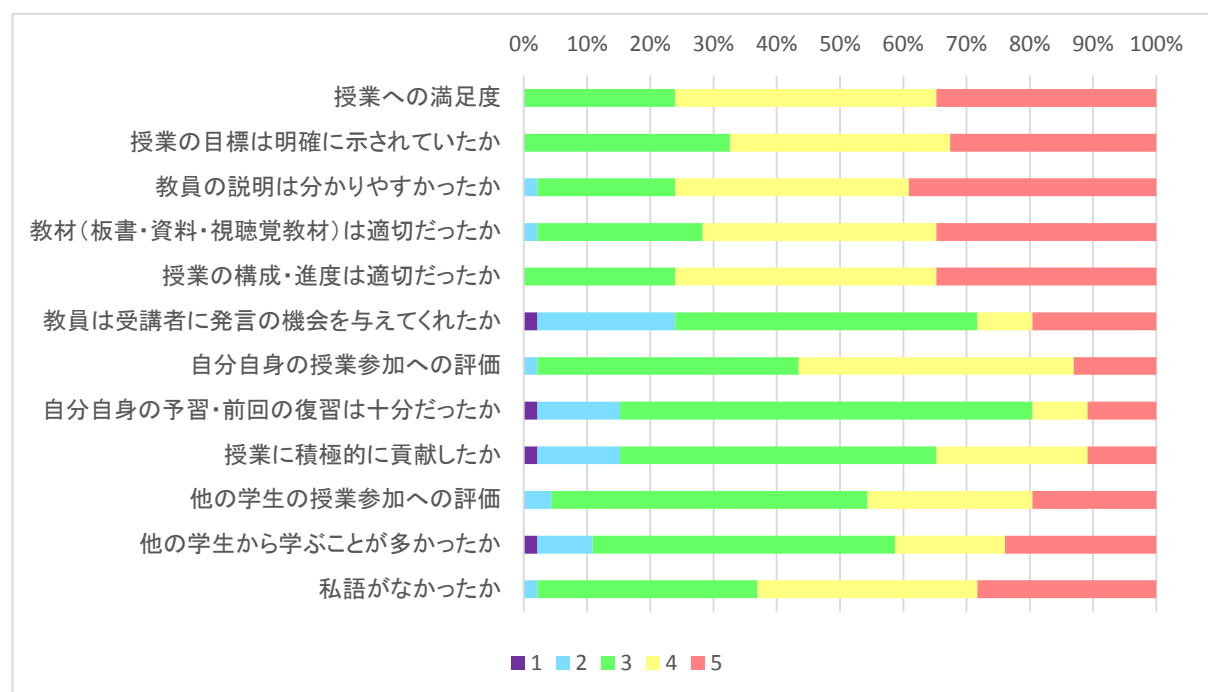
■ 担当者のコメント

この科目を担当するにあたって目標としたのは介護現場で「実践する力」を培うということです。したがって現場で活用できる素材を実践し、そこから生まれる楽しさを体験し、それがどのような効果や機能維持を利用者にもたらすのかを確認、解説する時間を多くとりました。あわせてレクリエーション素材の拡がりや対象にフィットさせるためのアレンジの視点なども解説をしました。今回こうした取り組み方法を学生が理解し評価してくれたことを嬉しく思っています。

後期の活動援助法Ⅱでも、現場の利用者が感じ取る「楽しさ」の構造やそこに導くための技術的な視点の解説と習得を目標に授業を進めていきたいと思っています。

氏名	三坂 彰彦		
科目名	福祉と法/家族法		
実施日	2017/11/20	配当年次	2
履修者数	70	回答者数	46

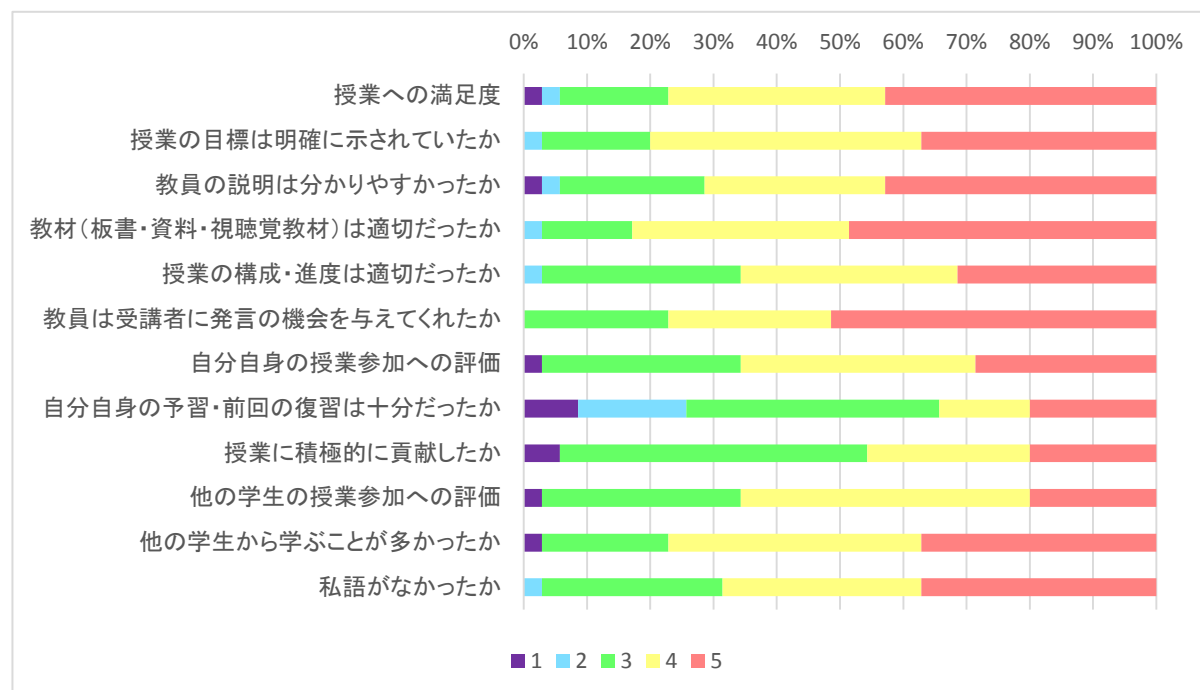
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	11	19	16	46
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	15	16	15	46
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	10	17	18	46
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	12	17	16	46
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	11	19	16	46
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	1	10	22	4	9	46
自分自身の授業参加への評価	0	1	19	20	6	46
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	6	30	4	5	46
授業に積極的に貢献したか	1	6	23	11	5	46
他の学生の授業参加への評価	0	2	23	12	9	46
他の学生から学ぶことが多かったか	1	4	22	8	11	46
私語がなかったか	0	1	16	16	13	46



■ 担当者のコメント

氏名	宮下 千登勢		
科目名	保育表現技術 I B1・2(保)		
実施日	2018/1/18	配当年次	2
履修者数	36	回答者数	35

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	1	1	6	12	15	35
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	6	15	13	35
教員の説明は分かりやすかったか	1	1	8	10	15	35
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	5	12	17	35
授業の構成・進度は適切だったか	0	1	11	12	11	35
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	8	9	18	35
自分自身の授業参加への評価	1	0	11	13	10	35
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	6	14	5	7	35
授業に積極的に貢献したか	2	0	17	9	7	35
他の学生の授業参加への評価	1	0	11	16	7	35
他の学生から学ぶことが多かったか	1	0	7	14	13	35
私語がなかったか	0	1	10	11	13	35

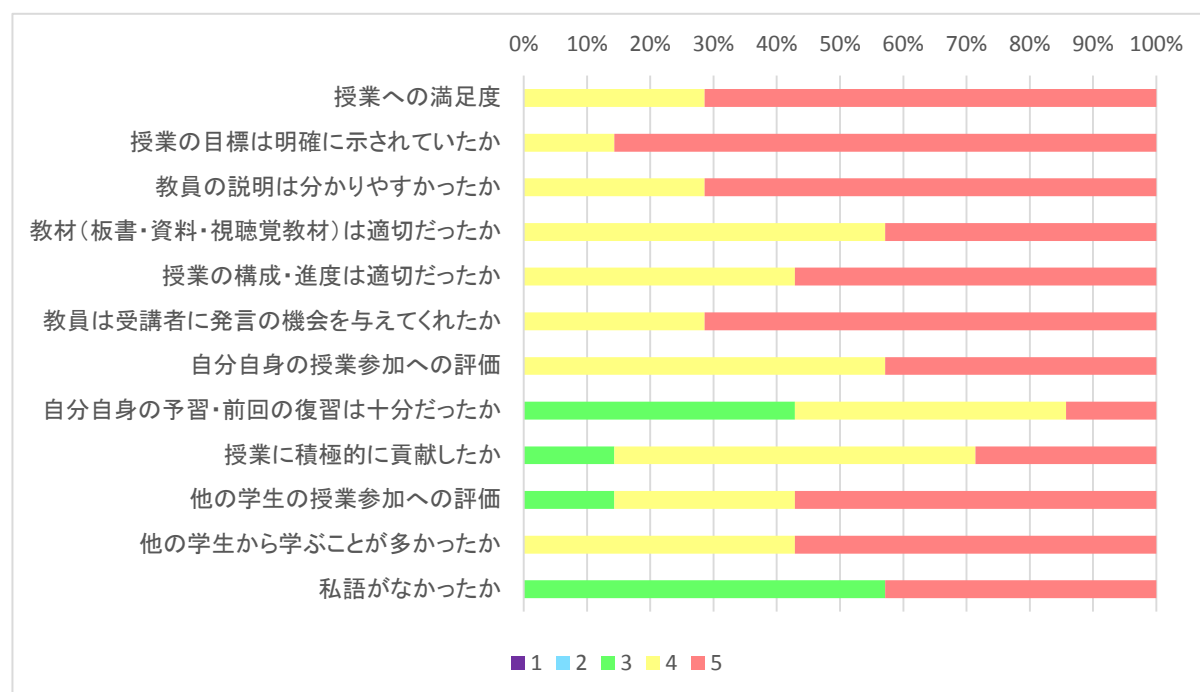


■ 担当者のコメント

半期間という短い時間の中ではありましたが、多くの方が真剣に授業に取り組み、理解を深めようとする姿が見られました。また臨床場面での経験が少ない皆さんにとって、実感を持ってない場面もあったかと思いますが、授業で感じた様々な疑問や自分なりの振り返りが、今後、実際の現場に多いに生かしていけることと確信いたします。これからのさらなる探求と卒業後のご活躍を期待いたします。ありがとうございました。

氏名	森 亜美		
科目名	初級アメリカ手話A		
実施日	2017/6/6	配当年次	1
履修者数	9	回答者数	7

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	0	2	5	7
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	0	1	6	7
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	2	5	7
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	0	4	3	7
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	0	3	4	7
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	2	5	7
自分自身の授業参加への評価	0	0	0	4	3	7
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	0	3	3	1	7
授業に積極的に貢献したか	0	0	1	4	2	7
他の学生の授業参加への評価	0	0	1	2	4	7
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	0	3	4	7
私語がなかったか	0	0	4	0	3	7

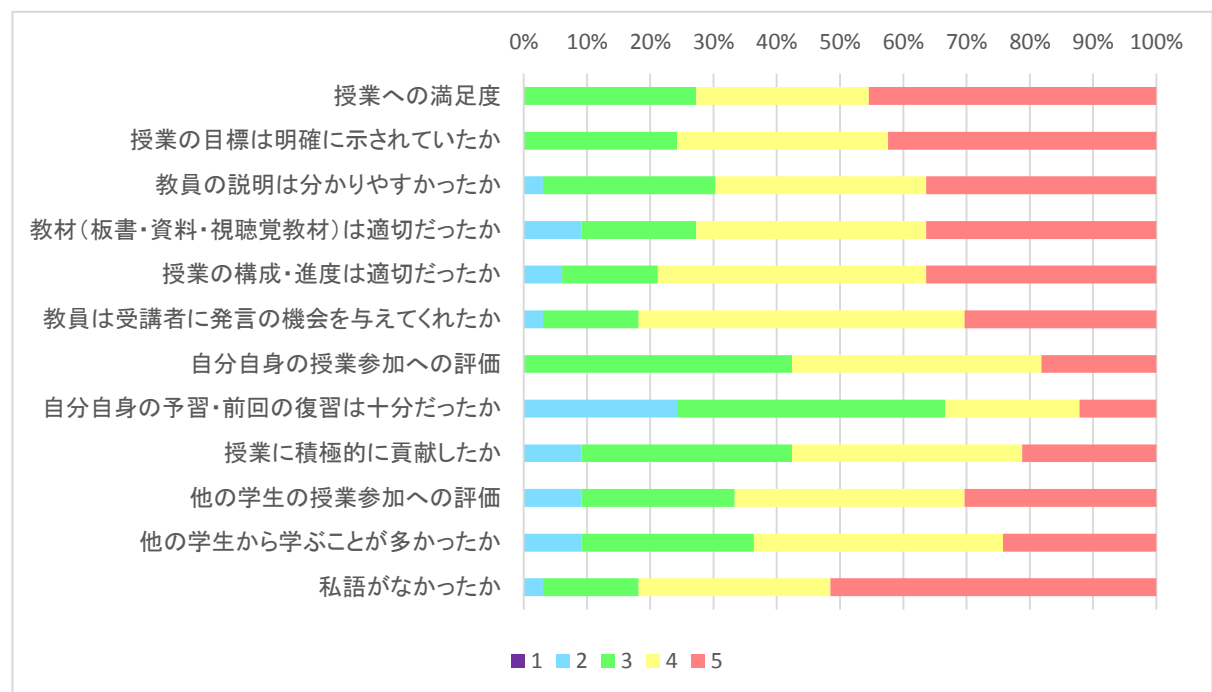


■担当者のコメント

授業に対する評価は高いものの、生徒達自身の積極性はまだまだのようであった。今後は生徒達からもっとアプローチされるような授業を考えていきたいと思う。

氏名	安見 克夫		
科目名	保育内容演習Ⅱ(言葉)		
実施日	2017/11/30	配当年次	2
履修者数	34	回答者数	33

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	9	9	15	33
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	8	11	14	33
教員の説明は分かりやすかったか	0	1	9	11	12	33
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	3	6	12	12	33
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	5	14	12	33
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	1	5	17	10	33
自分自身の授業参加への評価	0	0	14	13	6	33
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	8	14	7	4	33
授業に積極的に貢献したか	0	3	11	12	7	33
他の学生の授業参加への評価	0	3	8	12	10	33
他の学生から学ぶことが多かったか	0	3	9	13	8	33
私語がなかったか	0	1	5	10	17	33

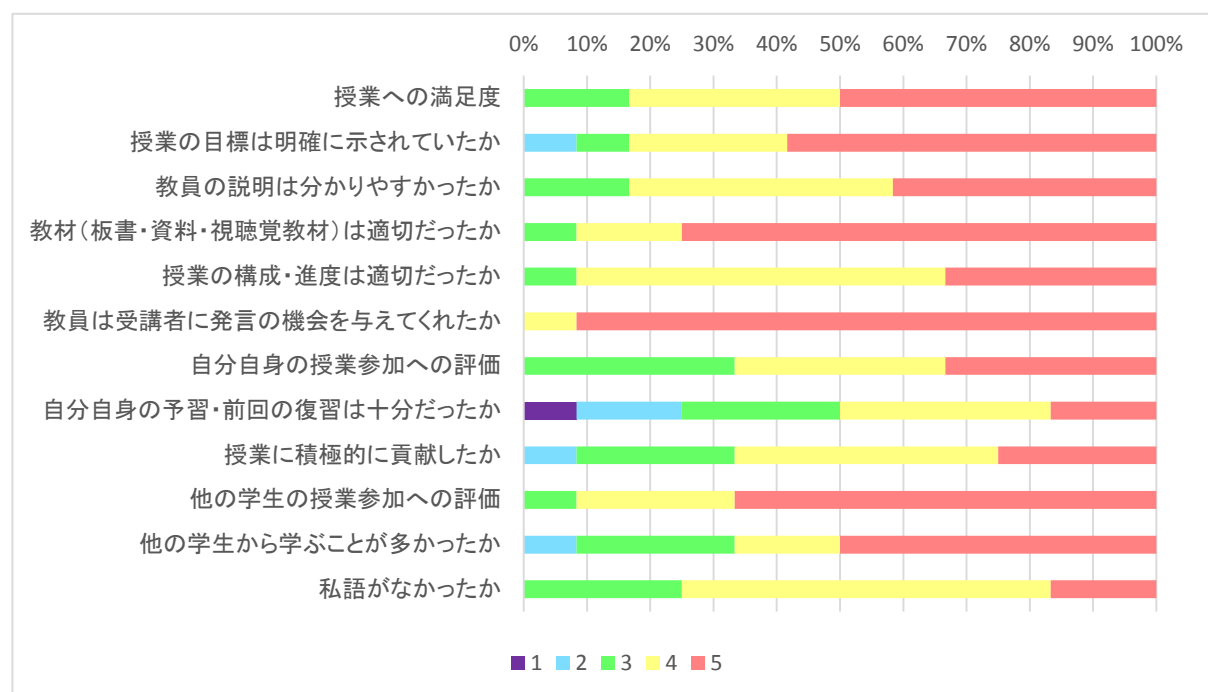


■ 担当者のコメント

本授業では、保育所保育指針の改訂に伴い若干シラバスを変更し、乳幼児期の発達過程区分などの変更点について解説したことから、受講者の学びに若干戸惑いがあったように感じます。全体として、約7割の学生が目標への理解や授業に対する満足度を示しています。この授業は、アクティブラーニング形式での授業を取り入れている関係から、発言の機会が与えられていると感じている受講者が8割近くいるのに対し、授業参加意識は、6割にとどまっています。このことは、受講者同士のディスカッションやグループセッションの若干苦手意識を示していると考えられます。今後は、さらに積極的に受講者の参加を促し、言語感覚の豊かな保育士を養成できるよう心がけていきたいと思ひます。

氏名	柳 匡裕		
科目名	初級日本手話A		
実施日	2017/6/5	配当年次	2
履修者数	17	回答者数	12

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	2	4	6	12
授業の目標は明確に示されていたか	0	1	1	3	7	12
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	2	5	5	12
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	0	1	2	9	12
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	1	7	4	12
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	0	1	11	12
自分自身の授業参加への評価	0	0	4	4	4	12
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	1	2	3	4	2	12
授業に積極的に貢献したか	0	1	3	5	3	12
他の学生の授業参加への評価	0	0	1	3	8	12
他の学生から学ぶことが多かったか	0	1	3	2	6	12
私語がなかったか	0	0	3	7	2	12

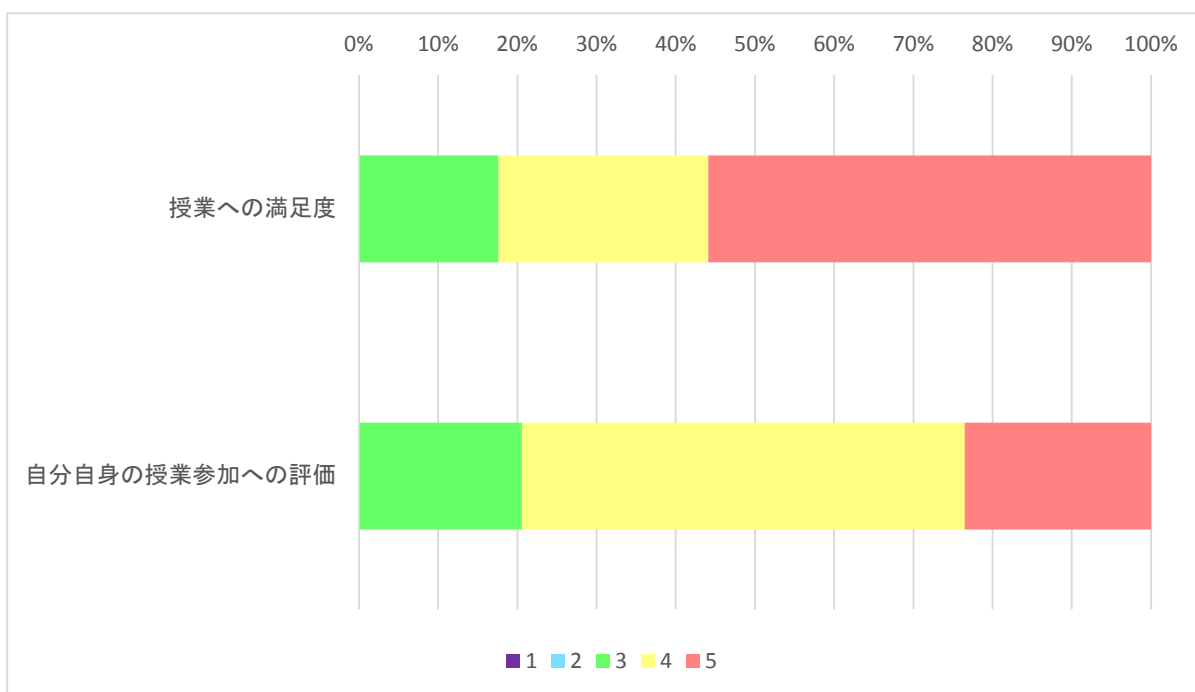


■ 担当者のコメント

ナチュラルアプローチ教授法の効用が「発言機会」から読み取れ、手応えを感じている。一方で「復習機会」につながる仕掛け作りに改善が必要と感じた。昨今のスマホ普及を活かして動画レポートの提出等、新しい取り組みにチャレンジしていければと考えている。

氏名	吉川 あゆみ		
科目名	社会の認識 X V(手話)		
実施日	2017/10/25	配当年次	1
履修者数	46	回答者数	34

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	6	9	19	34
自分自身の授業参加への評価	0	0	7	19	8	34

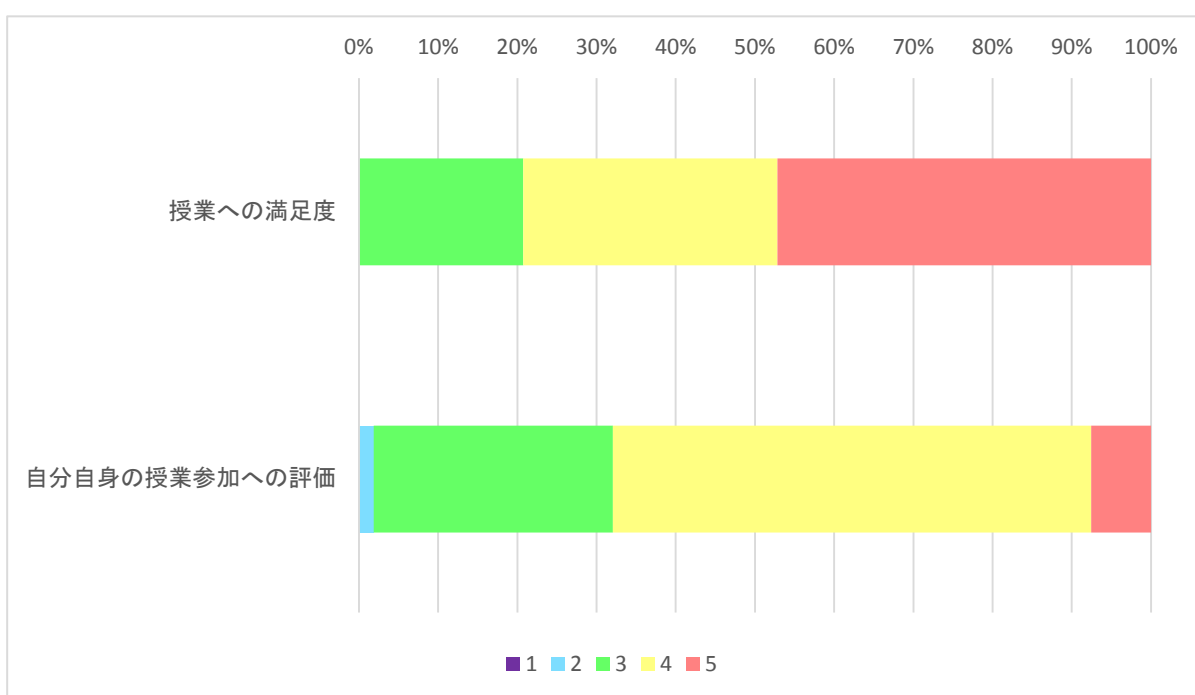


■ 担当者のコメント

授業は手話を用いて進められており、手話のわからない学生は手話通訳の音声を通しての受講となるため、細部を認知するのに時間がかかる局面もありました。ここで挫けずに質問を重ねる学生も多く、回数を追うごとに聴覚障害、そして情報保障への理解が深まっていることがリアクションペーパーからも伝わってきました。

氏名	吉田 光爾・松長 麻美・水野 雅之		
科目名	精神保健		
実施日	2017/11/11	配当年次	2
履修者数	74	回答者数	54

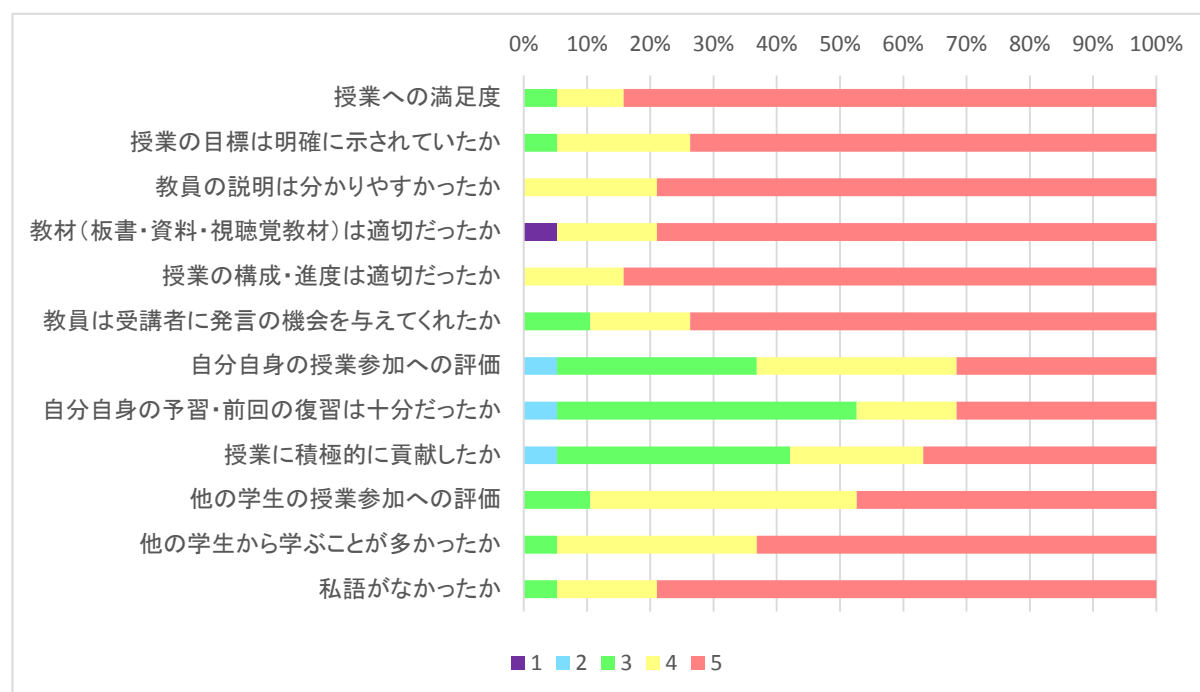
	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	11	17	25	53
自分自身の授業参加への評価	0	1	16	32	4	53



■ 担当者のコメント

氏名	渡辺 多恵子		
科目名	乳幼児精神保健		
実施日	2017/12/16	配当年次	3
履修者数	22	回答者数	19

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	1	2	16	19
授業の目標は明確に示されていたか	0	0	1	4	14	19
教員の説明は分かりやすかったか	0	0	0	4	15	19
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	1	0	0	3	15	19
授業の構成・進度は適切だったか	0	0	0	3	16	19
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	2	3	14	19
自分自身の授業参加への評価	0	1	6	6	6	19
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	0	1	9	3	6	19
授業に積極的に貢献したか	0	1	7	4	7	19
他の学生の授業参加への評価	0	0	2	8	9	19
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	1	6	12	19
私語がなかったか	0	0	1	3	15	19



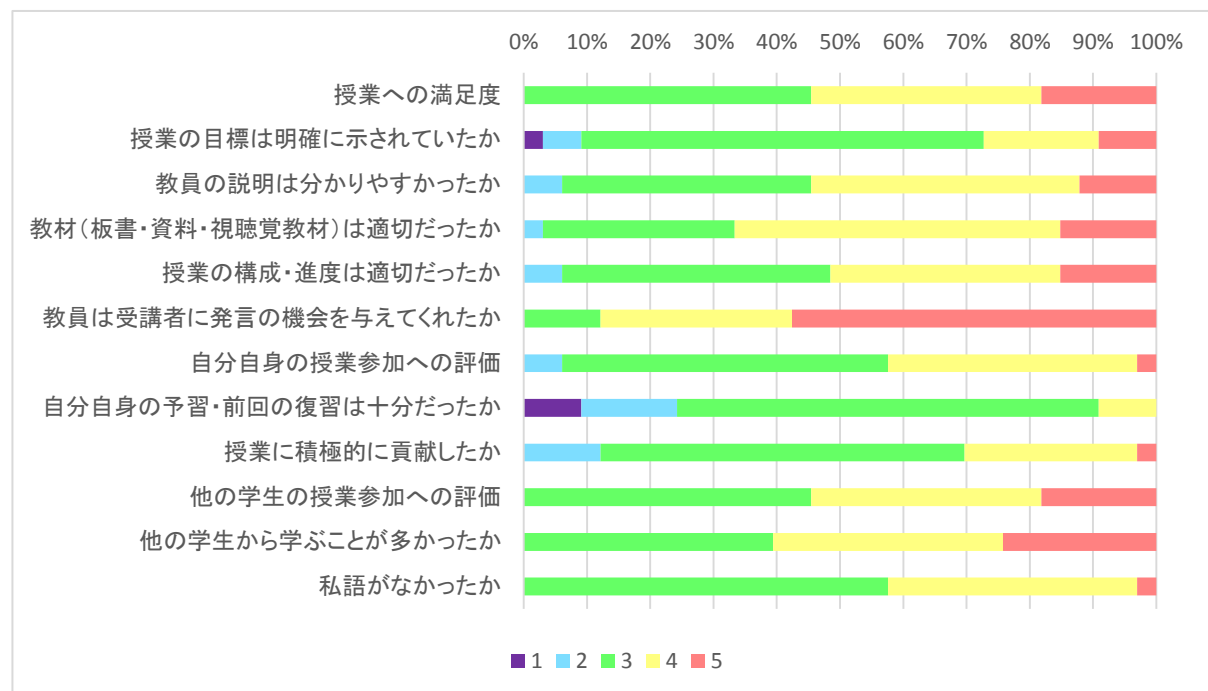
■ 担当者のコメント

授業内で、学生にプレゼンをしていただく機会などを設けてみましたが、授業参加、予習・復習、授業への貢献、ほかの学生の授業参加などの評価があまり良くない状況だったのは残念です。今後さらに、予習、復習をし、積極的に授業に参加できる仕組みづくりにつとめてまいります。

教材の適切さについて、低い評価がありました。ポイントを押さえたわかりやすい資料を心がけておりましたが、教科書指定の有無も含め、学生にとって使いやすく、理解を促進できる教材を検討してまいります。

氏名	ワタワ メイガ		
科目名	英語A20		
実施日	2017/6/20	配当年次	1
履修者数	44	回答者数	33

	← 評価 →					合計
	no 1	2	3	4	yes 5	
授業への満足度	0	0	15	12	6	33
授業の目標は明確に示されていたか	1	2	21	6	3	33
教員の説明は分かりやすかったか	0	2	13	14	4	33
教材(板書・資料・視聴覚教材)は適切だったか	0	1	10	17	5	33
授業の構成・進度は適切だったか	0	2	14	12	5	33
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	0	0	4	10	19	33
自分自身の授業参加への評価	0	2	17	13	1	33
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	3	5	22	3	0	33
授業に積極的に貢献したか	0	4	19	9	1	33
他の学生の授業参加への評価	0	0	15	12	6	33
他の学生から学ぶことが多かったか	0	0	13	12	8	33
私語がなかったか	0	0	19	13	1	33



■ 担当者のコメント

This lecture was more of listening, and discussion based. The class material was either a news article from BBC English or a documentary on some social or cultural subject. The students made efforts to express their opinion on various questions that were asked in the class. Most of them were participative despite of having languages issues in expressing themselves completely, they tried their best.

3. 參考資料

(様式2)

□□□

授業評価アンケート

このアンケートは、本学における授業の方法・内容、本学のカリキュラムの効果、本学の授業・教育の環境を評価し、今後の改善のための資料を作ることを目的としています。

実施日

				年		月		日
--	--	--	--	---	--	---	--	---

科目名

--

注意

この面に記載されているのは「様式2」のアンケートです。※「様式1」は裏面に記載。
教員から指示のあったアンケート様式が「様式2」で正しいことを確認したうえで、
以下の質問に回答してください。

■該当する評価を塗りつぶしてください。

	no	1	2	3	4	5	yes
授業への満足度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
授業の目標は明確に示されていたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
教員の説明は分かりやすかったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
教材（板書・資料・視聴覚教材）は適切だったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
授業の構成・進度は適切だったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
教員は受講者に発言の機会を与えてくれたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
自分自身の授業参加への評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
自分自身の予習・前回の復習は十分だったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
授業に積極的に貢献したか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
他の学生の授業参加への評価	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
他の学生から学ぶことが多かったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
私語がなかったか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

ご協力ありがとうございました。